

北方圏

SPRING

VOL. 63

HOPPOKEN

北方圏センター10周年 季刊 '88

特集 北方圏センター10周年を迎えて

ウインター・シティーズ ショーケース'88 冬の“都市おこし”に北方圏のチエを結集

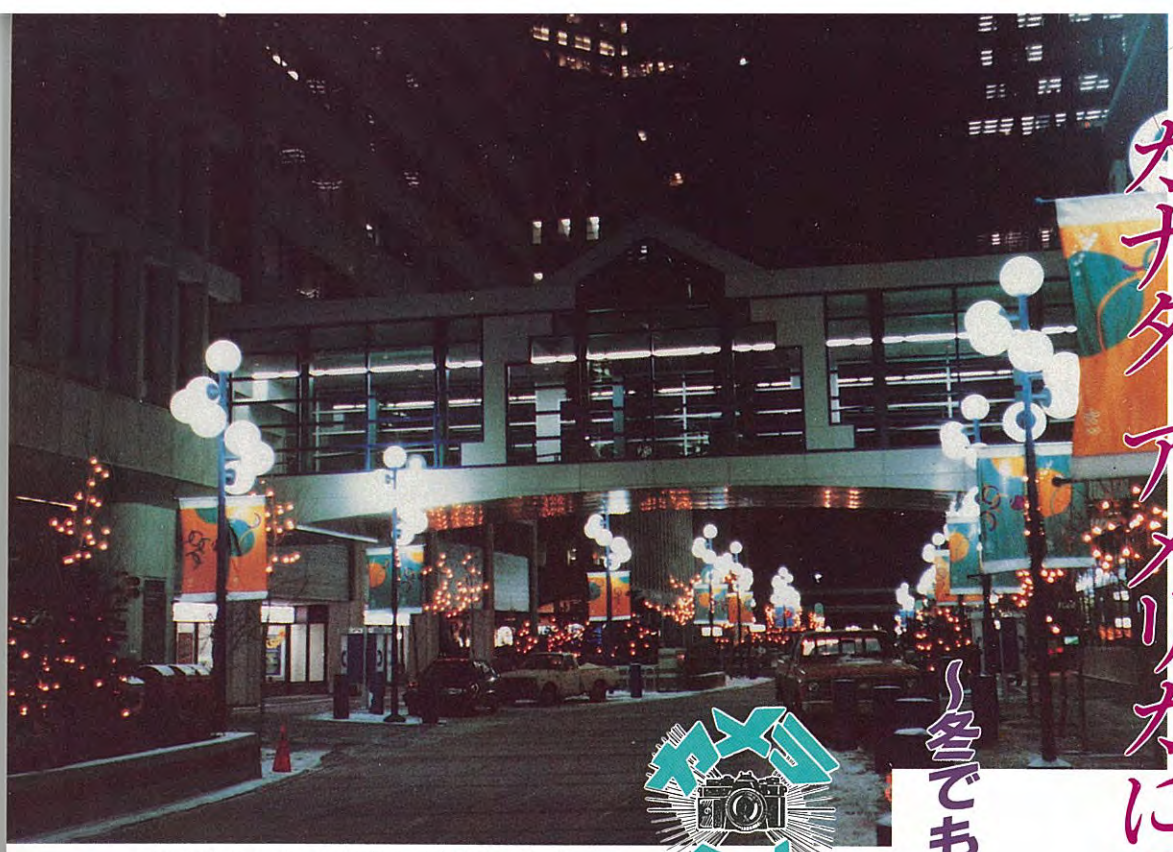
紋別「あいすらんど共和国」のアイスランド訪問記(上)

スウェーデン キルナの再生



Northern Regions Center (NRC)

社団法人 北方圏センター



最新デザインで市民に好評の+15(カルガリー)



歩行者の安全確保から始まり、新しい都市空間の創造に発展した「スカイウエー」。

ガラスの屋根に覆われた見上げるばかりの吹き抜け、屋根から射し込む太陽の光、柔らかな緑、そして水のせせらぎ。シヨッピングに、散策に楽しさいっぱいの「アトリウム」。

ビルとビルとをガラスの屋根で包み、いつでも一定の温度に調節されている「カバード・ストリート」。

冬の凍てつく風や寒さから歩行者を守るだけでなく、四季を通して快適な生活空間を確保したこれらの施設は、厳しい自然条件下にある人間と都市をやさしく包み込み、「冬の都市」ならではの様々なアイデアと工夫にあふれていた。

写真・文

北方圏センター調査研究部 栗橋孝芳

(関連記事36ページ)



+15システムの案内板(カルガリー)

カナダ、アメリカに見た快適な

都市空間の創造

冬でも快適な北国の歩行者空間と都市施設

TSUCHIYA HOME

ヨーロッパが薫る、北の技術。



北欧、カナダ、北アメリカなど、快適な暮らしと住まいの技術をリードしてきた北方圏の国々。土屋ホームでは北方圏の家づくりをテーマに、全国第1位・建設大臣賞受賞の先進技術を活かし、快適空間の住まいを完成させました。その進んだ技術をぜひご覧ください。

土屋ホームの5大技術特性

1. 伝統工法を科学した先進技術の軸組構造体
2. コンピュータシステムによる精緻な設計施工図
3. 全国第一位・建設大臣賞を誇る高断熱、高气密構造
4. 200頁にのぼるディテールに合った精密な施工
5. 全道一の建築士、インテリアコーディネーターによる空間デザイン

季節の変化に左右されない21世紀の理想の住まい。技術の違いをお気軽にお確かめください。

土屋ホームモデル住宅
☎(011)894-5353

STVハウジングプラザ
新さっぽろ展示場内モデル住宅
札幌市白石区厚別中央2条4丁目5-4



豊かさの人生を創造する土屋グループ

土屋ホーム

一級建築士事務所/北海道知事登録(五)第190号・特定建設業・建設大臣許可(特-62)第13005号
本社/〒060 札幌市北区北9条西2丁目24番地1 ☎(011)717-3333

企業使命感

土屋グループの創業者「土屋公三」の名前は、土地と家屋についての仕事を大業としお客様、社会、会社いっしょ「三つの人の会」のために、物質的・精神的・健康的な「豊かさの人生を創造する」ことを表わし、シンボルマークはその「三つの人」と「公」を象徴しております。シンボルカラーは、積極果敢な行動力と情熱を込めて「紅」。土屋グループはこれを企業使命感としております。

流通で暮らしのステップアップ
土屋住宅流通

本社/〒062札幌市豊平区豊平3条9丁目2番3号 ☎(011)823-3233

新しい考え方の増改築
土屋ホームトピア

本社/〒062札幌市豊平区豊平5条4丁目(第2平塚クラウンビル) ☎(011)823-3033

次代の主流・北方圏のツーバイ住宅
土屋ツーバイホーム

本社/〒063札幌市西区手稲東1北1丁目1番地 ☎(011)665-2424



世界最大の全天候型ショッピング・モールである
W・エドモントン・モール(エドモントン)



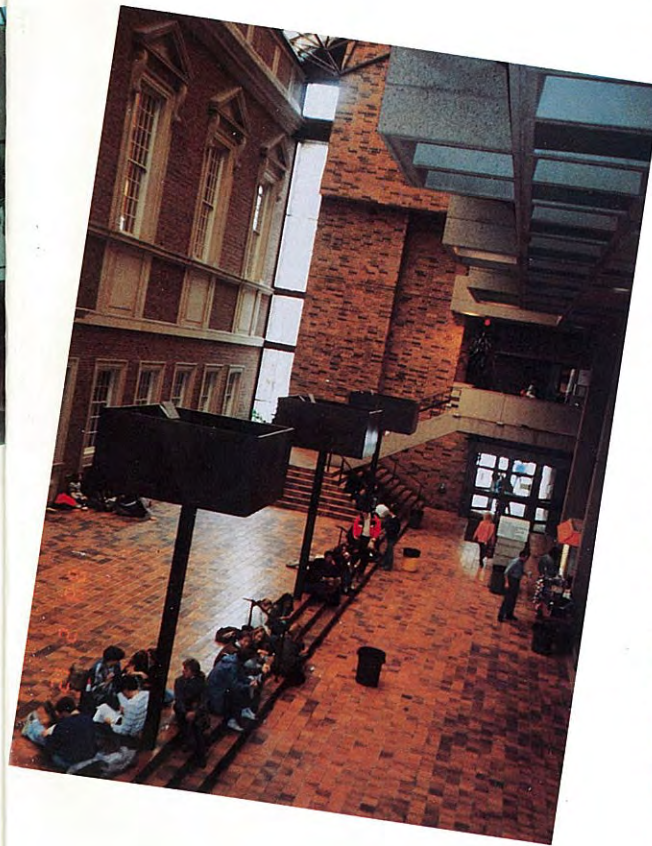
エバーハート・H・サイドラ
ー氏の設計になるイトンセ
ンター(トロント)



ローコート(裁判所)に設けられた
アトリウム(バンクーバー)



光も暖を添えるスカイウエー(ボス
トン)



アルバータ大学のカバード・スト
リート(天蓋つきの学生広場)(エド
モントン)



初期の+15(カルガリー)



北米で最初のインナー・モールであるアルバータ大学内
のHUB(ハブ)モール。学生たちでにぎわっている(エド
モントン)



北方圏センター発足十周年を迎えて

北方圏センター会長 東条猛猪

昭和四十六年に北方圏構想の民間的推進機関として創設された(株)北方圏調査会の交流実績を引き継いで、(株)北方圏センターが新発足したのは昭和五十三年四月であった。本年はそれから数えて十年目である。

北方圏構想の道民各層への浸透の度合い、国際交流を推進する自治体や団体の広がり、交流活動の分野、内容等の多様化、あるいは、交流活動件数の急増ぶりなど、北方圏交流のこの十年間の進展には目を見張る思いがする。この結果、北海道の人びとは北方型の新しい生活文化の創造を考えるようになってきている。また、冬をマイナスと考えるこれまでの考え方から、冬を楽しみ、利用する方向へと意識が変わりつつある。これらは、明らかに北方圏交流がもたらした生活意識の変革であって、進度はゆるやかながら確実に新しい流れを生み出す底流になるものと思われる。

この流れに根ざしながら、国際化の進展、経済交流の活性化など時代の動向を適確にとらえた先駆性に富む活動こそが、今後の北方圏センターに期待されるものであろう。この意味では、今年から始動する北海道新計画との整合をはかりながら、本道の活性化のテコになり得る国際交流を着実に実行するとともに、当センターが海外にかなり知られるようになった今日、北方圏の共通の課題解決のため協力し合う国際ネットワークの形成のために貢献することも、将来の北海道のために大きな意味をもつことになろう。



イトンセンターとシンプソンデパートを結ぶスカイウエー。明るい内部の窓下にはヒーターが設けられている(トロント)



CNタワー前にある総ガラス張りのトロント・コンベンションセンター(トロント)



ショッピングセンターとオフィスの複合施設であるコプレイ・プレイス(ボストン)



組み立てブロック「レゴ」で作られた遊園地「レゴランド」は、デンマーク・ユトランド半島の中央に位置するビルン（Billund）にある。
レゴの原型が世に出たのは1930年代で、「子供のためには、どんなに良くても良すぎることはない」をモットーに、子供の想像力と創造欲に訴え、多少のことでは壊れない良いおもちゃとして考案、創作されたもの。これはデンマーク語で Lego godt（良く遊ぶ）という言葉をもとにLEGOと名付けられた。
このレゴランドは、家族全員で楽しめる遊園地であり、ビルンの市民はいうまでもなく、デンマークの各地から、そして世界中の観光客でにぎわう。新緑の5月1日が開園日である。
〔写真提供：スカンジナビア政府観光局〕

特集

北方圏センター十周年を迎えて
北海道の国際化とともに歩んだ活動

カメラアイ カナダ・アメリカに見た快適な都市空間の創造…………… 3

巻頭辞 北方圏センター発足十周年を迎えて…………… 7

ウインター・シテイーズショーケース'88…………… 8

冬の「都市おこし」に北方圏のチエを結集…………… 36

紋別「あいらんど共和国」のアイスランド訪問記…………… 82

スウェーデン キルナの再生…………… 44

海外からのりたより…………… 34

ヨーロッパを歩きながら考えた「比較文化論」道中記…………… 92

理想的な北国住宅 パートⅦ…………… 76

道内研究所…………… 50

随筆…………… 64

カラー…………… 96

ルック…………… 67

北方圏ABC…………… 56

北方圏ニュース…………… 25

海外版…………… 20

さる〜ん…………… 60

やさしいプロトコル④…………… 18

北の花 ギョウジャニンニク…………… 55

国旗④ソビエト…………… 81

北の動物 エゾライチョウ①…………… 97

読売文化センター講座ご案内 受講者募集

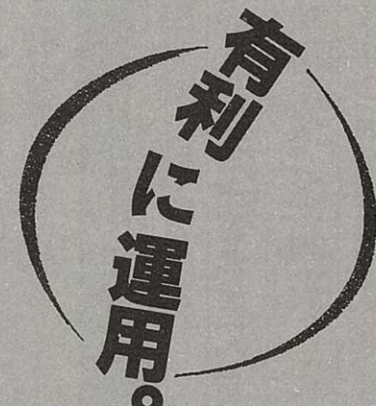
講座	曜日	講師	受講料	講座	曜日	講師	受講料
池坊いけ花	(月)	池坊華道会理事 池坊札幌支部長 杉原 青 坡	1ヵ月3,000円	囲 碁	(月)	札幌囲碁センター 村上 公 昭	入 学 金 2,000円 中・上級 1ヵ月3,800円 入門・初級 1ヵ月3,300円 小・中学生 1ヵ月2,800円
専正池坊いけ花	(火)	専正池坊札幌支店理事 専正池坊教授 長谷川 景 仙	1ヵ月3,000円	戸塚フランス刺繍	(水)	戸塚刺繍一級師範 吉 田 恵 久 子	1ヵ月3,500円
小原流いけ花	(金)	小原流家元教授 柴 田 久 子	1ヵ月3,000円	現代尺八教室	(月)	財団法人日本民謡協会認定 尺八師範・青森会主 峯 喜 勇 好	1ヵ月4,000円
小原流いけ花	(土)	小原流家元教授 専門認定教授 武 田 妙 華	1ヵ月3,000円	カラオケ教室	(水)	カラオケ楽友会 代表 ジ ョ ー ジ 広 田	1ヵ月4,000円
草月流いけ花	(木)	草月会 田 島 正 放 放	1ヵ月3,000円	手 編 み	(月)	大滝編み物学院 高 橋 ム ツ 子	1ヵ月2,500円
松月堂古流いけ花	(月)	若葉会主宰 三 上 雅 文 亭	1ヵ月3,000円	レザークラフト	(金)	NSDレザークラフト指導員 野ばら会主宰 内 山 桂 子	初級 1ヵ月2,500円
古流松藤会いけ花	(水)	松藤会正教授 沼 辺 理 汀 鶴	1ヵ月3,000円	籐 工 芸	(火)	全国籐芸趣味の会 札幌支部 渡 辺 敬 子	初等科=2,500円 中等科=3,000円 高等科=3,000円
茶 道 (裏千家)	(水)	裏千家中教授 堀 野 宗 美	初級 3,000円 上級 4,000円	紙粘土人形	(月)	日本教材師範 藤 本 玲 子	1ヵ月2,500円
機械あみ・手あみ	(水)	あみもの教室 講師 矢 野 目 幸 子	1ヵ月3,000円	深雪アートフラワー	(金)	飯田深雪門下師範 三 谷 礼 子	初等科1年 高等科1年 初等科1ヵ月3,000円
音羽流菊乃会日本舞踊	(水)	「音羽会」舞踊研究所 主宰 音 羽 菊 年	初等科1ヵ月3,500円 中等科1ヵ月4,000円 研究科1ヵ月5,000円	パ ン の 花	(火)	パンフラワースクール 本部講師審査員 中 口 裕 子	1ヵ月2,500円
音羽流菊乃会 新舞踊教室	(火)	菊巳会 舞踊研究所 音 羽 菊 巳	初等科1ヵ月3,500円 中等科1ヵ月4,000円 研究科1ヵ月5,000円	フラワーデザインと 手 染 の 花	(木)	日本フラワーデザイン協会 正会員 佐 々 木 芳 子	初級 1ヵ月2,500円
花柳流日本舞踊	(月)	花柳流芸術文会 主宰 花 柳 喜 衛 文	小品舞踊科1ヵ月3,500円 古典舞踊科1ヵ月4,500円	アメリカンフラワー	(金)	アメリカンフラワー 協会教授 佐 藤 ハ ル 子	アメリカンフラワー 1ヵ月2,000円 造形盆栽1ヵ月3,000円
幼児・こども日本舞踊教室	(土)	花柳流芸術文会主宰 花 柳 喜 衛 文	1ヵ月3,500円	リビングフラワー-未生会 中央 フ ラ ウ ー	(火)	中央フラワーデザイン協会 チーフデザイナー 佐 藤 恵 子	1ヵ月3,000円
山 田 流 箏 曲	(土)	箏曲山田流宮下社 北海道支部長 深 澤 秀 心 聆	1ヵ月6,000円 初回に入門料5,000円	スタンドグラス	(水)	講師 中 野 英 満	1ヵ月2,500円
き も の 着 付	(木)	講師 上 村 敬 子	期間 3ヵ月、6ヵ月 入学金2,000円 1ヵ月3,000円	洋 裁 (ドレメ式)	(木)	長 部 芳 子	1ヵ月2,500円
民 謡 ・ 三 絃	(金)	財団法人日本民謡協会 出口天祥支部支部長 出 口 天 祥	民謡1ヵ月3,000円 三絃1ヵ月5,000円	チャイルド・ウエア	(火)	長 部 芳 子	1ヵ月2,500円
歌 謡 教 室	(金)	(財)日本音楽著作権 協会会員(作詞・作曲家) 浜 浩 二	1ヵ月4,000円	社 交 ダ ン ス	(月)	しもとりダンス教室 しもとりただし	初心者コース 入学金2,000円 1ヵ月4,500円
漢 字 書 道	(火)	全道書道展友 月刊書の研究本部役員 山 根 昭 鳳	1ヵ月3,000円	ジャズダンス	(火)	宏瀬ダンスカンパニー 宏 瀬 賢 二	初等科=4,000円 学生料=3,500円
漢 字 書 道	(木)	北海道書道展友 全道書道審査員 石 田 壱 城	1ヵ月3,000円	特効女性ヨーガ	(火)	特効女性ヨーガ教室 北海道本部 イ ト ウ キ ョ ウ コ	1ヵ月4,000円
総 合 書 道 (ペン字、毛筆)	(火)	北海道書道展審査員 書道展常任委員 小 黒 秋 峯	1ヵ月3,500円	ホ ー ム ヨ ー ガ	(火)	日本ヨーガ学会会員 山 本 佳 子 シルヴィ・アプリ	1ヵ月4,000円 3ヵ月10,000円
詩 吟 教 室	(木)	日本詩吟学院・師範 相 沢 遥 風	1ヵ月2,000円	太 極 拳	(水)	全日本太極拳協会札幌支部 支部長 南 忠 伸	1ヵ月3,000円
江 差 追 分 教 室	(月)	日本民謡大賞受賞 (財)日本民謡協会札幌支部 松 木 知 一	1ヵ月5,000円	ジャズバレエ	(水)	ダンスアクト インストラクター 佐 々 木 る み 子	1ヵ月4,000円
ペ ン 習 字 と 毛 筆 可 能 書 道	(水)	全道展会員 月刊書の研究本部役員 奥 村 素 紅	ペン習字 2,000円 1ヵ月 毛筆かな 2,000円 ペンと毛筆3,000円	水 墨 画	(月)	池内流常任理事 黒 川 采 花 池内流常任理事副会長 宮 石 恵 舟	1ヵ月 初級 4,000円 中級 4,500円 上級 5,000円
ペ ン 習 字	(火)	日本現代ペン書道 学会指導員 原 陵 子	1ヵ月3,000円	油 絵 教 室	(水)	新道展会員 小 林 暁	1ヵ月3,000円

■入会手続/所定の申込書に必要事項を記入し、入会金1,200円を添えて事務局へお申込み下さい。
いつでも希望の講座を受講できますが、講座が満員の場合は受講できません。

お申込み・お問い合わせ先
読売文化センター事務局 札幌市中央区北4条西4丁目
読売新聞北海道支社内 ☎<011>231-7611 内線268



新税制時代も



必要などき、カードでスピーディにお借り入れ。
ベストカードローン

ショッピングやレジャーもサインひとつでOK。
HCBカード JCB たくぎんカード

1年複利で定期預金中、最高の利回りをお約束。
期日指定定期預金

200万円・300万円の高利回り運用プラン。
資金運用ベストプラン
マネーボックス

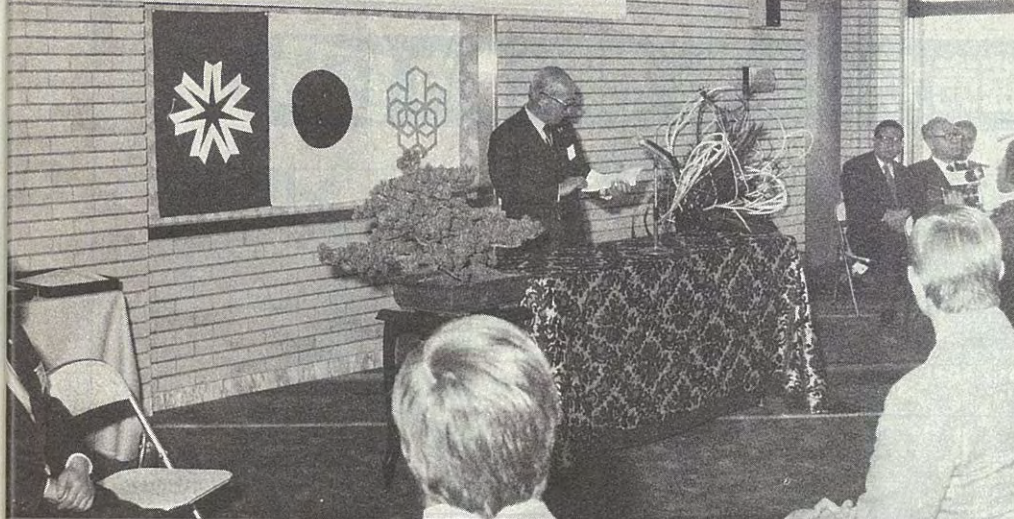
1,000万円以上の資金を短期で有利に運用する預金。
自動継続市場金利連動型預金
自動継続MMC

お客様のご希望に合わせて高利回りをプランニング。
資金運用プランニングサービス
ベストプラン



北方圏センター十周年を迎えて

北方圏センター新施設オープン記念式典



北海道の国際化と ともに歩んだ活動

北国・北海道の新しい生活・文化の創造と産業・経済の発展を目指す北方圏構想の総合的推進機関として、社団法人北方圏センターは、前身の北方圏調査会（昭和四十六年四月発足）を発展的に改組・拡大して、昭和五十三年四月に新発足した。今年には満十年の記念すべき年である。

この十年は、未来に引き継がれる息の長い、北海道のビジョンである北方圏構想の始動と、その具体的な活動を方向づけた時期として、一つ一つ先導的な実践が、極めて重要な意味を持っている。

ここに、いま一度、十年の活動を振り返ってみることにしたい。

特集

長期発展 計画に芽生え

昭和四十六年から道の長期にわたる発展計画の中に登場した「北方圏構想」は、これに呼応して誕生した（社）北方圏調査会によって、民間的に推進された。同調査会は、この構想の普及や国際交流の拡大に大きな役割を果たしていたのであった。

そのような状況の中でそもそも北方圏センター設立の構想が生まれたのは、昭和四十九年にさかのぼる。同年九月、札幌で『第一回北方圏環境会議』（提唱・堂垣内尚弘・北海道知事当時）が開催されたが、その成果を道民生活に還元するため、同十月、北方圏調査会が「北方圏総合調査研究機関（北方圏リサーチセンター）」の設立に関する意見を、国道に提出し、設置促進を訴えたのがきっかけである。

北海道が北方圏諸国に呼びかけ、札幌で開かれた初の国際会議・北方圏環境会議は、開発と自然保護、北国の生活についての関心を高め、ま

た、とかく南に指向しがちだった道民の目を北に向ける一方、会議の継続や交流の強化を申し合わせるなど、予想を上回る成果をあげた。これは、北海道に北方圏諸国の連帯による相互発展の必要を訴え、これからの「国際化」時代到来を告げるものであった。

北方圏調査会の「意見」は、道民生活に密着する各種の問題を解決するために、北方圏に関する調査・研究を行う「北方圏リサーチセンター」の設置が急務であることを訴えたものであった。

これは、北方圏調査会発足以来、道民の北方圏構想、北方圏諸国への関心も高まり、経済はもとより科学技術交流等の調査も漸次行われるようになっていたが、アラスカはじめアメリカ合衆国北部諸州、カナダ、ソ連シベリア・極東地方、および北欧諸国に関する情報は著しく不足していた状況にかんがみ、センターは自ら必要な調査を行うとともに、資料・情報を収集、整理し、広く道民に提供し、北国北海道の新しい生活・文化の創造や経済、社会、産業の分野の発展に役立てようというものであった。

北方圏の総合 調査交流機関を

一方、道庁内においてもこの提案は真剣に検討され、知事の私的諮問機関である「北方圏交流推進委員会」（会長・辻井達一北海道大学助教授）を設けて、その方向づけについて諮問した。同委員会はこれに応え、五十一年八月「北方圏総合調査交流機関（略称・北方圏センター）設置に関する意見をまとめ、提出した。

北方圏センター設立に関する意見書の内容は、「北海道は、地理的にみて北方圏の要衝に位置し、また、鮮やかな四季の変化に恵まれた北方的風土を有しているため、この特性を生かし、北方圏諸地域との交流をより活性化して、寒さや雪の障害を克服し、北国にふさわしい快適な生活の場を形成するとともに、わが国における北方圏交流の拠点にふさわしい躍動的な産業経済を展開していかなければならない」として、「そのため、北方圏に関する各種の調査・研究資料の収集、保存、交換、分析、提供

などデータバンク機能、必要な諸調査研究の推進・奨励などのリサーチ機能、および会議場、宿泊施設など人的交流を促進するレセプション機能等を有する総合的な調査交流機関を早急に設置する必要がある」と、その早期実現を強調したのであった。

当初、北方圏調査会が提唱した「北方圏リサーチセンター」から名称も「北方圏センター」と変わり、内容もはるかに大きな構想となっていたが、それはあらゆる分野での交流事業を大幅に強化したからにはかならない。

また、センターの主要な機能である調査・研究部門の事業では、その留意点として、北海道に必要な課題のチェック、解決のためのプロジェクトチームの編成に努め、コーディネーターの役割も果たすべきであると指摘した。

さらに、資料・情報の面では、これらの蓄積は相当の年月をかけなければ充実したものにならないため、とりあえず「情報センター」を設置し、資料・情報の収集・整理を先行させるべきだとしていた。

これを受けて、北海道、北方圏調査会も情報部門設置を急ぎ、それまでの毎日会館（中央区北四西六）内

の事務局では狭いなため、近くの札幌ホワイトビル（同北四七七）に移転、五十一年十一月、北方圏調査会内に「北方圏情報センター」を付置、オープンさせた。

北方圏交流推進委員会の意見提出から設置まで、わずか四カ月の異例の早さでの実現であった。
北方圏情報センターは、北方圏センターを設けた場合、その情報部門となるもので、道の補助を得て、北方圏調査会が運営にあたった。



流事業をより活発に進めるためには、どうしても財政的な裏付けが必要である。

（中略）
北方圏センター、北方圏交流基金の二つの大きな車輪がかみ合っており、北方圏交流事業の明るい展望が生まれてくる。

（中略）
自分の住んでいる足元の社会を見直し、より豊かな生活を送るためには北方圏交流はなくてはならぬ構想だと思ふ。この構想は、決して研究者や経済人など特殊な人たちのものではなく、道民一人ひとりの茶の間の構想である。

なぜなら、そのネライは北国に生きる知恵を考え出してもらうことであり、北国に生きる喜びを味わってもらうことにあるからだ。そして、この構想に関心を持つことにより、おのずからその認識は生まれてくるのである。（後略）

この基本的理念は、今日でも変わることはない。

センター始動へのうねり

こうした北方圏センター設立早期実現へ向けての機運の中で、五十二年十月、道内各界の代表が参加した「北方圏センター設立期成会」（会長・東条猛猪拓銀会長（当時））が設立され、官民一体となつての準備が進められていった。

一方、衣替えのための北方圏調査会の臨時総会は、五十三年四月七日に開催され、北方圏センターに移行のための定款の改正を議決した。四十六年四月以来、八年間続いた北方圏調査会の幕は降りたが（同年四月二十日、内閣総理大臣一部変更許可により北方圏センターとして正式に発足）、約一カ月後の、五月十一日には改めて北方圏センター発足総会が開かれ、新しい時代に向けて、役員運営体制を大幅に強化するとともに、装いも新たに「北方圏センター」（会長・東条猛猪）が始動することになったのである。

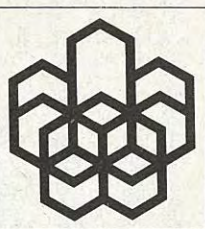
なお、センターの新施設の完成は

施設・機能にも北国らしさ

北方圏に関する情報の収集、リサーチ、交流の三つの機能を持つ総合的な推進機関として、北方圏センターの新施設は五十三年十二月にオープンした。

実施設計は飯田勝幸北海道大学工学部助教授が中心となり、北海道開発コンサルタントが担当した。本来、オフィスビルの建物であるのに対し、国際交流の場として特殊な機能と使用が要求されたことや、ビルの最上階の十二階のため防災上の規制が強いことなど、さまざまなハンデがあ

北方圏センター豆知識



- 北方圏センターが道内外、海外に活動を広げていくには、愛されるシンボルマークが必要のため、新施設オープンに合わせて制定。
- ①六角形は雪の結晶を表わし、北国の雪のイメージ。
 - ②六角形の重なりは北方圏語域とのつながりと交流。
 - ③上部の六角形は北に伸びる広がり。

シンボルマーク

と交流。④全体の形は漢字の「北」と道花・ハマナスをそれぞれ表現。さらに、全体を六角形に近い形でまとめたのは、北方圏の「調和」の意味になっている。

制作・金井グループ（其水堂金井印刷株式会社・金井英明氏ら四人）

五十三年十二月まで待たねばならなかったが、それまでに体制整備を図っておくため、施設完成に先だつてセンター組織が発足（事務局・札幌ホワイトビル・中央区北四七七）したが、本格的なセンター機能を持つた活動は五十四年一月からであった。北方圏センターの発足に合わせて、財団法人北方圏交流基金の創設準備も進められた。人的交流を促進し、相互理解を深めるため、各種の交流事業を援助するもので、北方圏センターとともに、北方圏構想推進の両輪として期待が集まった。

堂垣内前知事の推進力

北方圏センターと北方圏交流基金の発足を四カ月後にひかえて、北方圏構想の生みの親であり推進者である堂垣内尚弘知事（当時）は、本誌『北方圏』第二十二号（78新春号）に「北方圏センターの誕生」と題する次のような巻頭のことばを寄せられた。

「新しい北海道づくりをめざす北

つたが、「設計にあつた基本方針は、国際交流の場としてふさわしいものであると同時に、北海道の若々しい大地のイメージを表現したものにすること、また可能な限り道産品、道内技術を使うことに留意」（飯田助教授）して、レイアウトとデザイン

北方圏交流の本格化へ

北方圏との交流は、四十六年、北方圏調査会等の主催による「シベリア・極東地方経済、文化視察団」の派遣を皮切りに、四十七年には経済・文化視察団をカナダ、アラスカへ

海道発展計画が五十三年四月からスタートする。開道百年目にあたる意義深い年でもある。今後、その可能性を發揮、道民一人ひとりが安定充実した生活を営むことができる地域社会を創造していくためには、その地域的な特性を生かした北方圏構想を推進するのが極めて重要である。

（中略）

新しい北方圏センターは、北国の生活に生かすためのたくさんの情報、資料を積極的に集めるのはじめ、これをもとに、現実を利用するための研究、調査の促進奨励を進める。そして、北方圏諸国との交流を活発にするための国際会議場、レセプションホールを備えた総合的な交流機関をめざしている。

施設は、五十三年十二月、建設中の北三条ビルにできるが、関係者が待ち望んでいた本格的な北方圏構想の推進の場になることは間違いないし、今後、その機能が十分に生かされ、積極的な活用を大いに期待したい。

北方圏センターの施設をハード面にとらえるなら、北方圏交流基金の創設はソフト面にとらえていい。交

に創意を加え、一つ一つ課題を解決北海道初の国際交流機関であり、国際交流施設にふさわしい、スマートで落ち着いた施設が完成した。そして、ここをキーステーションに、北方圏交流の輪が広がり、さらに大きく展開されるようになった。

派遣するなどして本格化した。その後、生活環境、経済等に関する視察団や友好・親善使節団を派遣、また、北欧各国からの経済交流施設団やカナダからの親善交流団体、中国東北地方三省からの産業視察団等が来道するなど、相互交流が相次ぐようになった。こうした北方圏諸国・地域からの来訪者が年々増えつつあるが、北方圏センターへの来訪者だけでも年間平均三百人を超えるほどである。

もちろん、北方圏交流活動は、今や北方圏センターだけではなく、道内の市町村、団体、学校等によって縦横に、綾織りに展開されており、北方圏だけ学習交流、アラスカ学校交流などの道内の小中学校とカナダアラスカの小中学校との姉妹提携も行われ、児童・生徒による交流や市町村の姉妹提携による市民交流も盛んになっている。

北方圏の共通する課題解決のための国際会議もしばしば開催されるようになり、北方圏センター国際会議場のコケラ落としもいうべき、北方圏ジャーナリスト交流会は、参加外国人記者、プレスアタッシェ十九人と道内の報道関係者が一堂に会し、生活、情報交流について意見交換が行われ、大きな成果をあげた。そのほか「北方圏婦人交流会」、「北方圏海難防止会議」、「北方圏経済交流シンポジウム」、「国際シンポジウム・外国人から見た北海道」、「テキスタイル・デザイン国際シンポジウム」、「北方圏・地方のアイデア国際会議」、「北方圏ヤング・トークイン」、「国際シンポジウム・長寿社会と福祉」等々、生活に関するあらゆる分野での国際会議が催された。

一方、講演会、セミナーも多くの関心を集め、北方圏を考える「北国の新しい生活」、北方圏構想と経済交流」などをテーマに各地で開催。

また、水上スポーツとしてのカーリングは、五十四年度から北方圏センター、北海道カナダ協会等の主催で、カナダ・アルバータ州から元世界チャンピオンのウォーリー・ウーリアック氏を招いて、五カ年にわたる指導者講習会を行った。その後急速に普及し、五十六年冬には「北海道カーリング協会」、五十九年には「日本カーリング協会」が設立され、道内のカーラーは優に二万人を超えるまでになった。

北方圏諸国で冬の日常スポーツとなっている歩くスキも、道民の間に広く浸透し、参加者一万人を超す「旭川バーサー大会」や世界でも最長の百キロのコースである「湧別原野オホーツク一〇〇kmクロスカントリースキー大会」など、道内各地で大会や集いが冬の風物詩となるようになった。

五十八年二月に開催した「冬の装い・研究協議会」は、北海道の防寒衣料のあり方について具体的な問題を提起した。札幌市北国の消費生活研究会（山本順子会長）が行った「子

供の冬の遊び着に関する調査」と、それに基づきデザイン、縫製などの十一項目の具体的提言を契機に、メーカーや流通業界が敏感な対応を示し、「着る人が作る人」をスローガンに、年毎に北海道によりふさわしい防寒衣料の研究開発が進められ、改善製品が市場に出まわるようになった。

情報・資料の充実

センター施設、業務面では、情報・資料の整備拡充に努め、図書・資料室には、北方圏諸国の国別、分野別に、図書九千八百五十三冊を収蔵。他にスライド資料一万八千七百七十五点、パンフレット等資料四千八百八十八点、フォト資料五千九百九点、北方圏諸国の絵はがき約五百点（いずれも六十二年三月三十一日現在）が収蔵された。

また、北方圏センターの専門調査報告書は「北海道の地域開発の現況とその対応策に関する調査報告書」

では英語研修コース、北方圏語独習コースなどを開設してきた。

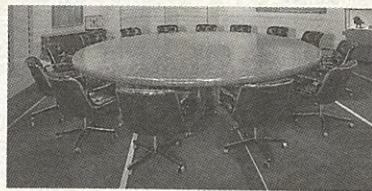
新たな時代へ向けて

北方圏交流は、北海道に住む人それぞれが「北方圏」という視点を持ち、各自の生活や地域課題を見直すことよって、新しい北海道づくりを進め、北海道をエンジョイする知恵と工夫を生み出す「泉」といえるだろう。

そして、北海道の国際化を考慮する方向においても、この私たちの北海道が北方圏に位置する限り、また、これまでの北方圏交流を通して得た多大なメリットを思い出す時、北方圏交流こそ私たちの生活（産業・経済をも含めて）が一層充実し、豊かにしてくれる構想であることを確信するところである。

北方圏構想は、息の長い次の世代へ架けるビジョンである。そして、国際化、情報化、加えて技術革新の進む新しい時代の中で、北方圏センターは、北方圏交流構想のキーストーションとしての役割の大きさを認識して、さらにいっそう努力していきたいと考えている。

特別会議室
カラマツ集成材の大テーブル



カラマツの木目をタテにそろえて、木目の美しさを活かしたものの。カラマツ特有のヤニは高圧蒸気で除き、短く切ったネジレを防ぎ、狂いを防ぐため大量の塗料を浸みこませてある。フシを取り除くので、材の歩どまりは一四～一五%。加工しただいでも華麗な製品になるものか、と思わせる。

テーブルの大きさは直径二・四メートル、厚さは八センチ。

制作・協同組合連合会北見カラマツセンター（留辺蘆町）

出版部門の拡充

『中央計画経済圏のエネルギー事情』、『北方圏都市の環境色彩とアイデンティティ』など六十二年度までに六十件がまとめられた。

視聴覚資料では「雪と水のファンタジー」（英語版三十分）、「北方圏の暮らし」（全十三巻）、「北方圏の冬」等の北方圏諸国の実情を紹介する映画を製作、また、映画、ビデオ、レコード等の資料は二百三十点を超えている。

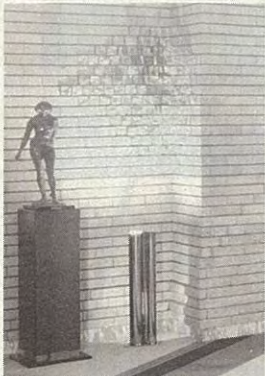
単行本『北方圏時代』（A5判・三百九十ページ）を刊行、その後『HOPPO・KENT TODAY』（英語版、A5判・四百四十ページ）『ルポルタージュ北方圏』（B6判・三百二十ページ）『北方圏ガイド』（B6判・三百七十ページ）や、カラーグラフィック『グラフィック北方圏』をテーマ別に七巻、また、五十六年から『北方圏センター／北方圏交流基金・年報』を発行している。

また、本年五月には、北方圏センター十周年記念出版として『新・北方圏時代』（A5判・三百五十ページ）が「北方圏時代刊行会」から発行される。

そのほか、「展示ホール」における各種企画展示会（写真展、作品展、テーマ展等）の開催、「語学研修室」

季刊誌『北方圏』は、北方圏に関する唯一の総合専門誌として、北方圏調査会の創成期である四十七年十一月に創刊され、五十三年四月に新発足した北方圏センターが、これを二十三号から引き継いで発行している。出版活動としては、このほか北方圏諸国へ北海道の情報を送る英文季刊誌『NRC Newsletter』の発行、北方圏に関する会議の報告書、視察レポート、講演会要旨等の資料冊子などを逐次出版し、五十五年度には

豆知識



白れんがはいわばタイルの一種。

タイルには石を主原料とした磁器質タイルと陶土を主原料にした炻器（せつき）質タイルがあるが、白れんがは磁器質タイル。

原料は六〇%が長石、陶石、ろう石、四〇%が良質の陶土。焼成温度は千三百五十度、普通レンガは千三百度。

陶石は壮瞥町から運んできたが、

ラウンジ、エレベーターホール
白れんが

陶石は法定磁物のため試験採掘の形で採取許可を得、つなぎの粘土は道内にもいものがないため、瀬戸から木節粘土を運んできた。

北方圏センターが初使用。「北方圏」を象徴する白だが、黄色がかったりするので、むしろ、ぬくもりを感じる。

制作・北海道農材工業（札幌）

豆知識

世界に広がる きめ細かな取材網!

道内、国内、世界各地を結んで
ホットな情報をお届けします

北海道新聞



北海道新聞 道新スポーツ

本社=札幌市中央区大通西3 ☎221-2111 東京支社=東京都中央区銀座7-6
発行支社=函館・旭川・釧路 非発行支社=小樽・室蘭・帯広・北見・苫小牧・大阪

やさしい 4 プロトコール

会議の 席割り

最近の国際化時代を反映して、北海道においても姉妹交流や経済交流など、外国の方を迎えるための会議や集会がひんぱんに開催されるようになりました。

和気あいあいのうちに進行する会議であっても、準備や会場の設営に当たる者にとっての頭痛のタネのひとつに、座席割りの問題があるかと思えます。

座席割りに当たっては、まず、中心となる席を割り当てていかなければなりません。このための基本的事項である上位席、序列については前号及び前々号 (vol. 61、vol. 62) を参照していただくことにして、今回は会議の場合の席割りについて説明しましょう。

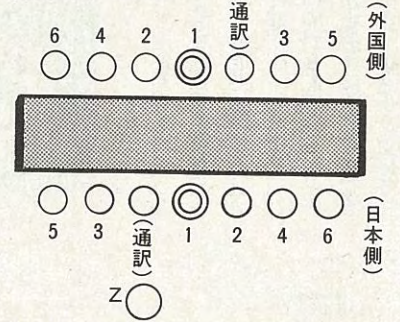


ちなみに国際会議場に掲げる参加国の国旗も国連方式の国名アルファベット順 (向かって左から) にすることをおすすめします。(しかし、セミナー、シンポジウムはこの限りではありません。)

二国間会議の場合

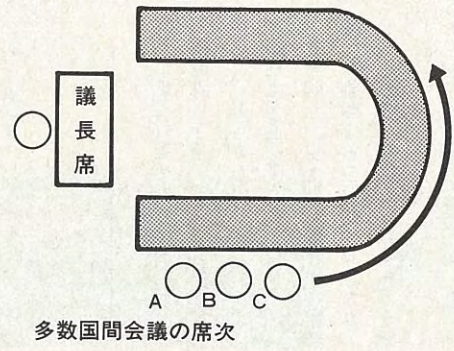
テーブルをはさんで
両国の出席者が対面するように座ります。テーブルの両側中央が最上位席になります。その右側が次席、左側の通訳席 (通訳は席次にカウントしません) の左手が3席、次席の右が4席、3席の左が5席というようにすると良いでしょう。もちろんテーブルの中央に卓上旗を飾ることが望ましい (卓上旗の掲揚については vol. 60 参照) のはいうまでもありません。

二国間会議の席次



多数国間会議の場合

大規模な国際会議、あるいは大規模とまでいかななくとも参加者が3カ国あるいは4カ国となる場合の席次は、図のようにされると良いでしょう。会場の奥の中央に議長国のテーブルをおき、それをはさむようにコの字型もしくはU字型に各国からの出席者を配していきます。このような場合の席次は、「国連方式」によるアルファベット (英語) 順が良いでしょう。



北方圏ニュース

● 道内版

札幌国際デザインメッセ'88開催 6月フィンランドの文化人招き

「北海道の新しい文化のデザイン」を創造しよう、と今年六月十日～十二日の予定で札幌芸術の森と北方圏センターを会場に札幌国際デザインメッセ'88が開かれる。

メインテーマは「北の知恵・北の技術」。日本側からは国際日本文化研究センター所長梅原猛氏をはじめ、インダストリアルデザイナーの栄久

庵憲司氏、グラフィックデザイナー栗津潔氏、評論家犬養智子さんらがホスト役を受け持つ予定で、海外ではフィンランドから著名な工業デザイナーなど十名が講師として参加する。

会議はメインテーマ「北の知恵・北の技術」に沿って、さらに「映像に見るグッドデザイン」などと細かくテーマを設け、参加者がそれぞれ分かれて語らう。

関連イベントは楽しく盛りだくさん。展示では森のなかの工芸館で「フィンランド・グッドデザイン展」開催中の食の祭典との相乗効果も考えたフィンランドならではの料理も味わう。「これが北国のグルメだ！」をはじめ、北国のローソクを生かした「音と光のパフォーマンス」や「オールナイト・トーク森の夜字講」「北のファッション」また、優れた作家と作品について語る「この人と語らう」などが計画されている。

札幌国際デザインメッセは今後も隔年で実施予定。海外から招待するゲストもカナダ、デンマーク、スウェーデンから、と多彩。ご関心の向きは是非ご参加を。

カナダ文化体験と英語研修の旅 名寄市が募集

名寄市では今年も「カナダ文化体験と英語研修の旅」の参加者を募っています。行先はカナダ・オンタリオ州。十四～二十歳の学生・生徒はリンゼイ市、英語の先生はピーターボロー市、両市にあるサー・サンフォード・フレミング大学で研修をします。

名寄市はリンゼイ市と二十年間に及ぶ姉妹提携をしており、この間、歴代の市長の公式訪問をはじめ、市民の友好訪問・交換学生との交流など文化交流を行っており、その一環として一昨年から「研修の旅」を実施しています。

○主催 名寄市教育委員会、オンタリオ州立サー・サンフォード・フレミング大学。

○期間 昭和六十三年七月二十三日～八月十九日、二十八日間。

○募集人員 学生・生徒の部四十名
英語の先生の部（中学・高校等の英語の先生及び、それに準ずる語学力があり、研修を希望する一般の方を含む）二十名。

○研修内容 学生・生徒の部はリンゼイ市のカレッジで、先生の部はピーターボロー市のカレッジで、それぞれのカリキュラムで研修。全員ホームステイとなりますが、期間中四日間程度トロント市、ナイアガラの滝、オタワ市などの視察があります。

○研修費用 四五三、〇〇〇円。
○申込受付 昭和六十三年四月一日～五月三十一日。

申し込み、詳しいお問い合わせについては、

名寄市総務部総務課 〒〇九六
名寄市大通南二丁目 電話〇一六
五四―三二二―一 まで

抜群の環境で、思い出の夏を作りませんか。

新たに欧州の代表作など50点 国際染色美術館(旭川)で初公開

優良良織工芸館(旭川市神居町忠和・木内和博館長)に隣接して昭和六十年にオープンした国際染色美術館「写真」。暖房による変色防止のため、昨年十二月から今年三月まで休館していたが、四月一日からヨ

ロッパタペストリーの代表作の一つ 「ソロモン王とシバの女王」など五十点を新たに加えてオープンし、多くの見学者でにぎわっている。

「ソロモン王とシバの女王」は四百五十年以上も前にベルギー・ブリュッセルのベルナル・ファン・オールリー工房で製作された作品で、縦横とも三・四メートル。イスラエル王国の最盛期にソロモン王の名を伝える聞

いたシバの女王が贈り物を持って訪れた場面を描いており、バランスのとれた構図、人物の表現、豊かに装飾された縁どりなどが見事である。素材は羊毛と絹。大型のタペストリ

は装飾品であり、日本の障子のような、仕切りの役目も果たしたという。また吸湿性にも富むと言われる。江戸時代末期の友禅織をびょうぶに仕立てた「扇面友禅屏風」も初公開の目玉の一つ。絹糸に色をきして、涼しげな水辺の情景などを描いている。糸と糸との境目に糊をつけてた



国際社会において主要な役割を果たす日本として、竹下登新

北海道の方々への友好メッセー

アルバータ州政府・サロームさんから

総理大臣は、世界の平和と繁栄のために日本が積極的に貢献するよう勧めております。世界の調和、一体化のため、日本人が成し得ることに於いて総理は言及してありますが、北海道はその見事な手本といえるでしょう。

北海道からの数多い派遣団を通じ、アルバータ州民は美しい

北海道とその友好的な道民の方々について、理解を深めてきております。このような「国」を越えた訪問、ホームステイを通じて個人的な対話ができる貴重な機会が生まれております。言葉の違いがありましても、私たちは、しぐさなどでお互いの意志を伝えられます。日本語は話

せなくとも、私たちは心と目で友情を明確に示すこともできますし、皆様の表情に友情を読みとることも可能です。

実際、横路知事ご夫妻や北海道からの派遣団のメンバー、私がお会いしましたすべての日本の方々のお顔に、すべてが表れておりました。多くの人と接す

るにしがたがって生活の質は向上し、お互いに理解し合うとき、その喜びは二倍になるものです。

カナダは、「文化の旗」が「貿易の旗」につながらなければならぬと確信しています。日本はカナダにとって二番目に大きな貿易相手国であり、私たちはお互いにこの関係を深め、日本の友人たちの文化、生活様式、考え方を尊敬し、理解するように努めたいと思います。

一九八七年十月、第一回アルバータ親善使節団の団長として日本を訪問でき、とても嬉しく思っております。一九八九年春に第二回アルバータ親善使節団を率いて再び日本を訪問することを楽しみにしております。

アルバータ州政府広報局
訪問接遇部長

ラバーナ・サローム



らして周囲に色がしみるのを防いでいる。この技法は昭和に入ってからだとだえ、作品もほとんど残っていない貴重なもの。

従来の展示品、ペルシャ大じゅうたん、ベルギーのタペストリー「女王の凱旋」などに加えた今年の開催展示は、内容も一層充実し、訪れる人々をうならせる素晴らしいものとなっている。

北方圏・木と暮らし・道北巡回展 7市町村で好評

北方圏センター所蔵の展示用資料は各地の催事に貸し出し、好評をいただいているが、これを利用しての『北方圏と暮らし・道北巡回展』が、名寄市を中心とする道北七市町村で、一月二十三日から三月十六日までのロングランで開催され、人気を呼んでいた。

本展示会は、名寄市在住者を中心とするボランティアの十三人が、同実行委員会（山田忠司事務局長）を組織して企画されたもの。

同実行委員会はカナダ防寒衣料を開催するなど、北国の優れた文化や芸術を通して、快適な暮らしを作りあげ、今回の道北巡回展もこの趣旨のもとに、同会と道北七市町村（名

寄市、風連町、下川町、西興部村、美深町、音威子府村、中川町教育委員会公民館）の主催により開催さ



好評だった巡回展（名寄会場）

れた。

展示品は、スウェーデンやフィンランドといった北欧諸国やカナダな

ど、北方圏十カ国で作られた木のがらみ具、人形やインテリア小物など、北方圏センター所蔵の約百八十点と、勲芸術の森所蔵の十七点を加えた約二百点。

また、展示期間中には名寄市内の木工製作グループ・ウッドディアリヤマ友の会（佐藤明会長）などの協力を得て、木工製品の展示発表も行われた。

可愛い木製品が一堂に集められた各会場では、子供からお年寄まで、熱心に見入っていた。

山田事務局長は「お母さんと一緒に子供たちがたくさん来ました。木のぬくもりや、本物の感触を味わってもらえたと思います。北海道でも自然の厳しい道北だからこそできたと思います。成功でした」と笑顔をみせていた。

北欧の清澄な響きに酔う
ストックホルム・バツハ合唱団

（財）スウェーデン交流センター五周年記念として、ストックホルム・バツハ合唱団の公演と市内合唱団との集いが開催される。主催（財）スウ



来札するストックホルム・バツハ合唱団

エーデン交流センター、後援（社）北方圏センター、スウェーデン大使館、北海道新聞社、スウェーデンハウス（株）、北星学園女子中・高等学校。北欧と言えれば世界でも合唱水準の高いことで知られるが、中でもスウェーデンは最高レベル。

スウェーデン合唱団の来日は意外と少なく、世界一の男声合唱団「オルフェイ・ドレンガル」が一九八四年に来日し、一方ストックホルム少女合唱団が一九七九年に来日しただけで、今回、いよいよ待望の混声合唱団の公演となる。

曲目は「J・S・バッハ」主に向かいて新しき歌をうたえ」他十八曲。バツハを中心に、そこにいたるルネサンス以来の諸作品と、現代のさまざまな合唱名曲に対して、透明な声、精緻なハーモニーでたいへん感銘深く歌い上げる合唱団である。

○公演日時 五月十六日（月）午後六時三〇分。

○場所 北星学園講堂

入場券は二千円でスウェーデン交流センター、大丸、四丁目プラザ、教文アレイガイドで発売中。

▽ストックホルム・バツハ合唱団と、

最先端の断熱窓、マイスター
MEISTER

新登場



AGC
ASAHI GLASS COMPANY

旭硝子株式会社

札幌支店
〒060 札幌市中央区北2条西4丁目（北海道ビル）
電話 011(212)3874

北方圏ニュース

● 海外版

市内合唱団との集い
○日時 五月十七日(火) 午後六時
○場所 京王プラザホテル札幌・インドアプラザ
詳しいお問い合わせは(財)スウェーデン交流センター 当別〇一三三二(六)一三六〇まで。

第2回北方圏バイオテクノロジ・セミナー

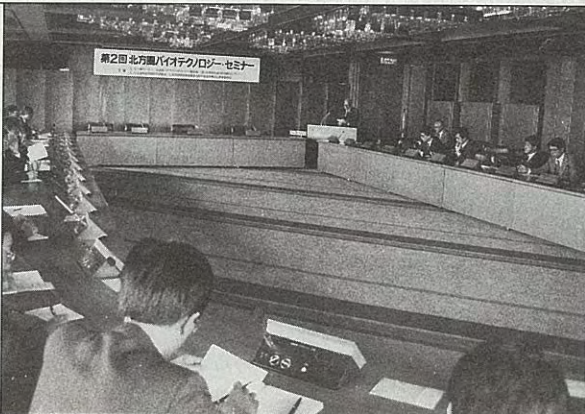
「HIMEX構想」など訴える

昨年に引き続き、二度目の開催となった北方圏バイオテクノロジ・セミナーは、三月十七日、北方圏センター国際会議場で開かれた。

主催は北海道バイオインダストリー懇話会、(財)北海道地域技術振興センター、(社)北海道開発問題調査会、北海道国際医療産業複合都市推進機構設立準備事務局、(社)北方圏センター。

北海道が今掲げているハイメックス(北海道国際医療産業複合都市)構想、つまり、寒冷地に適した医療を様々な産業と結びつけて考えた都市作りをしようとするものだが、そ

れに加え、国際交流やバイオ振興の視点ともからめた講演と討論が行われた。講師に、黒島農汎(あきた)旭川医科大学教授、鈴木清繁(北海道総務部医療参事、菊地浩吉・札幌医科大学学長の三氏を迎え、コーディネーターは江口良友・静修短期大学学長が努めた。



活発な意見・提案が出たセミナー

「バイオの問題が一般道民に浸透することを願い、活発な討論が交えられることを期待します」と東条・北方圏センター会長が冒頭であいさつ。講演はまず、「寒冷への適応生理と健康」と題して黒島氏が体温を維持するシステムについて細胞のレベルで説明したあと、寒冷地で人間の体謝がどのように変化するかを述べた。鈴木氏の演題は「エキノコックスと包虫症」。近年、話題になっているエキノコックスの伝播経路、病状の進行度合について症例を紹介しながら説明。エキノコックスの実態の怖さを印象づけた。菊地氏は「代用臓器医療の現状とHIMEX構想」と題して講演。「代用臓器医療は海外ではもう当たり前のように行なわれている。日本でこれを促進するには国際的な視野に立った医師の教育が必要」と述べ、「結局、人間の生きつくりころは健康。人間の健康のために将来医学と絡めた様々な産業を育成するべき」とHIMEX構想の重要性を強調した。

質疑応答では「札幌医大を将来、北海道国際医療産業複合都市にしてみてもどうか」というなど、意見と提案が活発に出された。

真空ポンプで魚を陸揚げ

迅速で高い経済効果

漁獲した魚を船倉から陸揚げするには、網に魚をつめてクレーンで運ぶという方法が長い間用いられてきた。ところが、この方法だと、魚が傷むだけでなく、作業も人手や時間がかかる、といった難点がある。

こうした問題を解決したのが、ブリティッシュ・コロンビア州リッチモンドのイノバック・テクノロジ



社が開発した真空陸揚げポンプ「トランスパック」の写真。

これは、長さ約三メートルの真空気筒で魚を船倉から吸い上げて、加工場や缶詰工場に送り込む装置で、吸い込み弁を気筒の下ではなく、上部につけたのがミソ。船倉の魚を咬まないようにするためである。

真空ポンプを開発したブレックナー社長によると、「このポンプでニシンを一時間に百二十ト、サケの場合はその半量、つまり約六十ト、サケの場合もそれよりやや少なく陸揚げできた。人力で陸揚げした場合より、五、六倍も速い。しかも、一台の価格は、サイフォン・ポンプの一年分の維持

費と同じくらいだ」とのことである。

(カナダニュース)

市民登録に関する権限 教会から税務署に移転

このほどスウェーデンの市民登録権を教会(過去三百年にわたってこの任を負ってきた)から、地方自治体の税務署に移転する旨の政府法案が、小差で国会を通過した。スウェーデンでは伝統的におよそ千五百の小教区登録所が登録業務を担当、出生証明書やその他の証書を発行してきた。しかし、この種の業務の権限を非宗教的な普通の役所に移転することが、今の時流に合っていると、とりわけ社会主義陣営では考えている。

税務署以外に、地方自治体の社会保険事務所もまた、移民登録、名前もしくは住所の変更、出生証明書の発行等の業務を取り扱う権限を与えられることになる。なお、今回の再編成の前提として、各事務所に端末機を置いて登録記録をコンピュータ処理することがあげられる。計画では移転は一九九二年七月一日付で実

効となる。

これに関連して、国会は「一家の官庁接渉人」に関する再検討を行うべきだとの決定を下した。現在では、夫が子供の父親であるなしにかかわらず、常に官庁接渉人と考えられている。

(スウェーデン情報)

アラスカ永久基金 90億の大台突破

石油鉱区使用料などの二五%を積み立てているアラスカ永久基金の残高は、昨年十二月末現在九十億八千八百万ドルとなり、九十億の大台を突破した。この基金の運用益は年間七億ドルを越えており、その中から毎年クリスマス前に全州民に分配金が支給されているが、今年の分配金は昨年の一億七千八百九十九万ドルを超え、今のところ八百三十三万ドルに達する。州政府歳入局では試算している。

クーパー知事はこの運用益をアラスカ経済の活性化や科学技術の振興、さらに州民の教育関係費の援助などに有効に活用したいと州議会に提案し、目下その提案をめぐって論争が

家族で発見、スウェーデン直輸入の快適さ。



コストをスリムにしたフリートと、スウェーデン気質を120%発揮したアルム。2つのモデルハウスそれぞれがこれからの暮らし方を刺激的に応援します。

特定建設業 北海道知事登録(特-59)石第282号
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第2143号
スウェーデンハウス株式会社
北海道支社 / 〒060 札幌市中央区南1西5
郵政互助会札幌ビル4階 ☎(011)251-1881

モデルハウスは2つの会場にあります。
北海道マイホームセンター札幌会場
北海道マイホームセンター西会場

東証1部上場 一級建築士事務所 東京都知事登録第22032号
設計 **株式会社 トーモク**
監理
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-2丸の内
三井ビル4F ☎03-213-6816

展開されている。

(アラスカ情報)

魚加工の廃油から

「シャンプルー」製造

シャンプルーの製造には動植物油と石油系の原料が利用されるのが普通だが、エストニア共和国科学アカデミー化学研とキーロフ漁業コルホーズのスタッフは、魚缶詰工場の廃油から製造する方法を開発して、一九八七年度ソ連国家賞を受けた。

魚加工の廃油は、これまで廃水の生物学的浄化の効果を低下させていたが、新しい方法で製造されるシャンプルーは細菌によつてたやすく分解されるし、製造の際の廃油は二%以下で、これは液体燃料に混ぜて自家発電装置で燃やされている。

メレバフト(海の泡)という商標の新製品は、髪の毛の乾燥を防ぎ、柔らかさと光沢を与える成分がもともと魚油に含まれているので好評で、現在エストニアで稼働中の実験設備で年間一トンを生産されている。小規模な魚缶詰工場でも使えるよう、工程は単純化されており、設備投資

は一年半で回収された。

廃魚油の加工のいくつかの反応段階に分けて行われ、中間生成物の浄化の多くのプロセスも含まれている。第一段階の中間生成物——不飽和脂肪酸のメチルエステルは、さまざまな洗剤の原料としても有望である。

この方法はイギリス、フランス、フィンランド、スウェーデンで既に特許を取得している。

(APN)

アラスカの

オーロラ・ツアー大人気

アラスカの『オーロラ観測の旅』は、この冬大きな伸びを見せている。オーロラ観測を目的として一昨年からは始まったこの旅は、初年度十八人、二年目の昨年は百二十二人であったが、三年目を迎えオーロラ最適シーズンの三月現在、その数は五百人を上回る勢いである。従来アラスカの冬の旅は『スキー・ツアー』が主流であったが、今冬では『オーロラ・ツアー』に大きく水をあけられ、その座を奪われてしまった。これは、アラスカのフェアバンク



アラスカのオーロラ

壮麗な自然現象オーロラを求めてのツアーは、今後も二、三、四月を中心に年々増え続けることは確実である。

(アラスカ・ニュース)

87年の登頂成功率31%

マッキンレー山

北米大陸の最高峰マッキンレー山(六、一九四〇m)は、冒険家・植村直己さんが消息を絶つた山として日本人の心に焼きつけられているが、アメリカ国立公園局の報告によれば、一九八七年中にマッキンレー登山を志した人は八百七十七人、そのうち登頂に成功した人は二百五十一人で、成功率は三二%と比較的悪かった。それは昨年中悪天候が多かったことが最大の原因であると公園管理局のレインジャーは言っている。

登山に参加した八百七十七人中二百三十二人が外国人で、世界の十六カ国から遠征してきており、また八百七十七人中二百四十四人が現地のガイドの助けを借りている。

また、国立公園局は、マッキンレー山麓にあるディナリ国立公園ホ

マッキンレー山



テルを建て替える方針で、目下検討を進めている。公園局の案は既存のホテルの大部分を取りこわし、その跡に百四十室の新しいホテルを建設しようというもの。

客室のほかにレストラン、スナックバー、ラウンジ、ギフトショップ、郵便局、ストア、ランドリー、シャワー室、娯楽用具レンタルストアなどを備えた本格的なリゾートホテルとし、出来れば一九八九年に建設工事を開始したい意向である。なお、

公園局はこのホテルのほかに、青少年向けのユースホステルの建設も考慮中といわれる。

(アラスカ情報)

ケベック州の主要道路に

観光客向けに絵文字標識

マルク・イヴァン州運輸相とミシエル・グラットン州観光相の発表によると、旅行者向けの一連の革新的な道路標識が、二月からケベック州の主要道路に立てられることになった。

これらの標識は、様々な観光名所や施設を表わす絵文字がついており、方角と距離も示す。また、これらは公立の遺跡と営利的施設の両方が表示される。

(ケベック州月報)

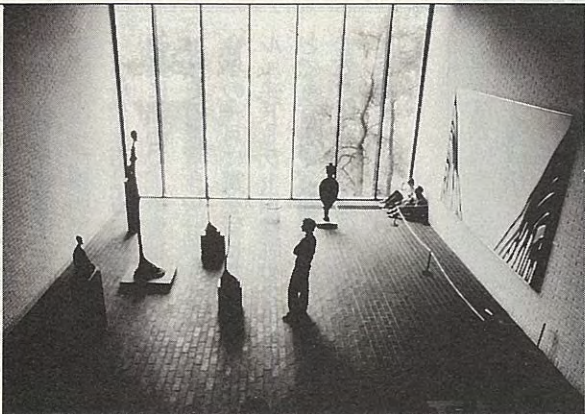
ぜひ一見。デンマークの

ルイジアナ現代美術館

デンマークには素晴らしい美術館がたくさんあるが、なかでも非常に人気の高い美術館の一つにコペンハーゲンの北三十五キロのフムベック

(Humblebeek)にあるルイジアナ(Louisiana)現代美術館が挙げられる。

昨年一九八七年の入館者数は、四十七万五千人にも及んでいる。この美術館の館内にはデンマーク内外の芸術家による二十世紀の美術(絵画・彫刻)が数多く展示してあるが、常設展示と並んで、テーマを決めた特別展示もしばしば開催される。また、この美術館はデンマークと



一見の価値があるルイジアナ現代美術館

翻訳・通訳

EC EC 英語研修所
EC EC インターナショナル

〒060 札幌市中央区南1西5 プレジデントビル3F ホテルアルファ横
TEL011-221-0279 FAX011-221-0496

スウェーデンの間のオアスン海峡(Oresund)に面する美しい公園の中に建っており、白亜の建物自体、また抽象的な彫刻があらゆるこちらに立ち並ぶ庭園自体が素晴らしい一幅の絵になっています。

館内にあるコンサート・ホールでは、演奏会がしばしば開催されており、素晴らしい美術に囲まれての演奏会は大変人気の高いものとなっている。

コペンハーゲンからは列車で約四十分。ハムレットの舞台になったといわれるクロンボーク城(Kronborg)へ行く途中だから、是非このルイジアナ現代美術館でのしばしの美術鑑賞をされることをお勧めします。

(デンマークだより)

屋根裏部屋の魅力 ホテル・アドミラル

外国の町の屋根裏部屋で眠ってみたいという憧れを持っている方も多しはず。そんな憧れをかなえてくれるのが、ホテル・アドミラル(Hotel Admiral)写真。

ノルウェー第二の都市ベルゲンに

あるこのホテルは、昨年三月にオープンしたばかりだが、建物そのものの歴史は一九〇六年六月にさかのぼる。かつては農業関係の事務局に使用されていた建物が、ホテル・アドミラルの前身。昨年改築されたが、建物の造りは昔のまま、太い柱や屋根裏部屋にその雰囲気が残っている。

各部屋のインテリアはホテルの自慢で、青と緑を中心とした配色で統一され、落ち着いた雰囲気を整えられている。冷蔵庫をはじめ、ヘアド



ライヤー、テレビなども全部の部屋に用意されている。また雨の多いベルゲンにふさわしく、各部屋のクローゼットには雨ガサの用意もされている。

屋根裏部屋はこのホテルの最上級

の部屋になっていて、淡く明るい色でまとめられている。屋根には窓があり、ベッドに横になると空が見える。

ベルゲン市は古い建築物の利用や改築に熱心で、ホテル・アドミラルはその素晴らしい例ということで、今年一月に賞を受けた。またホテル・アドミラルは眺めの美しいことでも有名で、部屋の窓から湾を隔てて古い木造の家の立ち並ぶブリッゲン地区に臨んでいる。

世界で最も楽しい チボリ遊園地

コペンハーゲンのチボリ遊園地(Tivoli)は世界で最も楽しい遊園地の一つといわれる。一八四三年の創立以来、毎年五月一日が開園日で北欧に春を呼ぶ日としてデンマーク国民が待ちわびている日だったが、今年から開園日が少し早くなることになった。一九八八年の開園日は四月二十七日。今年のコペンハーゲンは例年より早い春の訪れを迎えることになりそう。

往時の要塞跡地に造られたこの遊

園地には、樹齢数百年もの木々、百花りょう乱の花壇、絶えず変化をみせる噴水、夜は無数に輝くイルミネーションなど美しさにあふれている。遊園地だから、もち論回転木馬やジェットコースターもある。スウィングするバイキング船や昔の堀の一部が池として残っているためボート遊びも楽しめる。

本から抜け出してきたようなチボリ少年兵の鼓笛マーチと夜空に打ち上げられる花火も楽しい。

古い洗練された伝統に根ざしながら、文化性と大衆性まで幅広い内容で構成された現代的な魅力が最も出ずその雰囲気を楽しむために、世界各地から人々が訪れ、九月中旬までのシーズン中に入園者は毎年五百万人を超えている。

「チボリを見ずしてコペンハーゲンは語れない」といわれている。日中は自然の優しさが、夜はイルミネーションの幻想的な美しさが人々の心を魅了する「チボリ遊園地」に、是非おでかけ下さい。

(デンマークだより)

スウェーデンの一九八七年度の 水力発電量、史上最高

スウェーデンの電力製造者の発表によると、スウェーデンの一九八七年度の電力生産量は一四一TWh(テラワット時)10¹²Wh、北海道は約二〇TWh(二〇〇億KWh)であったが、そのおよそ七一TWhが水力発電であった。また、六四TWhが原



流量が多く、史上最高の発電量に

子力発電、六TWhが従来の火力発電によるものであった。

なお、水力発電量七TWhは、一年当たりの発電量としては過去最高値である。ちなみに、年間の平均発電量は六三TWhである。この理由は、河川の流量が二〇%多かつたことによる。そして、昨年度のスウェーデンの電力消費量は六TWh増の一三二TWhで、近隣諸国へ実質四TWhを輸出した。

(スウェーデン情報)

楽しいチボリ遊園地

すごい、ふたつ。4月29日オープン!

360度の全天周スクリーンにヤマト/オロチが蘇る。「SFXファンタジー-OROCHI」はからだ全体を絶叫させる。

身長12メートル体重40トンの巨大ロボット「ユーバロット」がお待ちしています。

体験ゾーン
プレミアムリ夢工場 ゆうばり & ゆうばりロボット大科学館
YUBARI ROBOT MUSEUM

石炭の歴史村パスポート

- 大人(中学生以上) 3,000円
- 小人(4歳以上) 2,000円

夢工場・ロボット大科学館・石炭博物館・炭鉱生活館・世界の動物館・SL館のすべてに入館できます。



歴史とロマンと冒険の地
石炭の歴史村
夕張市高松7番地 ☎(01235)2-1544
夕張市

CREO CLUB

お問い合わせは、各店のクレオクラブカウンターまで。

丸井今井・札幌 大通館6階 電話(011)205-1902(直通)
丸井今井・小樽 2階 電話(0134)25-1151 内線229
丸井今井・函館 6階 電話(0136)53-1151 内線320
丸井今井・旭川 6階 電話(0166)22-1151 内線2193・2194
丸井今井・室蘭 6階 電話(0143)43-1151 内線2612



暮らしを面白くする 暮らしがオモシロイ。

クレオクラブは、新しい視点で「人・モノ・暮らし」を見つめなおして、会員のみならずと一緒により快適な生活をつくるサークルです。ですから「まるい」や全道800余店の提携店でご優待が受けられるなど、大変オトク。メンバーズマガジン「CREO CLUB」を毎月郵送するなど、暮らしに役立つ情報もドンドン発信しています。あなたの毎日の暮らしを、一層オモシロクするクレオクラブです。

会員募集中 お申し込みは、右記の各店クレオクラブカウンター、もしくは各売場などで。どなたでも、すぐにご入会いただけます。(入会金300円、年会費1,200円)



コウモリの研究40年

一九八八年のカナダは、二つのオリンピックに彩られる。
一つは、先ごろ、史上最多の参加国を得て開催された西部バルバタ州カルガリーの第十五回冬季オリンピック大会であり、今ひとつは東部のオンタリオ州都トロント市に世界の先進国首脳を集めて六月に行われる、いわゆるサミットだ。あそこ

海外からの便り

田中勉と全世界の耳田がここに集中するところだ。

しかし、やっと根雪が消えた四月のトロントの街並は曇々と無表情で、ひっそりと冬枯れの名残りをこめたままである。都心にある石造りの州議事堂は静かな公園に取り囲まれ、夏になると官庁の昼休みに緑陰を求



在カナダ・トロント市
(日本語放送プロデューサー・アナウンサー)

田中 勉

人呼んで「コウモリ博士」



4万点に及ぶこもりコレクションのほんの一部

める人々に賑わうのだが、今はシーズンオフであって、日だまりを走り抜けるリスもエサをねだる相手がなく所在なげだ。

州議事堂に隣接してロイヤル・オンタリオ・ミュージアムがある。開設七十五年を迎える由緒ある州立博物館で、数ある自然科学関係の展示品の他に、中国古代から近世に至る美術品のコレクションが逸品をぞい

の折紙付きとあって訪れる見学者が絶えない。が、今日は古美術品の展示には一切目をくばるまいという。だすねるのはその地下室を「ねむり」とする「コウモリ博士」なのだ。
ランドルフ・ピーターソン博士、動物学者、六十七歳、「こもり学」の世界的権威である。トロント大学教授とかけもちだった博物館哺乳動物部門の最高責任者の要職から退官したのが二年前だが、その後も囑託の肩書きで依然として博物館の「主」のような存在である。

在職四十年の間に世界各地から収集したコウモリの数が実に四万点。乾燥標本、液浸標本に囲まれた博士の地下室のオフィスは学者の書齋というより「コウモリ博士」の「ねむら」と呼ぶにふさわしい。「コウモリ」の新種を求めて地球の裏表をくま



「これが南米産の吸血こもりでして……」とピーターソン博士



これは見事！
北米産哺乳動物オンパレード……

く踏破したピーターソン博士の生い立ちを振り返ってみよう。
米国テキサス州ダラス近郊の農場に生まれ育った少年時代の博士は、野原の小動物を捕えては剝製にするのが趣味だったというから、古い表現を借りれば「梅檀は双葉の芳し」といったところか。テキサス農科大学では北米の野生動物の研究に取り組んだ。カナダのオンタリオ博物館との縁も、一九四六年に当時絶滅に瀕していた北米のムース（大鹿）についてのリサーチを同博物館から依頼されて以来のことである。

書獣？益獣？

さてコウモリとの出会いはカリブ海の島々を旅行した四十年の昔に遡る。熱帯、亜熱帯地方には無数のコウモリが生息するが、その生態についての科学的な研究は当時やっとなにといったばかりで未知の部分が多々。この「コウモリ」な哺乳類はたちまち若く「学究の興味をひきつけてしまった」。どこかへ空を飛ぶ哺乳動物というのはコウモリだけ。他にリスの仲間や「ササビ」と呼ばれる動物も空中を

飛翔するようにいわれるが、実はフライターのような滑空飛行の過渡期、翼で飛びコウモリのマネは出来ない。この特異なタレントと夜行性というライフスタイルが相まって、古来、何か不気味な、あるいは不吉な動物として扱われてきたのはまことに不当である、というのが博士の主張。
現在知られているコウモリの種類は八百以上もあり、その生息地分布は熱帯地方が中心だが、北米大陸では五十種、日本でも十二種がこれまでに発見されている。サイズとなるとインドに生息する最大のものは翼を拡げると二メートルにも及び、逆に最小のアフリカ産のものはわずか三センチにも足りないという。
その食生によつて次の三種に大別される。

(1)バナナをはじめとする果物を食し、また花の蜜から栄養を摂るもの——従つてミツバチ同様、花の受粉を助ける役割を果たしている。

(2)昆虫を主食とするもの——こどもでも穀物を荒らす害虫の駆除に役立つ。また河川・湖沼の水面近くに飛来して魚やカエルを捕食する名人芸を見せるものもこの仲間に入る。

(3)鋭い歯で家畜の皮膚を切りきき、流れ出る血液をなめるもの——これは明らかに滅点

「音波探知器」で獲物を捕獲

右の二つで昆虫や小動物を食するコウモリは獲物の捕獲に独特の方法を用いる。ノドから鋭い鳴き声を発するのだが、これは人間の耳では聴きとれない高周波の音波で、探し求める獲物に当たつてはねかえってへるのを感じとり、その距離を瞬間に測定して見事な早わざで確実に捕えるという。
ところで北米に生息するコウモリ



由緒ある歴史を誇るロイヤル・オンタリオ博物館

が厳しい冬をどう過ごすのか気になる。だが、これは冬眠するグループと暖かい南国に「避暑」に旅立つグループに分かれる。米国中部からははるばる飛来する渡り鳥ならぬ「渡りコウモリ」がメキシコあたりで発見されることがあるという。実に数千キロの旅路である。

新種を探し求め、野生の猛獣にいくわす危険を承知の上で熱帯のジャングルの洞穴にわけ入るスリルを話すピーターソン博士の眼が少年のよう輝く。その昔、テキサスの農場で野つきぎを追った少年の眼だ。

北国カナダのこもりが冬眠から目覚める春がもうすぐ来ていて。コウモリ博士がねむらから腰を上げる季節も近い。



樹氷の街を 聖火が走る

カナダで初の冬季オリンピックのカルガリー大会は大成功のうちに終わりました。日本でもカルガリー・



州旗(左)を手に聖火を迎えるサスカトゥーン市民

海外からの 便り

オリンピックの様子が連日、テレビで放映され、カナダにいる私たちがより詳しいこともあるようで、日本の友人からの便りで逆に教えられることもありました。



熱狂的な歓迎に寒さも吹きとぶ



在カナダ・サスカトゥーン市

主婦 高谷 尚子

五輪とカーリングの興奮

オリンピック聖火が、カナダの東端のマチ、ハリファックスに上陸し、

昨年の十一月十七日から開会式の二月十三日まで、八十八日間かけてカナダ大陸を横断し、走行距離一万八千キロ、延べ六千五百二十人の手によって運ばれた様子は、まさか、日本のテレビに逐次放映されたわけではないでしょうね!!

当地サスカトゥーン市を聖火が通過したのは一月十八日、六十三日目のことでした。その日は気温が二三度C、樹氷の美しい日でした。大人も子供も防寒着に身を固め、職場や学校をぬけ出して、ハイウエーの際に立ちました。州旗を掲げる子供たち、学校名入りの布製の歓迎ポスターを持つ子供たちなど、思い思いの様子で歓声をあげていました。七歳の我が娘は、割りバシに自作の聖火の絵

をはりつけて、ちぎれんばかりに振っておりました。

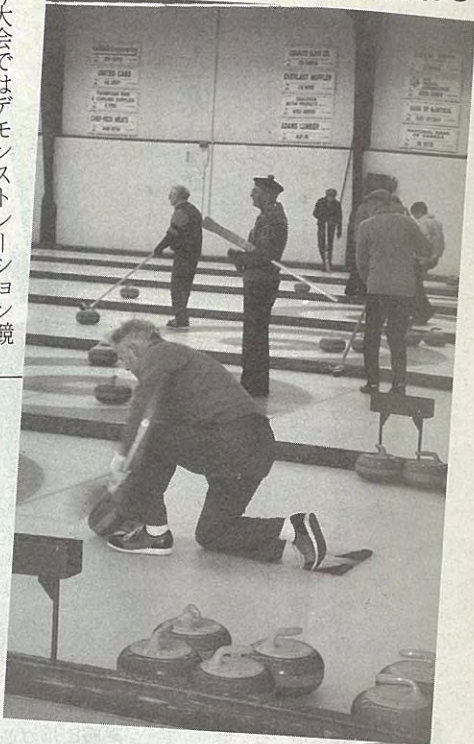
「一生に一度のことですもの、少し位寒くとも我慢する価値は十分にあるのよ!!」

と、小さな子供たちを励ましている幼稚園の先生の姿が印象的でした。いつもは無情に吹き荒れる風も、その日はかりはなりをひそめてまさに聖火日和。沿道に集まった人々の白い息と歓声は、抜けるような青空に吸い込まれてゆきました。

カーリング世界 大会に燃える

さて、オリンピックといえば、次回のオリンピックから「カーリング」が競技種目に加えられることになり、

オリンピックの正式種目決定で、カーリング 熱も一段と高まる



今大会ではデモンストレーション競技として人気を集め、カナダは女子が金メダル、男子が銅メダルを獲得して喜びにわいています。世界チャンピオンを生んだサスカトゥーン市のカーリング選手たちは、今まで以上に、競技や練習に熱を入れています。次回のオリンピックに備えることもありますが、来年三月には、世界大会がサスカトゥーン市で開催されるからです。

カーリングは元々スコットランドが生んだスポーツで、スコットランドからの移民も多いカナダでは、スコットランドやノルウェー同様、カーリングの盛んな国。アイスホッケーと違い、老若男女、六歳から九十歳位まで楽しめる息の長いスポーツで、しかも、ゴルフに勝るとも劣らぬ貴族的スポーツと、カーリングフ

アンは力説しています。

ジュニア用は一九時(約八・六キロ)大人用は四〇時(約一八・二キロ)のみかげ石で出来たストーンで競技するので、ボウリングより力が必要としますが、氷の上を滑らせるので九十歳の老人でも苦にならないのだそうです。ホウキがブラシで氷上を掃いて行く様子は、見ているだけでも楽しいものです。

少年少女、青年、中年はもとより、五十歳以上はシニア、六十五歳以上はマスターと、カーリング場は朝八時三十分から夜の十二時まで、一試合二時間十五分のスケジュールでフル回転です。マスターグループに八十四、八十五、八十六歳の男性三名が活躍しており、真にマスター(巨匠)という感じです。



ライト市長を訪れて歓談する桜庭名寄市長(中央)

市長の司会に 新鮮な驚き

そんな折、昨年の北海道カーリング選手権チーム「スカイロード」を擁する名寄市の、桜庭康喜市長がサスカトゥーン市を公式訪問されました。アルバータ州エドモントン市で開催された『北方都市会議』に出席された後、足を延ばされたのです。

日本との交流、特に北海道との交流では、その度に協力を惜しまない当市のクリフ・ライト市長が、今回もまた、桜庭・名寄市長を晩さん会

に招き、居並ぶ三百余名の出席者に「日本の若い市長ミスター・サクラバ。僕も負けない位若い市長ですが……」と、自己紹介し、爆笑を買っていました。惜しむかな、ライト市長は今年十月をもって退任、不出馬を宣言したのです。退任される前に、サスカトゥーン市に住む日本人として、日本との交流に尽力された功勞に対して、心からねぎらいをしてさしあげたいと思っているところです。

ライト市長は、私たちがサスカトゥーン市に居を定めた十四年前からの市長さんで、数え切れない程、市長主催の晩さん会にも招かれましたが、いつも市長が司会者であることに新鮮な驚きを感じています。バイキング形式のディナーが多いのですが、コックさんやウエーター、ウエートルスの人たちの労をねぎらい、招いたバンドに手拍子や歌をそえて会を盛り上げ、

「君たちなくして、今夜の成功はなかった」

と、必ず絶賛するのです。人柄と風習がマッチした好例といえるのではないのでしょうか。日本の市長さんにもまねしていただけだと思っ



海外からの 便り



高層ビルが並ぶミネアポリスの都心部

アメリカ・セントグランド州立大学留学生
宮城 涼

大企業と農業の「双子都市」

人口は約四百二十万です。

アメリカでも屈指の寒い州・ミネソタに移ろうと思ったのは、将来、北海道と関係ある仕事に就きたいという秘かな希望を持ったからで、そのためにという大げさになるけれど、アメリカでの雪と寒さとそこに暮らす人々の生活を实地に体験しようと思っただけです。
ミネソタでの暮らしもほぼ半年。今日は私の見聞きしたことをお知らせしたいと思います。

世界的規模の 企業がずらり

地図を見ていただくとおわかりのようにミネソタ州は、北米大陸のほぼ中央、カナダと国境を接した州です。その面積は北海道の約二・八倍、

雪と寒さを 体験したくて

「海外に出て何か身につけたい」という思いにかられて札幌を離れた

スの平均気温は約二二度C。札幌のそれは約四・五度Cですから、それよりも一ケタ低い寒さです。ミネソタでは約一〇度Cになることはしばしば、日中でも約一〇度C以下の日も珍しくありません。

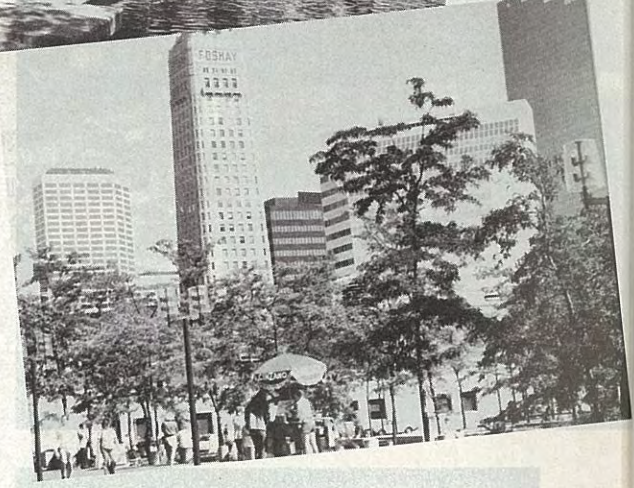
そうした気候にもかかわらず、多くの全米的企業、いくつかの世界的規模の企業がミネアポリスを中心に活動しています。北海道にもよく知られている企業名を挙げると、「ノースウエスト航空」、各種化学製品を製造している「3M」、世界一の穀物取引商社「カーギル」等々。その他にもコンピュータ産業、食品産業、エレクトロニクス関連産業が全米、そして世界をその市場として活躍しています。

ミネソタ州のさらに興味深い点は、そうした各種の産業が非常に発達している一方で、州経済に占める農業の地位が相変わらず高いことです。州の就業人口の三〇〜四〇％は農業が農業関連産業に従事しているといわれ、農産物の主な物は酪農および酪農製品、コーン、大豆、小麦、ビール、ひまわり等々。特にビートの生産は全米一となっています。文化面でも「ツイン・シティー」はアメリカ中北部地域（北・南ダコ



ビル街にも緑と水が豊かに

タ、アイオワ、ネブラスカ、ミネソタの各州）の中心でもあります。音楽を例に挙げると、二つの交響楽団を初め、ロックスターの「プリンス」まで多彩な活動が展開されています。プロスポーツも大変盛んで、昨年、大リーグのワールドシリーズで優勝した「ミネソタ・ツインズ」(優勝時、ミネソタは州始まって以来といえる大騒ぎでした) は言うに及ばず、フットボール、アイスホッケーなど主要なプロスポーツのフランチャイズとなっています。



ス・ハイクタイヤは 州法で禁止

ミネソタの冬、その生活を北海道と比べると非常に面白い点に気づきました。道路交通事情に多少ふれてみましょう。

スパイクタイヤの装着は州の法律で禁止されています。以前は許されていたのですが、車粉問題が深刻化し禁止となったのです。そのため主要な道路には融雪剤と砂が散布されて凍結を防いでいます。その結果、

ミネソタ州の大変興味深い点は、非常に寒冷に位置しながら、産業、文化が非常に発達していることです。冬の寒さは大変厳しく、例えば年間一番寒い一月のミネアポリ

スノータイヤを必要としない状況となって、ほとんどの車は夏冬兼用のラジアルタイヤ。秋と春のタイヤはき替えの手間がいらないうわです。「冬道にはスパイクタイヤ」と信じ込んでいた私も、最初は半信半疑で不安でしたが、主要道もわき道も兼用タイヤで問題はありません。主要な道路は融雪剤等のおかげで舗装面の出ている状態ですし、北海道と同じような圧雪、あるいは一部凍結というような道路事情のわき道も、ゆつくり走れば兼用タイヤでもスリッパすることなく運転できます。とは言え、道路の完全凍結と新雪には弱く、降雪とラッシュアワーが重なるとかなりの事故は発生するようです。北海道に比べて少ない降雪量、よく整備された道路事情、坂の少ない非常に平坦な地形など、スパイクタイヤが不要であることについては様々な要因が考えられますが、車粉がなく、しかもスパイクタイヤで舗装道路を走った時のあの騒音がないということは、確かに運転していて快適です。

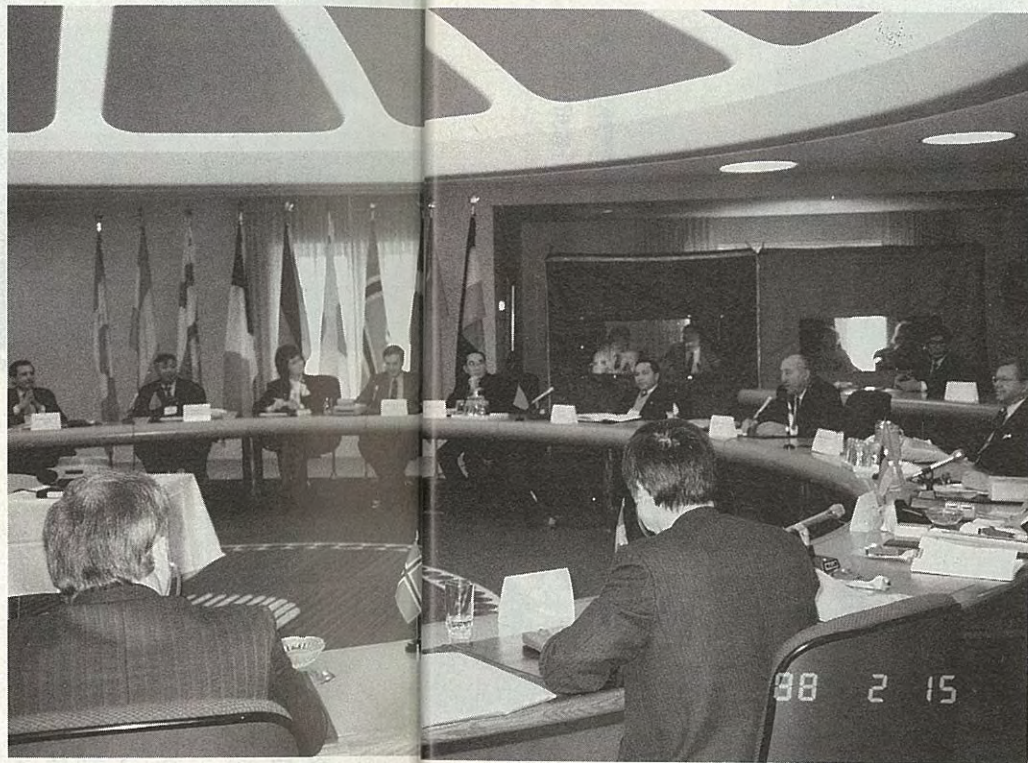
このようなミネソタ州は北海道にとって大変興味深い州であるに違いないと思います。

ウインター・シティーズ カナダ・アルバータ州・エドモントン市で シヨークェース'88

「冬のビジネス」をテーマにした冬に関する一大
国際イベント「シヨークェース'88」が、カナダ・アル
バータ州の州都エドモントン市で、二月十五日から
五日間の日程で開催された。

冬の「都市おもしろ」に

北方圏のチエを結集



北方都市会議 (写真提供：札幌市)
エドモントン・ガバメントハウスにて

■北方圏センター調査研究部主任

栗橋 孝芳

はじめに



世界中には六億人以上の人々が住む冬の国がある。それらの国は文化や生活様式に違いがあるように、人々がこれらの地域に住み着くようになった理由も様々である。しかし、そこに住む人々が同じ制約を受けているという点では共通している。すなわち毎年「冬」という、どうしても立ち向かわなければならない問題を抱えていることである。

未来への発展の可能性を持った地域社会を築くためには、強力な経済基盤の確立が必要である。世界中には冬の都市にとって「The Business of Winter」(冬の事業活動)はますますその重要性が増大しつつある分野であろう。

冬の都市ではその気候条件の故に、南の環境の中では必要とされないような冬の都市独特の産業が発達する。冬という気候・環境を十分に利用するために我々は知恵や経験と共に分かち合い、意見を交換し、冬の問題について検討していかねばならない。

「冬の事業活動」を中心テーマに



厳しい冬を抱える世界の都市の代表が集まり、快適な冬の都市環境づくりと発展のために情報・意見を交換する冬の都市の集い「ウインター・シティーズ・シヨークェース'88」が二月十五日から五日間、カナダ・アルバータ州の州都エドモントン市で開催された。

「シヨークェース'88」は北方都市会議の第三回会議に併せて「第二回冬の都市フォーラム」(第一回冬の国際見本市)が同時開催され、冬に関する一大国際イベントとなった。「冬という悪条件を克服し、一歩進めて積極的に活用しよう」という

板垣札幌市長の提唱は、冬の都市の市長が集まって共通の都市問題に対する取り組み方を共に話し合うための国際会議の創設に結びついた。第一回北方都市会議は六カ国・九都市が参加して一九八二年に札幌で開催された。第二回は中国の瀋陽が開催地となった。今回エドモントン市で開催された第三回会議には十二カ国・十七都市が参加、オブザーバーとして参加した名寄市長などを加えると二十都市を超える参加があった。

会議は「冬の事業活動」を中心テーマに開催され「冬の都市の経済開発」、「健全な冬の都市環境」などが討議された。また、フォーラム'88の基調講演において、デコア・エドモントン市長、板垣札幌市長が研究や調査の結果に言及した概要発表を行い、

シヨークェース'88のイベントへのつながりが強められた。

しかし、今回の北方都市会議は、「参加各市長の率直な話し合いの場」を理由に非公開の会議となった。主催したエドモントン市は「参加者が率直で活発な議論を交わし……」と会議の様子を伝えていたが、広く一般に公開し議論の輪を広げてこそ、そこに工夫とアイデアが生まれるものではないだろうか。北方都市会議委員会事務局が置かれることになった札幌市に、今後の会議の在り方を十分に検討してもらいたいと思う。

コンベンションとハイテク都市へ



自然に囲まれた広々とした大地の中に置かれたガラスとスチールの箱の美しさは、まさに幻想的でさえあった。特に銀行などの建物は一時のオイル景気を象徴するかのよう金色に輝いている。凍てつく日には金色がよく映える。冬の都市には理想的な色であった。

エドモントン市は、一九〇五年ア

ルバータ州が発足した際に、州都に選定された。州のほぼ中央に位置し、カルガリー市とともにカナダでも最も成長著しい都市の一つである。十九世紀の初頭、毛皮取引業者の拠点として、インディアンとの襲撃に備えて発足したエドモントンがその前身で、その後ラコンブ神父等の布教拠点として、また十九世紀末のゴールドラッシュ時代には北へ向かう金探鉱の人々の中継地として発達してきた。鉄道の敷設とともに農・畜産物の集散地として、さらに一九四七年に石油が発見されるに至って飛躍的な発展を遂げた。

しかし、州経済全体が豊富な天然資源に支えられ今日に至っているため、鉱業、特に原油及び農業への依存が極めて高く、工業化への進展、経済の多様化について遅れをとったことは否めない。特に八三年の石油価格暴落は官民一体となって長期的視野に立った経済の安定成長への取り組みを急がせた。

豊富な天然ガスを原料とする石油化学工業、ハイテク産業等、資源の付加価値を高め、これにより雇用機会の拡大を図るなどの活性化が積極的に行われている。

エドモントン市が今回の北方都市

室が設けられ、国際的コンベンション都市を目指すエドモントンを代表する施設の一つである。

冬の経済的な可能性を見極める

コンベンションセンターを会場にして、十五カ国、四十五都市から各国の行政当局者、学会、民間企業代表等約千人が参加し、第二回冬の都市フォーラムが開催された。フォーラムの基調講演で板垣札幌市長は、「二十一世紀の冬の都市」と題し、地下鉄や除雪、テクノパークなど札幌市の都市構想について講演を行った。翌日からの分科会は、「リーダーシップ」、「衣料」、「レクリエーション」、「都市基盤・建築」、「交通」の五つのテーマに分かれ、北海道からは魚住昌也札幌市建設局長、神戸隆一北海道供給公社社長のほか、古野靖郎富士重工販売企画部長が除雪問題、地域暖房、冬に強い自動車などのテーマで発表した。

過去数年間にわたって、北極圏周辺地域の学者は情報の交換・会議を行ってきたが、そのほとんどは北極地方に関するものであった。



フォーラムで基調講演を行う板垣札幌市長

北海道及び日本の各社から出展された「冬の工夫」の数々

まるでガラスの城のようなアルバータ州政府庁舎

ウィンターフォーラムの発案者アーニー・フラートン氏のエドモントン・ダウンタウン開発計画パネル

会議を母体に、国際的な冬の総合イベント「シヨークース'88」としたことも、経済の複合化・活性化への狙いを見ることが出来る。

シヨークース期間中に、アルバータ州政府経済開発貿易省で開かれた。国際見本市に出展した札幌の関係者を招いて行った懇談会に出席する機会を得た。その席でも同省幹部はアルバータ州への投資の有利性と経済の複合化への取り組みを強調した。

エドモントン市郊外のミルウッドにあるアルバータ州立研究所には、各国から研究者が招かれ各種の研究開発を行っている。また研究所に隣接して建設中のハイテク工業団地への企業誘致が積極的に進められている。

エドモントン市の目指すもう一つの道がコンベンション都市である。

エドモントン・コンベンションセンターは市内を流れる美しい川の谷間に、河川敷の斜面を利用して建てられた他に例をみない施設であった。一九八三年に建設されたもので、そのガラスで覆われた屋根は、市の中心街を走るジャスパー・アベニューからノース・サスカチュワン川の川岸に流れ落ちるように見える。四万四千平方メートルの室内には展示場・会議

北国に住む人々が、北方圏地域特有の課題や冬に対する挑戦について話し合うために集まったのは、一九七四年に札幌で開催された第一回北方圏環境会議が初めての試みであり、その会議でのスローガン「光は北方から」がその後の「冬の都市運動」と呼ばれる運動の先駆的な首唱となった。

カナダにおける「住みよい冬の都市協力(WWCA)」は、全国的な規模で厳しい冬の季節が生み出す問題に対してより高い意識を築き、都市やその他の地域においても冬の都市をより住みよくするための解決法や政策の策定を行っている非営利的組織であり、冬の都市フォーラムの母体となっている。

住みよい冬の都市を目指して開催された第一回冬の都市フォーラム'86は、一九七〇年代に北海道で成された首唱を引き継ぎ、意見、情報などの交換を引き続き発展させていこうとするものであり、今回のフォーラム'88は冬の経済的な可能性を見きわめようとするものであった。いずれにせよその目指すところは「北方圏諸地域の発展・相互交流」である。

KIRIN 21世紀へ乾杯

DRY DRY.

新発酵度、採用。
キリツとしまつて、飲みロドライ。
これがキリンドライ。

本指添ドライ。キリンドライ。
KIRIN DRY

大びん・中びん・500ml缶・350ml缶 / 標準的小売価格は普通のビールと同じです。未成年者の飲酒は法律で禁じられています。キリンビール株式会社

ホクレン

おいしいお米をどうぞ。

全国の米どころから銘柄米だけを、おいしくブレンドした、パールライス。
つやの良さと炊きあがり違います。いま、多くのみなさまから
ご好評をいただいている、パールライスのスーパーゴールデン、そしてキタヒカリ。
きょうも、ふつら、あつたかなおいしいさをどうぞ。

ふつらつやつや ホクレンの米
パールライス

●コシヒカリ ●ササニシキ ●スーパーゴールデン ●ゴールデン
●王将 ●金将 ●銀将 ●キタヒカリ ●ママ印 ●胚芽精米

北海道60万人ゴルファーに大好評!

COMMUNITY PAPER FOR GOLFERS

TEE-UP

月刊

北海道

ビギナー・女性
ゴルファー待望



「ティーアップ友の会」会員募集中!!

■ティーアップと読者をつなぐ「ティーアップ友の会」。会員には、毎月本誌をお送りするほか素敵なデザインの会員証をお届けします。北海道内のゴルフ場、練習場等のティーアップ協賛企業を利用する際には割引等の特典が受けられるほか、数々の楽しい出来事がアナタを待っています。

「ティーアップ友の会」への入会を予約します。
 (氏名) 佐藤花子(女・22歳)
 (自宅住所) 〒060 札幌市中央区南1条東1丁目日生アパート201号室
 (勤務先名) 株式会社オーガン
 (ゴルフ歴) 2年
 (ハンディ) 25(プライベートでも可)

- 入会金(年会費込み)/1年間6,000円
- 入会予約/官製ハガキに左記の要領にて、お申し込み下さい。折り返し「入会申し込み書」・入会金の「振り込み用紙」等をお送りいたします。

友の会協賛企業募集中!!

*詳しくは、お電話で。

●すべてお問い合わせは、TEL.011-232-3770(ティーアップ友の会事務局まで)

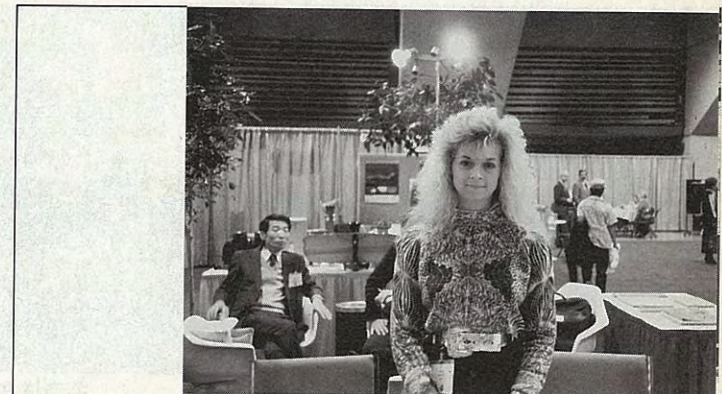
自然条件に左右 されない都市環境

しかし、同じウィンター・シティを有するカナダにおいては、国全体が寒冷地であるために、積雪・寒冷のもたらす冬期都市課題を行政施策として主張するといった観点や、都市のアイデンティティとして「冬」を意識的に取り上げるといったような観点があまりなかったということである。しかし、それは冬に対する問題意識を持っていないということではなく、エドモントン市などにおいては、その施策のほとんどが冬期の歩行者の安全性、快適な歩行者空間の確保、歩行者ネットワークの形成というような歩行者対策や環境を重視したものであった。また、そのための施設として、ウエスト・エドモントン・モール、マッケンジー・ヘルスサイエンスセンター、エドモントンセンターなど全天候型施設のアトリウムやカバードストリートの設置が活発に進められている。まさに自然条件に左右されない快適な都市環境が創出されている。

一方、北海道においては、南北に

連なる日本の中の北海道という地理的、政治的な問題が北海道独自のアイデアや施策の実施に制約を加えてきた。また歴史的に見るならば、北海道の経済力の貧困が中央に対する依拠心を助長し、そういう背景の故に積雪寒冷という自然条件に対しても、温暖で雪のない地域と同じ手段を取らざるを得なかったことが、カナダに見られるような快適な都市施設の創出を阻んできた。

先人が冬期に家屋を温めた発想を、



札幌・北海道コーナーを担当したボランティアのお嬢さん

私たちは都市空間にあてはめて考えなければならぬのではなからうか。フォーラムと同じコンベンションセンターで開催された第一回冬の国際見本市はカナダ、ノルウェーなど六カ国が出展したにとどまらず、道内からは五番館・西武百貨店(防寒衣料) 北海技研工業(室内水耕栽培セット)、玉井産業(床暖房システム)、エスシーアール(自動レタリングシステム)、北海道ガス(ロードヒーティングシステム)、道外からは三菱重工業(ヒートポンプ・ボイラーシステム)、富士重工(四輪駆動車)、三浦工業(ボイラー)の三社が出展した。また、北海道・札幌コーナーにはリアモーターカーなどの紹介パネルやパンフレットが置かれ人気を呼んでいた。

五千二百平方メートルの展示場内には、防寒衣料、毛皮製品、雪上車等に並んで、各都市の観光宣伝コーナーなどが配置され、「The Business of Winter」の構想は、冬をテーマにした世界で初めての見本市である「冬の国際見本市'88」において十分に示されていた。

光は北方から、
一九九〇年にはノルウェー・トロムセ市から光が射す。

道銀MMC

市場金利連動型預金

安全、確実、高利回り。

市場金利に連動する高利回り商品です。

1,000万円以上の効率運用に最適。

お預け入れ金額は1,000万円以上です。

便利な自動継続。

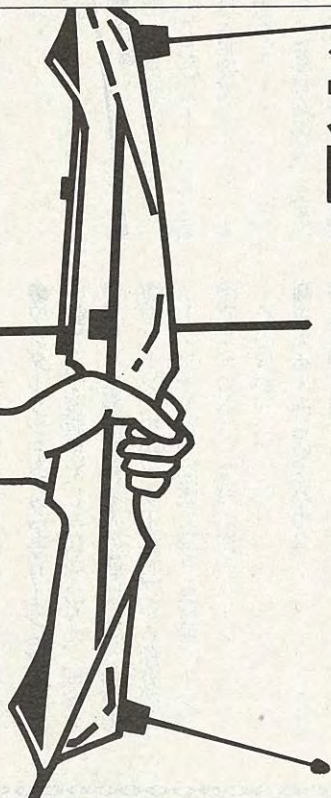
満期時に継続のお手続きのテマが「か」からず大変便利です。

*くわしくは、お近くの道銀まで、お気軽にどうぞ。

お気軽にひと声 道銀へ
 北海道銀行

集中力!

これからは集中力が
力となります。



おたる心発見

小樽の歴史と浪漫を
昔懐かしいボンネットバスで
巡ってみませんか?

小樽ロマン号



小樽ターミナル
(0134)25-3333

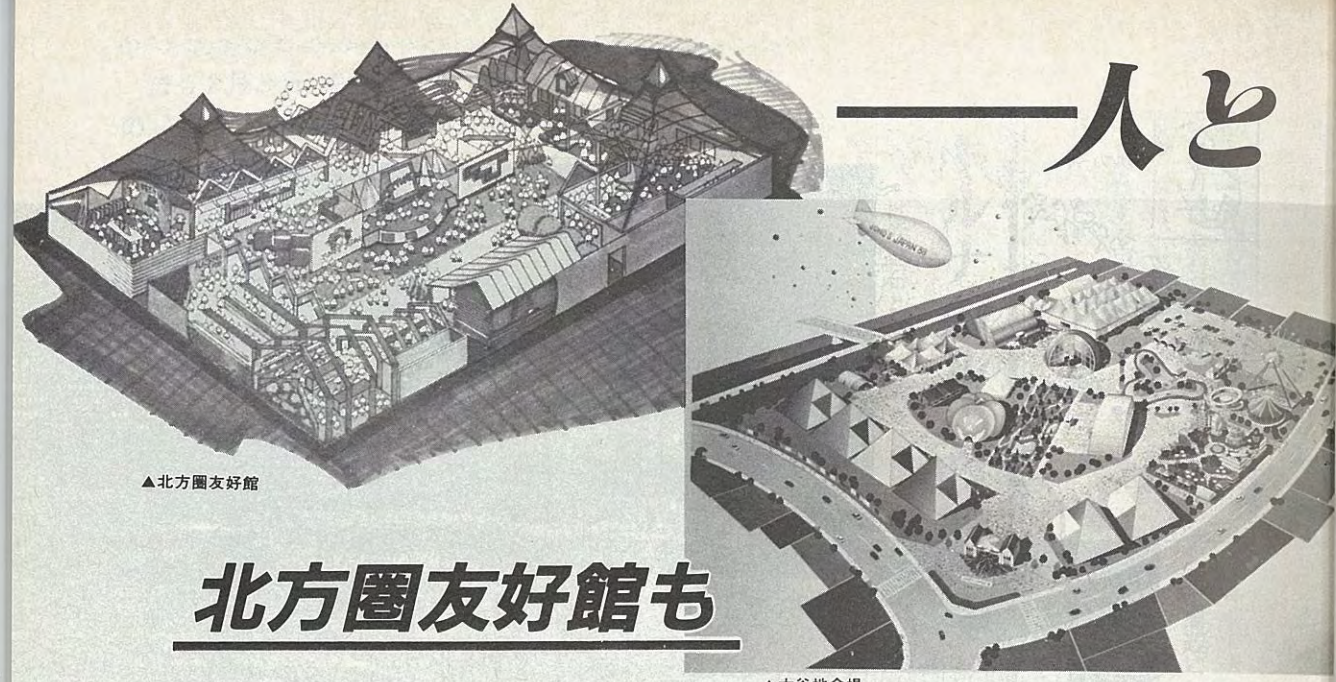
中央バス

「世界・食の祭典」開幕近づいて

6月3日

自然をつなぐ

一人と



▲北方圏友好館

▲大谷地会場

北方圏友好館も

生命・喜び

〈楽しみ広場〉月寒会場

「食べることはいいことだ」をテーマの〈楽しみ広場〉は、札幌・月寒グリーンドームを中心とした月寒会場。

北海道、日本の食に焦点をあて、食を通して生命を考え、喜びを分かちあう広場。次のようなパビリオンがある。

●古町ライブ 食を通して、明治から昭和の時間をさかのぼる。懐しく、楽しく、おいしい空間。

●食生活文化館 米食を中心とした日本の食生活にスポットを当てる。「耶馬台国卑弥呼の饗宴」など日本史を代表する食事を紹介する興味深いゾーン構成。

●大地の博物詩(アルカディア) 北海道の農畜産物を味わえるガーデンレストラン。

●ワールド・ミート(ミート館) 牛肉、羊肉、豚肉、鳥肉、そして加工品。その食べ方や歴史を展示し、暮らしと肉の関わりを考える。

ワンダーランド・アクアマリン(シーフード館)

海・資源を楽しみながら考え、理解するパビリオン。訪れる人の憩いの場、希望の海のゾーン。母船マザーシップから探査船マリンシャトルで海底に降りる冒険ゾーン。海底基地のある、学びの海のゾーン。そのほか、

●みえる・みらい・ハウス

●未来宇宙館

●ジュノス・ステージ・レストラン

●夢市場(バザール館)

●アイヌ民族生活文化館

●アミューズメントパーク

●アイマックスシアター

など、楽しみは盛りだくさん。

情報・案内

〈交流の広場〉大通会場

「ここがひとつになることだ」をテーマの〈交流の広場〉は、札幌市の中心大通会場。

月寒、大谷地のテーマ会場や全道各地の会場、既存店舗とを結びインフォメーション・センター機能を果たし、国際的なイベントと

してこの祭典を効果的に盛り上げるのが、大通公園会場。

ここには

●ジュノス・センター

●カフェ・ド・ジュノス

●ジュノス・ボックス

が設けられる。

平和・交流

〈世界の広場〉大谷地会場

「地球が平和になることだ」をテーマの〈世界の広場〉は札幌・大谷地アクセスサッポロ周辺の大谷地会場。

ここでは、「世界の食」を中心に、北海道・日本・地球をみつめていく意義深い会場。スケールの大きな地球サイズの提案が次々と展開され、全国各地から来道の人たちの温かなふれあいも楽しみな広場。次のようなパビリオンがある。

●国際活動館(国連館) 食糧問題や人口問題など多くの難問を抱えている地球を考えるパビリオン。国連の「食」と「人間」に関する諸機構が展示を予定している。

●開発協力館 われわれ人類が、より身近なところから、国際的な相互協力や開発について考えるスペース。

●世界地域別パビリオン 気候や風土、そして「食」を取りまく文化も、いろいろな表情がある。そんな世界の「お国ぶり」を一堂に

集めたパビリオン。

●北方圏友好館 北海道ならではのオリジナルの国際交流である北方圏交流の様子を見ることができなのが北方圏友好館。

国際的な視野の中での、北海道の重要なボジショニングを認識させてくれるとともに、楽しさも十分味わえる。出展は、北海道と姉妹交流のキズナも深いカナダ・アルバータ州

中国・黒竜江省の両州・省をはじめ、デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、ソ連邦、アメリカなど

北方圏の各国、各地域の物産、文化、観光などの出品展示とともに、代表的な料理が味わえるレストランも設けられる。また、セールス・プロモーションも行われる。

●恐竜館 人類以前の地球の歴史、恐竜の時代を再現する。大恐竜ランド、水にすむ恐竜たち、恐竜はなぜ絶滅したかコーナーなど。

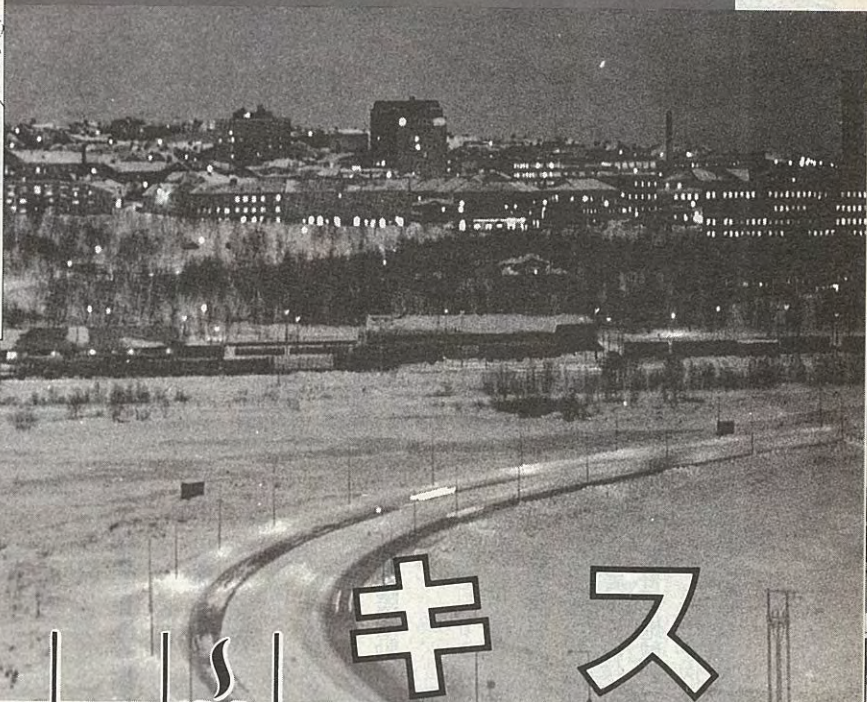
●アミューズメントパーク フライングカーペット、ドラゴンコースター、アストロライナーなど、子供のための遊園地。

●アメリカ映画村 日本で人気のアメリカ映画のセットを再現。

などなど…。世界の広場は、楽しいふれあいの広場になること受けあいといったところ。

なお、「世界・食の祭典」期間中には、月寒会場へは地下鉄東西線「南郷13丁目」駅から、大谷地会場へは、同「大谷地」駅からそれぞれシャトルバスが運行される。

12月8日から1月4日までは太陽は昇らない



スウェーデン キルナの再生

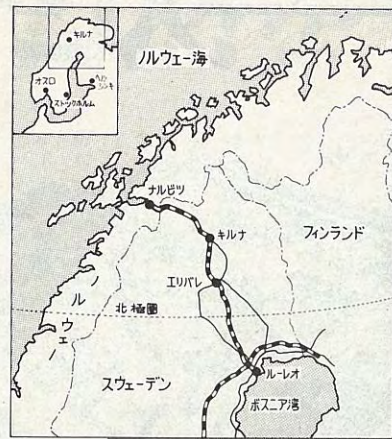
鉱山都市から宇宙、コンピューター、観光都市への変容

フィンランド、ノルウェー、スウェーデンの北極圏の北側に位置する地域を総称してノルドカロットという。この地方には約百万人の人々が住み、水力、森林、鉱山、魚などの天然資源の豊富な地方でもある。

スウェーデン北部最大の町キルナは、面積二万平方キロメートルでノルドカロット地方の中心にある。人口は二万六六〇〇人、うち約一万二三〇〇人は町の中心部に居住しており、

周辺部の人口は極めて少ない。キルナは北極圏から北側一四〇キロに位置し、北緯六八度、海拔五〇〇メートルにある。五月二十九日から七月十四日まで白夜で真夜中に太陽が観察でき、冬の十二月八日から一月四日までは、太陽は地平線の上に昇ることはない。

言語はスウェーデン語、フィンランド語、ラップランド語の三言語である。ラップ人たちは自らをサーミ



(Samei)と呼び、スカンジナビア北部に何千年にもわたって住んでいる。もともとは、トナカイを飼育し、集団で移動する民族である。キルナに住む八〇〇人のラップ人のうち、多

くは今もトナカイを飼育している。キルナ周辺には約六万頭の野生のトナカイが生息しており、夏は山奥深く、冬は低地や森林で生息している。

列車でやって来た人々が目にしたのはピートと板切れでできた多くのみすぼらしい小屋であり、掘っ立て小屋の町とでもいえそうであった。にもかかわらず、鉱山での高収入に引き寄せられて、この「開拓の町」にやって来る人はあとを絶たず、荒野のただ中に町が誕生していった。

当初、居住は容易ではなく、冬場は三〇度のうち、露天掘りをすることもあった。五〇〇〇人もの人々を要し、当時世界で最北の鉄道を建設したが、その苦勞は想像を絶したものであった。一九〇二年にキルナからナルビクまでの鉄道が開通したことにより、ラップランドからの鉄鉱石が一年中氷の張らないナルビクの港へ運ばれることになったのである。

今日、鉄鉱石は地下で採掘され、作業もほとんど機械化されている。そして鉄石のほとんどは精練され、鉄道で山を越えてナルビクの近代的な港へ運ばれ、そこからヨーロッパ、中東、極東・日本などへ輸出されている。

キルナのルーツ

キルナは鉄鉱石とともに栄えた町である。そしてその歴史は一八九〇年にさかのぼる。当時、東海岸から

去る2月5日、来たるべき21世紀に向けて、中空知地区の「まちづくり」についての方向を探るべく『キルナ市に学ぶ』と題する国際シンポジウムが開催された。(主催：中空知市町村振興協議会、北方圏センター、北方圏経済交流協会など6団体)

本稿は、北海道と同様に鉱山都市からハイテク産業都市へと産業構造の転換を図っているスウェーデン・キルナ市から招かれた同市のラース・エスニング市長による基調講演をまとめたものである。

70年代から80年初頭にかけての危機

LKABは国有鉱山企業で、キルナの主要産業であった。数十年間にわたってスウェーデン最北の産業はキルナを中心に行われ、キルナのありとあらゆる活動の成功はLKABに依存していたといっても過言ではない。

第二次世界大戦後、鉄鉱石の生産は七〇年代半ばまで休むことを知ら

ずに増え続けた。一九七五年には二、四〇〇トンという記録を達成した。会社は膨大な利益を上げており、西側諸国の鉄産業界の危機を警告する最初の微候さえも、二、三年おきに起こっていた市場の落ち込みによるものであるとして、見過ごされた。

その後、鉄鉱石の需要は減少し続けたが、再び増加傾向になることを

品質重視品
クオリティコープ

価格重視品
エコノミーコープ

くらしをまもる

4つのコープ

生活協同組合市民生協

健康重視品
ヘルシーコープ

地域特産品
北海道コープ

信じ、LKABは政府の援助を受けながら何百万トンの鉱石を生産、貯蔵したのである。しかし注文は減少を続け、一九八三年には六〇〇万トにまで落ち込んだため、会社の損失は何億クローネにも達し、危機は現実のものとなった。

LKABは、直ちに労働者の約六〇％に相当する約三〇〇〇人を削減したが、その多くは八〇年に入ってから以来の余剰人員であった。このため地域社会は決定的な打撃を受け、以下のような問題が発生した。

▽住民の多くが他の地域に移住し、その多くは年齢も若く、子供を抱えた家族であった。かつては三万一〇〇〇人あった人口も七〇年代半ばにはその一五％が減少した。▽失業率は七〇年代半ばから八〇年代初めにかけて三倍に跳ね上がり、一〇％を記録した。▽住民の年齢構成も以前はバランスがとれていたが、老年層が増加し、

政府の介入

一九八二年に入り、LKABを取り巻く状況は悪化の一途をたどり、これら県内の問題を解決するべく、

若年層は減少した。▽若者の失業は全国平均の三倍から四倍となり、高等教育を終えたにもかかわらず、教育に見合った職を得ることはできなかつた。

▽重工業を主要産業とする地域の特徴として、女性の就業の困難性が挙げられるが、キルナの女性人口は男性と比べて一〇〇〇人少なく、これは教育のある女性が職を求めて南部へ移住を余儀なくされた結果であった。

このような人口移動の結果、五〇〇戸の公営住宅は空き家のままで、年間一〇〇〇万クローネの家賃収入の損失を被った。児童、生徒数も減少し、教師や教育施設はだぶつく一方であった。また、市の行政は人口三万五千五〇〇〇人に見合った規模であったために縮小せざるを得なかつた。さらに、人口の減少は税収入の不足をもたらした。

政府は四五億クローネを予算措置し、その約半分を二つの最もダメージの大きい鉱山都市、キルナとエリバル

に充て、主に商業、工業、雇用創出に集中的に投資を行った。交付金には、LKABの財源の立て直しやLKABを後にした人たちに對して、その帰郷を促すための費用も含まれていた。

キルナプロジェクト始動

(1) 目的

こうした中で、鉱業をめぐる危機を打開するため、一九八〇年キルナ市とLKABが合同で、▽キルナに新しい雇用の場を設ける。▽キルナの工業、商業を多様化させる。▽現存する企業の力を増大させる。▽キルナに企業を誘致する。という目的で、キルナプロジェクトを開始した。そしてプロジェクトには次のような目標が掲げられた。

①他のいかなる団体よりも迅速に

この開発プロジェクトには、総額三億九〇〇万クローネのうち、実に二億六二〇〇万クローネが投入された。十人ほどの重役は地方レベルの問題に即座に決断を下す権利が与えられた。このような交付金や、自由裁量の権利は、スウェーデンの労働市場対策上、例を見ないものであった。

かつ官僚主義を排して行動する。②製造業を確立すべく、その具体的計画に焦点を当てる。③企業家を教育、訓練する。④新製品、新技術を開発する。⑤マーケティング活動の援助を行う。⑥産業・事務所用土地を整備する。⑦市、地域、中央政府との関係を密接にする。⑧産業界に對し好ましい環境作りをする。⑨行政機関や金融業界と連絡をとり、新たに小規模の産業を興す。⑩教育機関と産業界の関係を密接にする。⑪「ビジネスセンター」を設立、機能させる。

(2) 固有の産業を興すための訓練

一九八三年からキルナプロジェクトが力を入れているのは、いわゆる「固有の産業を興す」ための企業家育成訓練である。キルナ市の各家庭に配られたパンフレットには市民が無料で、しかも通常勤務時間内に勤務扱いとして受講できる訓練内容が紹介されている。これは市における産業の多様化に對する人材育成のキャンペーンの一環であった。訓練は二・五時間にわたり、コンピュータを駆使している。五〇〇名近くの受講者のうち四〇名ほどが

その後会社を設立し、他の約三〇名は訓練開始時にすでに会社を設立していた。

受講者たちは積極的に新しいアイデアを出したが、慎重に検討を重ねた結果、経済的実現性の薄いことがわかり、ほとんどのアイデアは消えた。しかし、このトレーニングコースでは次のような目的が達成された。①企業家とは何かを認識する。②新しい会社の設立を促進する。③十分な経営理念による会社の設立を避ける。④中小企業の設立に際し、すでに大型の公営企業が確立している分野へも参入し易い環境をつくる。

(3) ビジネスセンター

一九八二年にスウェーデン国内及びアメリカ、イギリスで、類似した危機的状況下の地域の研究が行われた。そしてその経験をもとに、ビジネスセンターが設立された。場所は操業中止となった鉱山地区で、LKABが無償提供した古い作業場や倉庫が一新され、発足したての中小企業へ安い家賃で貸し出された。それらの企業はまた、鉱山の事務所跡につくられた管理センターの施設も低コストで使用することができた。

ビジネスセンターは急速に発展し、新規の中小企業からはいわゆる「温室」として人気を博した。プロジェクトの終了後は、目標を①新規及び既存の中小企業の経営、マーケティング、財政、製造など必要となる点について援助を行う、②経営、管理サービスを行う（電話、コピー、テレックス、ワープロ、郵送設備など）、③安い賃貸料の事務所の提供、④企業家のトレーニングセンターを設けるなどの目標をもって、市がビジネスセンターの運営を行っている。

(4) その他の活動

キルナプロジェクトは様々な活動



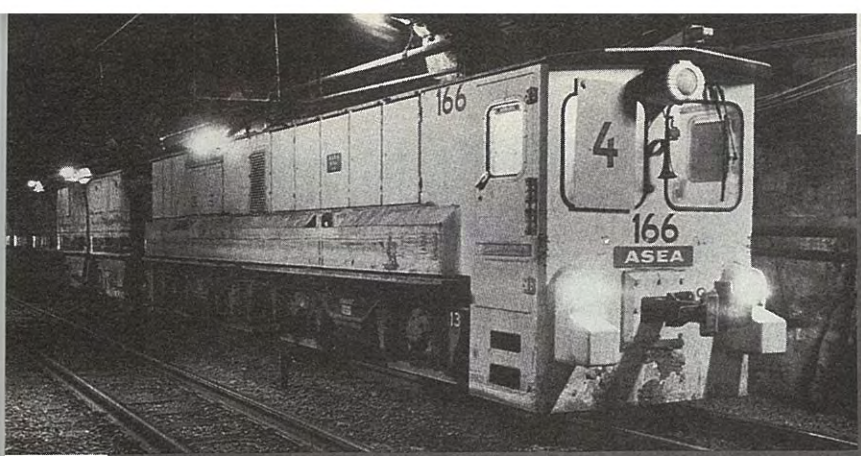
キルナ市庁舎

ふれ愛のパートナー



東急コミュニティー

北海道支店 〒064 札幌市中央区南4条西5丁目1番札幌東急プラザ3階
電話 (011) 512-0515 (代表)
本社 〒150 東京都渋谷区道玄坂1丁目21番2号新南平台東急ビル2階
電話 (03) 461-0115 (代表)



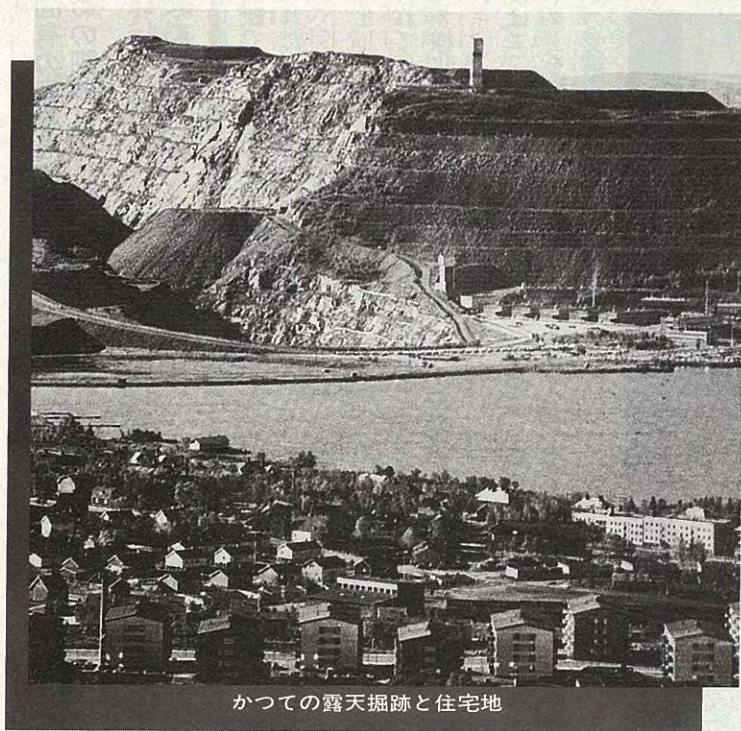
鉄鉱石を満載して走る坑内電車

を計画し、資金の援助を実行している。いくつかの例を挙げると次のようなものがある。

▽中小企業のビジネスマンによる国内外の見本市、会議への参加。
▽国際シンポジウム「ビジョン84」はキルナを宇宙コンピュータ、その他ハイテクの中心地とすべく行われたものであった。七〇〇人が参加したが、中にはこの分野の

第一人者とも呼ばれる人々の参加もあった。一九八六年には再び、「ビジョン86」が開催された。

▽小冊子、フィルム、ビデオなどの頒布によるキルナの宣伝。
▽企業家対象の、経済、マーケティング、販売に関する再研修。
▽国家技術開発委員会（STU）と協力し、「アイデア・ハント」のシステムを確立する。これは一般か



かつての露天掘跡と住宅地

辺倒の体質から脱却するために多大な努力をしなければならなかった。

(2) 十分な人口

キルナが高い失業率を有する点や人口の減少、つまり高度な教育を受けた人々や女性が職を求めて南部に移動していった点は、先に触れたとおりである。従って肝心なのは、産

業構造のための基盤が脅かされる程人口を減少させてはならないということである。

(3) 教育の機会

今世紀初頭、LKABは全国でおそらく初めての職業訓練校を設立した。その目的は熟練労働者を鉱業に送り込むことである。キルナでは若者に高度な職業訓練を行うことが常となっていたのである。

鉱業が危機に直面しようとも、新分野での能力向上につながる教育や、他の対策についても多額の投資を続けることは大切なことである。

(4) 円滑な交通網

円滑な交通網が産業の発展にとって先ず重要な要素となる。キルナを取り巻く交通網は比較的発達していた。今世紀初頭から鉄道が通り、道路網は、特にナルビクに通ずる道路が開通して以来、よく整備されている。空の交通もストックホルムとルレオへ毎日直行便がある。

観光に力を入れている現在、交通網の充実はその重要性をさらに増してきている。

(5) 研究開発施設の充実

らアイデアを募ることをめざしている。
▽キルナへの企業、機関の誘致。

機関と資金

キルナプロジェクトの執行委員会は、地方レベルからの代表(市当局、LKAB、鉄鉱業界代表団、中小企業と組合)と地域レベルからの代表(県当局、県の労働委員会、開発基金、ルレオ大学)の双方から成っている。

通常プロジェクトリーダー三人と事務員三人、計六人からなっている。プロジェクト遂行の資金は、市、LKAB、そして後に加わった産業

地域開発成功の前提条件

キルナの産業を急速に、かつ鮮やかに再生するには、どのような条件が必要であろうか。その疑問に答えるため、世界中で最も開発に成功した地域を調査し、キルナが開発地域として成功を収めるための必要条件を設定した。

(1) 多様な産業基盤

産業の発展のおかげで、キルナは今世紀初頭より産業基盤が確立した。産業を興し育てるという伝統を有することは、急速な地域再生に大変有利な条件である。しかし、その産業が柔軟性を欠いていたため、産業一

▽企業設立、雇用拡大を目的とする数百に上るアイデアの収集とその有効処理。

庁による基金でまかなわれている。支出は家賃、人件費を含めて一〇〇万〜二八〇万クローネである。一九八〇年から八六年までの間に自由に運用できる資金は総額で一二〇〇万クローネであった。活動費の多くは出資機関によって設立された基金によって支えられることが多く、その大部分は鉄鉱業界代表団と産業庁である。

キルナには宇宙専門研究家を一〇〇人ほど雇用している三つの機関がある。国土調査機関が地図作成・開発部をここに置いている。また自然科学や水山の研究施設も整っている。今世紀初頭から、LKABは世界中の産業技術者が集まるいわばメッカのようになっており、この地で技術開発を学んだのである。現在、さらに進んだ研究と開発がLKABにおいて行われている。

(6) 産業の優位性を保つための迅速な意志決定

迅速性はいかなる分野にあっても求められる要素の一つだが、急速に発展するハイテク分野では最も重要とされている。迅速な意志決定とハイリスクな投資の受け入れが必要となる。それ故に官僚的体質を改め、競争力の強化・改善と外部とのネットワークを拡充しなければならない。

(以下、キルナを中心とするノルドカロットの開発の現状、産・官・学プロジェクトの推進については次号に掲載します。(出版部)

内陸部に展開される臨空型生産拠点。 苫東柏原工業地区

お問い合わせは
ナショナルプロジェクトを推進する第三セクター

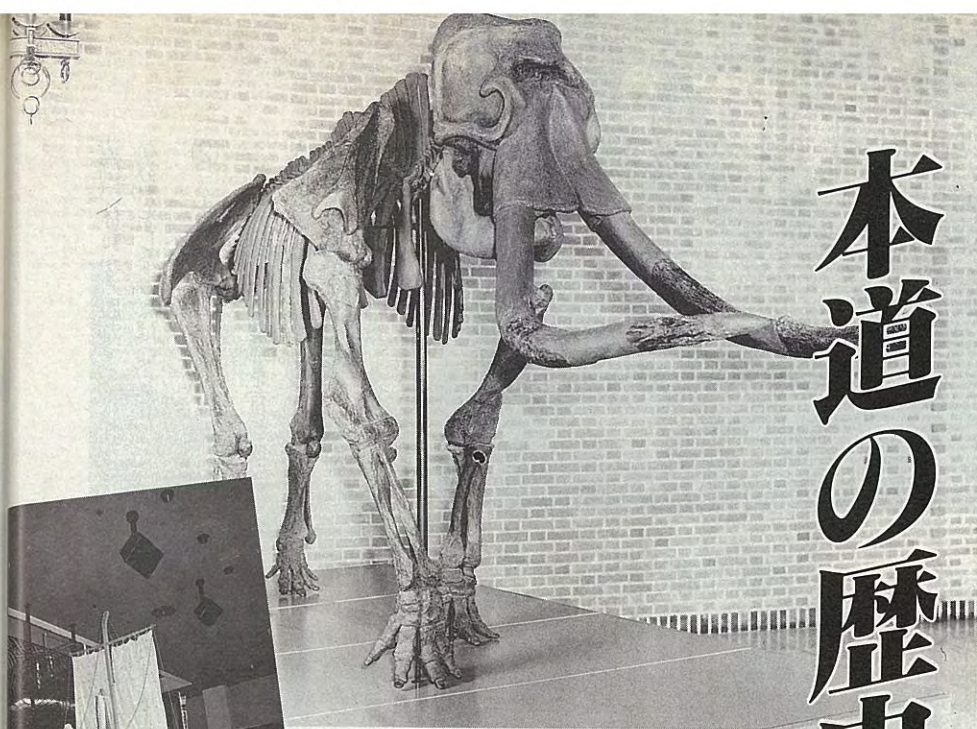


本店 札幌市中央区北2条西4丁目2番地(三井ビル別館7階) 電話(011)281-6636(代)
本部 東京都千代田区霞が関3丁目7番1号(大東ビル8階) 電話(03)580-8581(代)
苫小牧事業本部 苫小牧市柏原211番地の1 電話(0144)55-1131

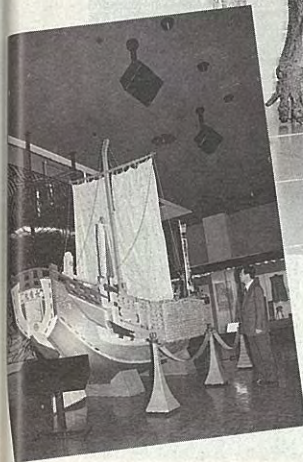
北海道開拓記念館

本道の歴史を未来に伝える

先人たちの過去の生活を知ること、とりも直さず、今の私たちが知ることでもある。北海道開拓記念館(渡邊佐太郎館長)には私たちの祖先が残した「生活」が所狭しと息づいている。ともすれば時代の変化とともに押し流され、失なわれがちな生活の歴史。一度とだえると、その復元には、はかり知れない困難がともなう。先人たちが何を着て、何を食べて、何を喜びとし、何を悲しみとしたのか。生活の息づきか聞こえてくるような歴史の再現。そしてその保存。見事な展示の背後には、それを支えるおびただしい数の地道な調査・研究が隠されている。



北海道に生息していたナウマン象の骨格模型



北海道と本州の交易の主役 北前船

開かれた博物館を理念に

北海道の歴史は「冬」を抜きにしては考えられない。冬の寒さに対応して培われた文化は日本の中にあつて独特の位置を持つ。

北海道開拓記念館は北海道百年を記念して、こうした独自の文化を解明し未来に残すことを目的に設立された、歴史博物館である。

保存資料の社会教育・学校教育への積極的活用はもとより、研究者へのデータの公開、調査・研究成果の発表、資料の他館への貸し出し、特

別展示や移動展示、さらに講習会や講演会などを通しての技術の体験・伝承など、常に「公開」を原則として事業を進めてきている。

常設展示は七つのテーマに

一口に北海道の歴史資料といっても多岐にわたる。古文書やソロバンがあつたり背負いもつがあつたり、アイヌの鹿笛があつたかと思うと、ハツカ蒸溜に使用された分火器や同館の発掘調査でニツ岩遺跡(網走市)から出土した甕(カメ)があるなど、実にさまざまだ。

同館ではこうした資料を総集・記録・地史・生物・考古・民族・生活

・産業・文書・美術からなる十の分野に分類。全分野共通の資料台帳に受入・登録し、すべて写真にとり、諸情報を記載した資料記録表を作り、収蔵番号順にカード室に収める。資料は滅菌処理されて一般収蔵庫や恒温恒湿収蔵庫などに収められる。展示に関しては一貫したストーリー性を持った七つのテーマによる常設展示が中心。●テーマ1 北の夜明け(地質学的な北海道、人類のあゆみ)●テーマ2 先住の人びと(アイヌの生活と文化、アイヌ周辺の民族)●テーマ3 新天地を求めて(松前藩と蝦夷地の生活)●テーマ4 開けゆく大地(北海道の誕生、入植と開墾、植民地選定と交通路の確保)

●テーマ5 産業のあゆみ(漁業、新しい農業の試み、畜産の移り変わり、林業、軽工業の発達、鉾山の開発)●テーマ6 北のくらし(寒冷地の風俗、食生活、灯火と暖房の移



熊送り前夜の準備情景を含めて復元されたアイヌのチセ(家)



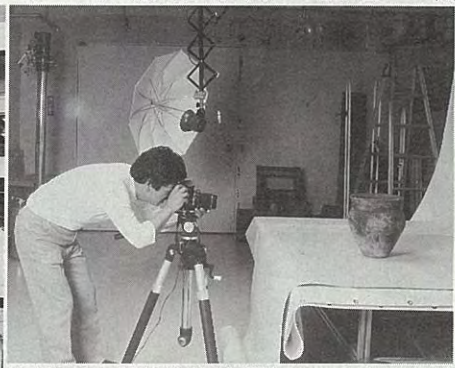
大正時代の中流家庭の居間の復元

札幌駅からJRバスで四十分。地下鉄新札幌駅からはJRバスで約十分。トドマツ、カツラ、ヤチダモなど数十種類の針広混交林が豊かに繁る道立公園・野幌森林公園内。なかなか丘を登ると赤レンガ造りの堂々たる同館が見えてくる。地上三階、地下二階のこの建物は、いかにも北海道らしい、二千砂という広大な自然公園の中に、緑の樹々と調

和してどっしりと建っている。世界の博物館の歴史は十九世紀後半から、単なる資料の保存・展示にとどまらず、歴史教育の場として、また近年では知的なレクリエーションの場としての性格が強くなってきている。同館は設立当初より、時代とともに生きる博物館を目指し「開かれた博物館」をその理念としてきた。

り変わり、教育、町の発達、娯楽とスポーツ) ●テーマ7 新しい北海道(自然と人間の調和を自覚して—映像と音響中心)—こうしたディスプレイのほかにも、それぞれの調査、研究に基づいた特別展やテーマ展なども随時開催される。

また地学・考古・生物・民族・生活・産業・文書・保存技術の八部門に分けた、より専門的な資料が見ることが出来る収蔵陳列室や「触れる・作る・考える」を基本テーマとして実際にわらじや石うすなど生活用具を取り調べたり、わらじ作りを作ったりできる体験学習室も設けられており、さまざまな角度から本道の歴史に親しめるよう工夫されている。



資料写真の撮影も重要な業務

しかし、こうした事業は、口では易く、行方は難しなもの。現在、分類され収蔵されている資料だけでも十二万件を超え、今後ますます増えて行くと思える。こう書くと、資料が豊富だと思われがちだが、例えば身近なところでわずか七十年しかない本道のストロップの歴史

日常生活に多いナゾ

ひとつとってみても分からないことが多い。マキストロップや石炭ストロップの全盛期に使用されたあのデレキ。それがなぜデレキと呼ばれるようになったのか?これが分からないのである。

大きな事件と違って、あまりにも日常的なことで、逆に資料が残っていないという。

「大正年間にドイツからユンケルストロップというものが輸入されて、ずいぶん日本に大きな影響を与えたのですが、この時のチラシが残っていますね。日本語で「ヤリ」と訳している。まあデレキの前身みたい

世界で一番燃えるストロップ

こうした一見、ささやかな研究から、実りある認識が生まれることもまれではない。ストロップの歴史をさかのぼることです。近代に入るまで日本には暖房という概念がなかったという事に気がつく。手足の一部を温めるといふ発想はあっても、

部屋全体を暖めるといふ概念はつい最近までなかったのだ。当初こうした本州の文化を持ち込んだ本道の暖房の歴史も、やはり変則的であった。ストロップが最も発達したのは北海道である。真つ赤になるほど効率いいものに造り変えてしまいました。ま



資料がぎっしりの収蔵庫

あ世界で一番燃えるストロップを造ったんではないでしょうか。なぜか?それはストロップという「物」だけを輸入して、暖房という観念を輸入しなかったからだといふ矢島さんはいふ。もともとヨーロッパのストロップは家全体の暖房という考え方の、一つにしかすぎなかった。このかんじんのバックグラウンド文化を輸入しなかったのだ。北方圏交流が叫ばれる今

日の本道にとっても、このエピソードは含むところが大きい。文化の相互理解、輸出入全般に共通する、古

くて新しい問題の構造が露呈しているといえるだろう。

着実に進む調査・研究

同館では資料収集・展示、のほか、さらに各種講演会や講座を開催するなど、教育普及事業や、また五十八

年にオープンした開拓の村の整備事業も行っているが、調査研究も欠かせない大きな事業のひとつだ。

北海道 開拓記念館



開拓記念館全景

北海道百年事業の一つとして、昭和46年に設立。本道の歴史資料の収集、調査、研究、常設展示などを通じ、先人の遺産を後世に伝えることを目的とした歴史博物館である。

構造は鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造りで、地上3階、地下2階、1階にはグランドホール、記念ホール、館長室、管理部門諸室と常設展示室。2階には特別展示室、常設展示室、中2階は食堂、厨房が配してある。また地下1階には映写機能を備えた300人収容の講堂や体験学習室などのほか資料撮影室、文献資料室、収蔵陳列室、研究関係の諸室、地下2階には収蔵庫(一部恒温恒湿室)および資料搬入搬出のための作業用諸室が配されている。

業務は資料収集、資料管理、調査研究、展示から、さらに教育普及、出版、情報サービス、開拓の村整備その他と多岐にわたっている。

55年に組織改正が行われ、現在は館長一副館長のもとに事業部(企画課、普及課、展示課)、学芸部(資料管理課、調査収集課)、開拓の村整備室(計画課、施設課)が置かれ、合わせて野幌森林公園事務所所長も副館長が兼務している。職員は非常勤を含めて61人。研究職員は31人となっている。部一課のタテ割り組織でありながら、実際は総集、記録、地史、生物、考古、民族、生活、産業、文書、美術の各専門分野での横のつながりが必要とされ、また展示テーマや研究対象によりそのつどプロジェクトチームが組まれるなど、たいへんフレキシブルな体制となっている。

所在地は 札幌市白石区厚別町小野幌。

実際に歴史文化を伝えていく(道民を対象に土器焼きの実習)



調査研究は次の三本の柱からなっている。①収集保管し展示する資料の専門的な調査②資料の保管及び展示の技術に関する研究③資料をより総合化するための特別研究——これらの成果は各種発行物、展示、教育諸活動に生かされ、館活動の大きな原動力となっている。

特に③の研究では特定の研究課題や特定地域を選定しての職員による共同調査が重要視され、これまでも「明治初期における炭鉱の開発」、「アイヌ民族の信仰に関する研究」、「野幌丘陵とその周辺の自然と歴史



ダルマストーブがついた大正時代の国鉄3等車の復元。乗客の服装も忠実に再現されている

に関する調査、「北海道の伝統的生産技術に関する調査研究」、「離島社会の歴史と文化」などの重要な調査研究が報告されている。さらに六十年

海外との相互交流を積極的に

てくる。

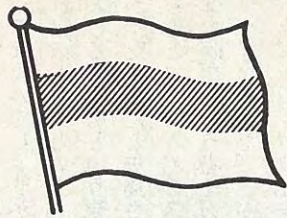
「私たちの祖先は思っている以上に遠いところと交流があったかもしれませんが、でもその辺の判定は難しいですね。似た環境では似た文化が発展するともいえます。どちらにしても、道外の研究機関との連携は、思いがけない角度から、いままで分からなかった面に光を当ててくれることがあります。」

互いの文化を知ること、自分たちの文化の見えなかった部分が見え

からは五カ年計画で「積丹半島の自然と歴史」がテーマとして調査研究が行われた。

「数年前からテーマ展や海外交流展でカナダやアメリカの博物館をとりあげているのですが、将来的にはもっと深く、またソ連の研究施設などとも連携がとれるといいですね」と同館事業部長の笹波登さんは将来を語る。

同館の真価を今以上に評価するのは、あるいは百年二百年後の私たちの子孫であるかもしれない。



板谷商船株式会社

取締役社長 板谷 宮吉

内 色 市 樽 小
号 3 番 5 丁目 1
代表 電話
0134(34)1118番

北の花

ギョウジャニンニク

行者のスタミナ源に



(社)北海道国土緑化推進委員会発行
『北海道の森林植物図鑑・草花編』より

道産子にはアイヌネギの名の方が親しみやすい。北海道では春一番の山菜。ファンにはその強烈、特有のにおいも一向に苦にならないようだ。

この強いにおいは硫黄化合物のアリシンの働きによるもの。四十種以上の物質の混合体とされる。これに食欲をそそられる者、反対に敬遠を示す者など反応はさまざま。中にはミソをつけ生かじりする者もあるようだが、放牧中のウシが食べたりすると牛乳まで臭くなり、出荷出来なくなるという。

が、最近では山菜ブームに加え、肉食や朝鮮漬の普及などで一般家庭でもニンニク（ガーリック

ク)の利用が増え、こうしたにおいにも慣れたことや、スタミナ山菜の呼び声とともにアイヌネギの人気は高まるばかり。札幌二条市場には融雪早々姿を見せるし、市内には専門料理店もあり、この店は本格的な栽培畑を持ち、余分をバック詰めで全国に出荷し、注文に応じ切れな

いという。名寄市にはせめてネギ程度のおいにと努力している農家もあるようだ。

ユリ科ヒル属の多年草でニンニク、タマネギとは兄弟分。根茎は網目状の繊維に包まれ、大きな柔かい葉一三枚をつける。背丈十五センチくらいまでが食べごろ。六月半ばまばらなネギ坊主

に白い花をつけ、径二ミほどの黒く固いタネを作る。

ギョウジャニンニクは「行者忍辱」、「行者胡」と書く。別に「行者蒜」の名もある。蒜はヒルト読み、生でかむとひりひりすることから来た語とされるが、かつては強いにおいを持つこの仲間(野蒜、小蒜、独与蒜、烏蒜)全体を指したらしい。胡は漢語でニンニクという。

一方、行者は深山幽谷にこもり、仏道や修験道に努める人のこと、荒行の際スタミナ維持に食べたのでこの名があるとされる。このため彼らの修業の場の二荒(男体山では二荒(日光)蒜、比叡山では天台蒜、叡山蒜、

禅定蒜とも呼ばれたりする。生でかじると急に胸がぼてり、いかにも馬力がついたような気になる。しかし、禅宗では「葷酒不許入山門」と強においの持ち主と吞兵衛を締め出している。その半面、大和本草では「天台蒜」行者蒜と云、不臭して仏氏可食故に名づく」と記している。大言海によると和語「ニンニク」の語源は仏教で食することを禁じたため隠れ忍んで食べたための隠語だとしている。それだけに難行、苦行を続ける修行者にはうまさ、スタミナ源の面から隠れても食べなければならぬ山菜だった証拠ともいえる。

さらにキトビルの名を持つている。アイヌ語でもキトという。前者は中部以北日本海側から東北地方の名前。行者「祈禱者」がよく食べたので祈禱者の蒜が祈禱者蒜、祈禱蒜に変わったとされる。一説ではこれがアイヌ語に入り、キトになった。と。しかし、実際はその逆でなかったか。かつて淨定(新潟)以北は蝦夷の地、これら地域の山岳地へ進出した修験関係者が先住者のアイヌにならって食べているうちに彼ら本来の語のキトに祈禱が結びついたものと思われる。

また、アイヌ語ではアクサの名もあり、彼らは和人以上に利用。詳しくはさておき、まさに民族的食料で、ハルイツケウの一つともされてきた。植物食料の背景、といった意味、従って、その自生地は生活上重要な場所、現在もアクサ、キトの付く地名が各地に残されている。強いにおいの植物は多くの民族にとって薬であり、魔除けのタネだった。アイヌは風邪から結核、腎臓、助腺などに重用、現代医学でも血液中のコレステロールを下げる効果があり、肉類多食の彼らに胆石症が少なく、のはこのためでないかとされる。においに関しても強力な殺菌力を持つことが認められている。悪疫流行の時は門守りにし、枕に入れ、山狸に持参、身の安全と豊穡を願った。

アイヌネギは千島、樺太、東シベリア以東に分布、仲間は英国まで見られる。ネギのうちでは北方系の種といわれている。中世ドイツでは鉱山労働者が魔除けに使った。

何ぶん生長の遅い植物。庭に山採りを植えているが、種子を落とし数年経つのにまだ細い一枚葉で、物の本によると二枚葉になるのに六七年かかり、食べるには十年以上かかるという。

「北方圏語」ABC

北欧語について

～北の世界の共通語～

今回はいつもと少し趣を変えて、北方圏の言葉（特に北欧語）についてみることにしましょう。

「隣の言葉」

北方圏交流が始まって17年。北海道に住む私たちにとって、北方圏の国々、特に北欧の国々（デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン）はとても身近になりました。

地理的な距離に変わりがあるわけではないのですが、交通機関の発達はその時間的距離をわずか半日（フィンエアーの直行便で約12時間）で行ける地にしてしまいました。青函トンネルの開通で札幌から東京へ乗り換えなしで行けるようになりましたが、その「北斗星」を利用して東京へは16時間かかるのですから、東京より近いといえるでしょう（ちょっと詭弁に過ぎるでしょうか）。そして北方圏交流によって意識的距離はもっと短くなったといえるでしょう。

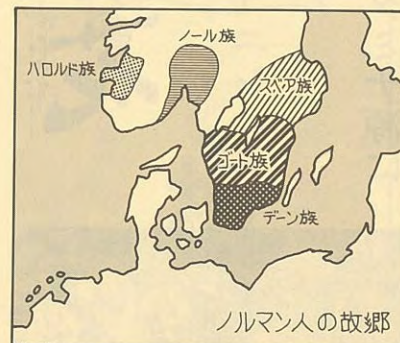
私たちにとって北欧諸国の言葉は「お隣の国の言葉」となると思うのですが、いかがでしょうか。

4カ国語は同系統

それでは北欧諸国は言語的にみるとどういう国なのでしょう。

フィンランドについては後述するとして他の4カ国は言語的にも民族的にも同じ系統で、これらの遠い祖先はいずれもスカンジナビア半島南部で、ノルウェー人は現オスロ地方、スウェーデン人は現ウプサラ地方が発祥の地とされ、デンマーク人はその南部のスコネ地方から海を渡り、現在のデンマークに移ったものです。また、アイスランドはバイキング時代ノルウェーの移住者が開いた土地です。

このため大西洋上に孤立的だったアイスランド以外は言葉の相違もそう大きくなく、ノルウェーのある方言がスウェーデン語に、スウェーデンのある方言がデンマーク語に通じたり、少し慣れれば容易に理解し合えるといわれます。国の名はそれぞれ発祥母体の部族の名が基になったものです。そしてスカンジナビアとはノルマン人の国を意味する古い言



葉とされています。

これに対し、フィンランドは前4カ国との民族的な違いがあります。人種的にはウラル・アルタイ語群フィン・ウゴル語集団に属する民族で、もともとは現在ソ連のボルガ川上流、北ドビナ地方に住んでいたのが西に移動し、西暦紀元ころ現在の地に落ち着いたとされています。しかし、長い歴史の中でスウェーデン領となり、キリスト教文化が取り入れられたこともあって、文化、政治、経済的にも北欧社会の一員となっています。

意外に広い分布

ではこのような北欧語は、どのくらいの人々に話されているのでしょうか。

国別ではその国語といえるのですから、人口でみてデンマーク語512万人、フィンランド語480万人、アイスランド語22万人、ノルウェー語411万人、スウェーデン語833万人といえますが、国境付近では2カ国語が通じます。（スカンジナビア半島の北部にはサーメ〔サーミ〕語を話す人たちもいます。）単純に人口だけで考えると北欧語は2,260万人ほどが話していることとなります。

しかし、それだけではないのです。

それは、現在アメリカ東部、北部諸州に移住した北欧系の移民の2世、3世の人たち約300万のアメリカ市民を忘れてはいけないからです。スウェーデンからの移民に限って言えば、これらの諸州の中には町の住人の3人に1人がスウェーデン系という町、スウェーデン語の新聞が発刊されている町もあるということです。

スウェーデンの片田舎の英語もロクに知らない青年が、アメリカの親戚を頼って、ある町までたどりついたものの不案内で途方にくれ、つい通りすがりの人にスウェーデン語で話したら「おお、お前はスウェーデンから来たのか」と、答が返ってきたという話もあるそうです。

北欧の言葉は、単に北欧諸国だけで話されているわけではありません。おおげさかもしれませんが、北の世界に共通する言葉でもあるような気がします。

いささか手前ミソですが最後にひとこと。北方圏センター語学研修室では、このような北欧の言葉を学習する（各国別）のための独習コースを設けています。興味のある方はぜひ一度いらして下さい。

（北方圏センター・出版部）

日本料理の楽しさを

外国婦人7名交じえ 北海道家庭料理実習会



毎年冬、外国人女性にも日本料理の楽しさを知ってもらおうと北海道国際婦人協会（阿部三恵会長）と北方圏センターが開催している北海道家庭料理実習会も六度目を数えた。今回は、スウェーデン、カナダ、アメリカ、中国、韓国出身の道内在住外国婦人七名をはじめ計二十一名が味の素クッキングブラザ（札幌市西区二十四軒）に集まり、自慢の腕を振るった。

講師は料理研究家の東海林明子さん。季節に合わせて、ひなまつりにちなんだ料理の数々を披露した。メニューは「デコレーション寿司」「三色あんかけ揚げだし豆腐」「すまし汁」「桃酒」。講師のデモンストレーションの後はいよいよ実習。各自思い思いに挑戦、「成果」を自分の舌で確かめていた。



☆ ☆ ☆
ここで、デコレーション寿司と三色あんかけ揚げだし豆腐について作り方をご説明しよう。一度、試されてみては？

婦人のページ

MENU ①

デコレーション寿司

〈材料(六人分)〉

- 米、カップ三
- 水、カップ三
- 酢、大さじ四、メルシャンワイン
- 白、塩、小さじ二、砂糖 大さじ二、三、「味の素」少々
- 白ごま 小さじ二
- 甘塩 二切れ
- 酢・レモン汁 各適量 「味の素」少々
- 卵 四個
- 塩・砂糖 各少々 「ハイミー」少々

- 「味の素コーンサラダ油」少々
- にんじん 六十%
- 塩・みりん 各少々 「ハイミー」少々
- 菜の花 1/2束
- 酢漬けしよ
- 青のり 大さじ一

〈作り方〉

- ① 米は少し固めに炊き、④を合わせ、すし飯を作り、白ごまを混ぜ込む。
- ② 鮭は、かぶる位の酢に清けてから皮を取り、薄くそぎ切りにし、

MENU ②

三色あんかけ揚げだし豆腐

〈材料(六人分)〉

- 木綿豆腐 二丁
- 片栗粉
- 「味の素サラダ油」 ● かにむき身 (または かにかまぼこ) 八十%
- 貝割れ菜 一パック ● 長ねぎ(白) 一本分
- 水 カップ一杯半 「ほんだし」 小さじ2/3 しょうゆ 大さじ四
- みるん 大さじ二
- 糸がっお 一五%

〈作り方〉

- ① 豆腐はふきんで包んで水気を取り、四角に切り、片栗粉と上新粉を合わせたものをつけ、油で揚げます。
- ② かにほぐし、貝割れ菜は根を落とす。長ねぎの白い部分だけ細く切る。
- ③ 器に揚げた豆腐をおき、三色の②をのせ、④の熱い汁をはり、糸がっおを天盛りにする。

安心できるのは、SEIBU CARD《セゾン》



新会員募集中。その場で差し上げます。

● 銀行預金通帳とお届出印、ご本人を証明するもの(免許証、健康保険証、身分証明書、学生証など)をお持ちください。

お申し込み・お問い合わせは 7階セゾンカウンター ☎011(251)0151内線390・391

さっぼろの心がここにある



五番館

☎251-0151 (木曜・定休)

YJINOMOTO.



ダイエットのほうも、好パートナーをみつけたいわね、お父さん。



パルスweet

(「パルスweet」は、おいさと低カロリーであなたのカロリーコントロールを応援します。)

昨年九月、ノルウェーからの国費研修生として来道。北方圏センター受け入れ研修生の三期（？）生。トロントヘイム大学院で建築学を専攻する学究である。

北大の環境科学研究所に籍を置き、本道の建築や住宅事情はもとより、道内各地の関係機関への見学にも意欲をみせ、生活や経済についても研究を進めたという。

「本道に各地で、温かい歓迎やもてなしを受け、皆様に心からお礼を申し上げたい。単に勉強だけでなく、素晴らしい経験を数



ノルウェー研修生
トロントヘイム大学院生
ヤン・ローボス氏
シーブ・クリステンセンさん

ぜひ再び北海道へ

多くしました。帰国してからは研修レポートの作成です。北海道で経験した成果を、少しでも両国の役に立てたい」と、口をそろえて語る。

「機会を見つけてもう一度、北海道を訪れたい」と言い残して、三月四日北海道を離れ帰国の途に着いた。

果たしてどんなレポートができあがるか、楽しみなどところである。

北方圏センターの主催による「国際理解セミナー」の講師として、奥様とご一緒に来訪。

昭和五十九年七月から昨年十二月まで、在エドモントン日本総領事として活躍されていたが、その三年余りの経験を踏まえて、演題は「最近のアルバータ事情」。

カナダ全体の民族構成、議会の様子、アルバータ州の産業構造、日本との交流の情況を熱っぽく語った。

「日本とカナダとの交流がいろいろと進められているけれど、中でも北海道とアル



元・在エドモントン
日本総領事
船越 衛氏

有意義な姉妹交流

バータ州、道内の市町村とア州の市町村による姉妹交流が、本道に生きた交流関係だと思ふ。私の在任中も、北海道から来られた方が多く、熱意を感じました。

退官しましたが、これからは私的な立場で、北海道とアルバータの友好交流の促進に努力したい」

温厚な語り口のなかに、並々ならぬ熱意を披露して下さい。

(三月二十三日来訪)

在札の一週間はまさに熱烈歓迎の嵐だった。迎えて下さった方々の顔、顔、顔。そして乾杯の声と鳴り止まぬ拍手。なかでも唐さんの笑顔は百万円(?)に値する晴れやかなものであった。

その役職が示すとおり都市計画の専門家、昨年十一月の国際シンポジウムにお招きしたものが種々の事情で来日できず、今回北方圏センターが単独でお呼びしたものである。

黒竜江省とは、今まさに実のある交流へと移行しつつあるが、この期に唐さんのよ



中国・黒竜江省立
都市科学研究所
技師長
唐 恢一氏

百万円?の笑顔

うな建築の専門家を招き、同省の住宅事情を語っていただいたのは、時宜を得た企画だったと思ふ。

札幌近郊の大規模団地やモデルハウスを視察していただいたが、同省に比べた北海道の先進性に迎合することなく、その設計思想なり住環境に対する道民の意識を見極めてよとする姿は、大陸的泰然あるいは冷静と見えた。これは一週間行動を共にしての率直な感想。

(二月一日来訪)

北海道フィンランド協会の招きで、北海道を視察のため一行四名と来道。多忙なスケジュールの中を北方圏センターを訪れた。

「近年、日本とフィンランドの結びつきが強まっているのは大変喜ばしい。双方の国で、文化的、経済的なセミナーをどんどん開いて欲しいですね」

フィンランドの基幹産業は林業であり、また酪農製品の輸出国でもある。

「フィンランドと北海道は同じような農



フィンランド農林大臣
トイヴォ・ポーホヤラ氏

農業問題解決に協力を

業問題を抱えています。将来、お互いが協力し合って、問題解決のための糸口を見つけていく必要があると思います」

農業・林業を統括する最高責任者として、交流の促進と相互の理解の一層の深まりに期待を寄せていた。

(三月十一日来訪)

六月十五日の在札デンマーク通商事務所開設に合わせ同二十、二十一日の両日に北方圏センターのフロアを借り切って行われる「デンマーク・セミナー」の打ち合わせのため来訪。

「デンマークと北海道は、従来酪農での交流がありました。今度のセミナーでは本格的な商取引にまで発展させたい」と、意欲を見せる。

セミナーと同時開催する展示会では、文



デンマーク大使館商務官
カールステン・ニールセン氏

友好だけでなく商取引も

化的な意味合いの強いものになる予定で、レゴブロックをはじめ、酪農など産業分野についても行うことになっている。

「ワークショップのグループ分けなど細かい点はまだ詰めていないが、実りのある、今後の経済交流の礎となるものにした」と張り切る。

打ち合わせの合い間に会場となる国際会議場を見学、「これは素晴らしい。訪れる人たちも喜ぶでしょう」とご満悦。

(三月十八日来訪)

「今回、私が札幌に来た理由は三つ。一つはケベックから来ている方を訪ねること。次は札幌の雪まつり見学、そして北方圏センターを訪ねることです」

「雪まつり? 大きな雪像、たくさんの人たち、とても素晴らしいと思いました。ケベックにもウィンターカーニバルがあるんです。雪の宮殿や「カルナヴァル」という赤い帽子のスノーマンがカーニバルを盛り上げます」



カナダ
ケベック州政府在日事務所
文化・教育・科学担当官
マドレーヌ・グラデュさん

センターの活動に関心

と、雪まつりの印象とケベックの紹介。「いつも北方圏センターから送られてくる資料などを拝見して、その活動にとっても興味がありました。私の担当は文化・教育といった分野です。北方圏センターのプログラムに、学校交流や文化交流があるのですが、ケベックも加えていただけませんか。そのために私も力を尽したい」

流ちような日本語の中に力がこもった。

(二月五日来訪)

《水曜日》が
読まない人との
待ち遠しい。
差は大きいツ!!



お金の上手な増やし方・賢い使い方

マネー&ライフ

●2ページワイド版、毎週水曜日の朝お届けしています。

暮らしに役立つお金の上手な増し方、使い方を紹介する紙面です。商品については、消費者の購入意欲を適確にとらえ、いかに安く、有利に、そして今何が売れているかなマの情報を、これまで紙面に不足していたとの発想にたって取材しています。

お金の増し方についても3人の大手証券マンに登場いただき、運用を競い合い、読者の資産運用を考える上で貴重なヒントを提供していただいております。また新発売の金融商品、各種主要金利表、宝くじ情報、話題の株式銘柄、また税金問題など具体的にわかりやすく提供、いま大好評です。

〈主な連載物〉

- 秋葉原から ●マネー運用ゲーム ●株・ZOOM IN ●HOW TO 財テク
- 情報スペシャル ●税金アラカルト ●そこが知りたい ●トーク・トーク
- 耳よりコーナー ●フォトナウ ●フロンティア ●セール・アイ ●海外情報
- ゴルフ会員券ウォッチング ●カースティション ●わたしのホビー 他

毎日新聞

毎日新聞北海道支社
札幌市中央区北4条西6丁目 電話(011)221-4141

北方圏センター10周年記念出版

新 HOPPOKEN TODAY

北方圏時代

企画・社団法人北方圏センター
編集発行・「北方圏時代」刊行会
定価：1,800円／送料：300円
【A 5判／350ページ】



『新・北方圏時代』
申し込みは下記へ

北海道自立と地域活性化に大きなインパクトを与える北方圏構想は、胎動期の北方圏調査会時代を経て北方圏センターに引き継がれたが、この10年間において、道内各地でさらに大きく縦横な展開と深まりをみせている。

この構想を取り巻く環境の急速な進展と拡大について、道内各地で、そして海外で繰り広げられる交流の事例をあげながら、新たな段階に入った『北方圏交流』の現況と将来を展望する。

「北方圏時代」刊行会

〒060 札幌市中央区北4西6
毎日新聞北海道支社札幌圏本部内
☎(011)251-3551

随筆



F M北海道取締役社長
建部 直文

ずいぶん前のことだが、北方圏センターの役員の方と雑談中に「ところで、韓国や北朝鮮は北方圏に含まれますか」と聞いたことがある。そのときの先方の表情から察して「あ、野暮を言ってしまった」と感じたことを今でも覚えている。朝鮮(韓)半島の問題は一概に割り切れないむずかしさを含んでいる。私は小学校三年から旧制中学卒業までソウル(当時の京城)で過ごした。ソウルは緯度は札幌より南だが、まぎれもなく北方圏に属する気象条件を備えている。そのころの私は氷上のコマ回しに熱中した。円錐形で胴長の木ゴマ、これを棒の先に付けたヒモで引っぱたく。たぶん五十メートルは滑走しただろう。スケートで追いかけてまたたく。ソウル郊外(今は市内)の大河、漢河の水は頼もしいほど部厚いので、格好の遊び場であった。ソウルの冬は寒いが、雪は少ない。周辺の山は冠雪しても、街中が真っ白になることは滅多にない。それが北の方へ行くとガラリと様相が変わる。私は、ソウルに住む以前の幼年期を北朝鮮の中国国境に近い辺境の町で過ごしたことがある。厳冬の雪は地吹雪となつて襲いかかる。子供などちよつと道筋を踏み違えると、途端に消滅(埋没)してしまう。雪の朝は牛車で集団登校することもしばしばだった。

南北共通の暖房設備がオンドルだ。床下に石の板で煙道を張りめぐらし、土塗りの床に厚手の油紙を貼りつめる簡単なものだが、石

アナザー北方圏

と土を主材料とする家屋では絶大な偉力を発揮した。戦後初めて北海道の土を踏んだ当座、なぜこういふ全身が温まる便利なものがないのかと不思議に思い、背中がウソ寒いルンペンを抱え込んで嘆いたものだった。

私が住んだのは戦前の植民統治の時代である。周知のように現地の人たちが日本語使用を強制された時代だ。私自身十年も暮らしながら、とうとうハンダグ語を覚えないうでしまった。相手が日本語を話すので覚える必要がなかったという建前上の言い訳の裏に、一般の日本人も言語統制されていた現実もあった。近所の商業学校の生徒で、ハンダグを学習しようとして刑事に付きまといわれ、中止せざるを得なかった例を知っている。理不尽にも思想を疑われたのである。

そういう時代であつたけれど、私にとつて朝鮮(韓)半島は南も北も、懐しい第二の故郷である。一度訪ねたいと思いつくが、今日まで果たせずにいる。それは南への渡航は可能でも、北へは必ずしも可能ではない時代が続いていることと少なからず関係がある。若いころからの私の願ひは、南北平和統一の暁に釜山から汽車に乗つて中国国境まで、故旧の地を巡りたいというものであつたから。不幸にも四十余年、私の望みはかなえられなかつた。そろそろ歳でもあるし、この辺で「自分自身」にお許しを願つて、まずは南の韓国に一観光客として行ってこようかと考える今日このころである。

随筆



リンゼイ市名誉市民(札幌市在住)
蒲 郁次郎

現在、道内三十六の市町村が海外との姉妹都市提携を行つて、交流が進められている。この中で、名寄市とカナダ・オンタリオ州のリンゼイ市とはお互い小さな町とはいえ、二十十年間も地道に着実にその絆を深め、息の長い交流を続けている。

私はこの両市の提携以来、その委員会の委員長としての関係や、歯科医という職業柄の緊張感から時には感動的な大自然の中に解放されたくて、何度となくカナダを訪問した。そしてカナダ人の陽気さと、温かい人情に触れるたびに、心が洗われる思いをしてきた。その温かいふれあい、思い出をいくつか。

オンタリオ州に観光レクリエーション大臣のエーキングズ氏(締結時のリンゼイ市長)を訪ねた時のことである。議会開催中の多忙を極めていた時にもかかわらず、私を日本料理店に招待してくれた。私は氏の人柄に甘え、久方振りの和食ということもあって、ついつい時を忘れて日本酒に酔いしれてしまった。

岡田トロント総領事(後に駐道大使)が就任間もなく、リンゼイ市から招待を受けた時のことである。折しも、日本の経済界の大御所がカナダのTVでカナダ人のヒンシユクを買おうと不覚で、そして高慢な発言をした。岡田総領事は講演の冒頭で早速そのことを陳謝した。ところが、リンゼイ市民は「日本人がそんな無礼なことを言うはずがない。それはマスコミの考え違いだ」と、逆に謝まられた。総領事はその体験から「姉妹都市という

ふれあいと英語教育

のがこれほど奥が深く、絆が固いのは長い経験の中で初めてのこと」と、私に話された。

リンゼイ市会議員のマデイル氏は、かつて太平洋戦争での日本軍の香港攻略で、日本の砲弾を運び片足を切断、その後は義足で不自由な生活を送りながらも、ある時名寄を訪問した。長い間日本人に対して憎悪の心を抱き続けていたが、来て市民の温かい人情と親切に触れて、その憎しみはすっかり払拭したと言われた。

話は脱線するが、最近新聞のコラムで坂本春生さん(元札幌通産局長)が「日本は英語を話せなくする教育に時間をかけ過ぎている。もっと早い初等教育から英会話を取り入れよ」と論じていた。全く同感である。東南アジアで満身に学校にも通わない観光客目当ての物売の子が臆面もなく、自由に英語を操っている。それに引き替え日本では、覚えている単語の数は多いはずなのに、いざ会話となると(私を含めて)途端に尻込みしてしまう。英語を始めるのが遅いためか、文法を重視するためか。

いずれにしても貿易摩擦や外交上の軋轢のつる時、国際語ともいえる英語を早くからの初等教育から始めてもらいたいものだ。子供の時から学習は、広く言えば全世界の人たちとの交流のために、そして姉妹交流という限られた場合でも、個々の会話がお互いの理解と温かいふれあいをより深く、よりスムーズにすることが確実と思えるからだ。



元小樽商科大学教授
玉井 武

今から四半世紀も前の話です。その頃私はアメリカのデトロイト近くのミシガン大学で生寮に住んで居ました。ある時一日本人学生がこの近くに日本蟲屑のおばあさんが住んでおいでだと言う。一人息子の外交官は印度に勤めていて、広い屋敷に一人住まいのおばあさんは、訪れる日本人をととても喜んで迎えるとの話。ある日曜、私はそのおばあさんの家の玄関に立ちました。ウエルカムと染め抜かれたマットが私を迎えてくれました。招き入れられて応接間に入ると日本の陶器・掛物など美術品が沢山かざってあります。何十年も前横浜に住んでいた当時に求めた物で……とその思い出が色々続きます。横浜に住んでいた当時にいかにも懐かしそう。不図中庭に面した窓の方に目をやると大きな桜桃の木。折りしも季節は六月下旬。北緯四二度のこのあたりは故郷札幌と等緯度。赤い赤い桜桃の実が青い葉陰から風に揺られて見え隠れ。昔小学生の頃、桜桃の木に登って実を採った経験のある私は早速採ってあげましょうかと申し出ました。ところがおばあさんの返事は全く私の意表を突きました。「あ、あの桜桃の木は小鳥たちのために植えたのですから……」

外国での思い出

大らかな話の前に、私は島国根性のちっぽけさが恥かしくてなりませんでした。アメリカ留学の十年後の夏、私はイギリスに居りました。半月滞在したコベントリーの素人下宿に四、五歳ぐらいの可愛い姉妹がいました。たまたま或る日のお昼の食事をこの子達と一緒にすることになりました。このイギリスの子供達は親が共稼ぎなので昼間はおばあちゃんの家へ来ていました。この時子供達との会話の中に私の持ち物が出て来ましたので、実物をとりに隣室の鞆の処へ行こうと立ち上がった途端に、姉の方が叫びました。「おばあちゃん！玉井さん御免なさいって言わないで立っただから……」

はっと気がついた私はすぐ席に戻って、「エクスキューズ・ミー」

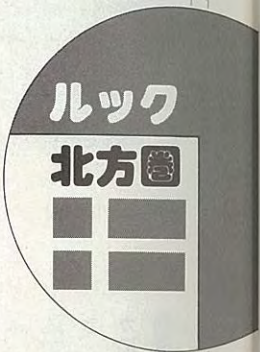
とことわって立ち上がりましたが、子供の時から仕込まれてない上に、学生寮などで無礼講ずくめの生活を続けて来ながら、それでも一人前の立派な紳士の積りが四、五歳の女の子に咎められて元の席へ帰る図などは、大きく言えば国の恥。イギリスは驍・礼儀の先進国。曾てオックスフォード大学を日本の皇太子が訪ねられた時、一学生寮に入られて食事と共にされ、食後は学生と歓談も交わされたと言う。私の友人の同大学教授が、その学寮の前を案内して通った時に話してくれましたが、日本も経済大国とばかり言われたくないものと反省と精進の強く求められる今日です。

人気高い建築王 クリスチャンIV世

遺業をしのび 王位四百年を祝う

コペンハーゲンの町を歩いて古い建物を訪ねる時に、必ずや耳にするのが「クリスチャンIV世」の名前です。「建築王」との異名をとったこのクリスチャンIV世（一五七〇〜一六四八）の建てた建造物は、ローゼンボー(Rosenborg)城、円塔、証券取引所、ニューボーダーの家々、

コルディンフース(Koldinghus)城など、枚挙のいとまがありません。また現在、国立歴史博物館となっているフレデリク



スボー(Frederiksborg)城、ハムレットの舞台といわれるクロンボー(Kronborg)城もクリスチャンIV世の手により改築されたものです。

クリスチャンIV世は建物を建てたばかりでなく、当時のヨーロッパ社会の中でデンマークを最新のものに変えるように、産業や商業にも積極的な意欲を燃やしました。

また芸術にも深い憧憬を示し、デンマークの芸術家を他のヨーロッパ諸国に留学させたり、外国の芸術家をデンマークに招いたりして、この時期デンマークの美術や音楽は隆盛を極めました。

一六四八年に七十二歳の生涯を閉じる前には、いくつかの敗戦によりデンマークを悲惨な状態に陥れたにもかかわらず、クリスチャンIV世はデンマーク歴代の王様の中でも最も人気の高い王様のひとりです。

このクリスチャンIV世が父王フレデリックII世の死後、王位についたのは一五八八年、わずか十一歳の時のこと。今年はその

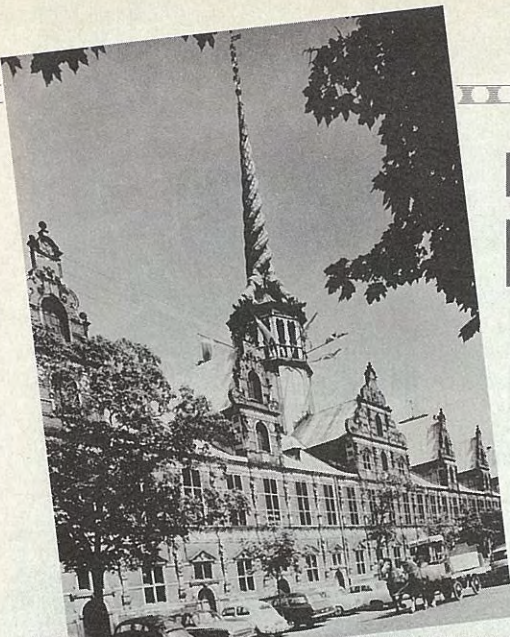
れからちょうど四百年目に当たることから、各地でこれを記念した行事が予定されています。

「クリスチャンIV世四百年特別展示会」はコペンハーゲンの国立博物館、ローゼンボー城、オーフス(Aarhus)のオーフス美術館など九カ所の博物館や美術館で三月三十日から九月二十五日まで開催され、王の遺品をはじめ、当時の文化、芸術、歴史を紹介する様々なものが展示されます。

五月二十八日から六月三日までコペンハーゲンで「クリスチャンIV世四百年記念音楽祭」が開催され、種々のコンサートが予定されています。また、ツボルグ(Tuborg)ビールでは、「クリスチャンIV」という名前のビールを発売することになりました。クリスチャンIV世当時の伝統的な手法により製造されるもので、ラベルはクリスチャンIV世の肖像画になっています。

今年のデンマークは、クリスチャンIV世を記念した行事が盛りだくさんです。

(デンマークだより)





レニングラード大学と水中翼船

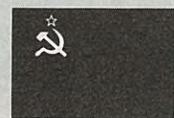


騎士の像が建つテカプリスト広場



エルミターージュ美術館のほんの一角

北方圏の街角



北国の麗人

レニングラード



楽しい旅のしおり 5

北欧四方国の旅はいかがでしたか？ きっと素晴らしい出会いと体験があったことでしょう。私たちの北方圏の街角めぐりの旅は、次はソ連邦に向かいます。飛行機、豪華客船と続いたので、列車を利用してみましょう。日本人が外国へ出かけるには必ず、飛行機か船を利用しなければなりません。陸続きのヨーロッパでは当然ながら歩いて渡ることもできます。

目的地はソ連邦第二の都市レニングラード。「北国の麗人」と呼ばれ、帝政ロシアの首都ペテルスブルグとして長く繁栄、その香りの漂うマチ。かつて、作家アンドレ・ジイドが「これほど石と金属と水の調和した美しいマチを私は知らない」と言ったほどに美しいマチです。また、一方では革命の発祥地であり、世界最初の社会主義国家誕生の地でもあります。

入国ビザ(査証)をお忘れなく。これがなければソ連邦内の旅はできません。ヘルシンキ中央駅からモスクワの客車に乗り込んで、レニングラードへ七時間、列車の旅の始まりです。

資料提供・日本交通公社海外旅行札幌支店

中世の要塞と華麗な美術館と

フィンランドのヘルシンキ中央駅を午後二十分に出発した列車は、フィンランド湾に沿ってその一番奥へと大小無数の湖沼を抱き込むように生い繁る針葉樹林帯の中を進んで行きます。五時少し過ぎ、その単調な景色にそろそろ飽きてきたころ、国境の駅ルジャイカに到着。この駅舎でソ連の係官による入国手続きが行われます。列車から降りて皆並んでいますから、後について……。全員の手続

きが終わると、列車は再びレニングラードに向けて走り出します。

この列車の到着駅はフィンランド駅。レニングラードにはこのフィンランド駅のほかにモスクワ駅、ワルシャワ駅、バルト駅、ピテフスク駅など、行先別(到着別)にそれぞれの駅があります。

午後八時過ぎ、何事もなくフィンランド駅に到着しました。初夏のこのころは、駅前のレーニン広場に立つレーニン像にも、まだ太陽の光が輝いています。

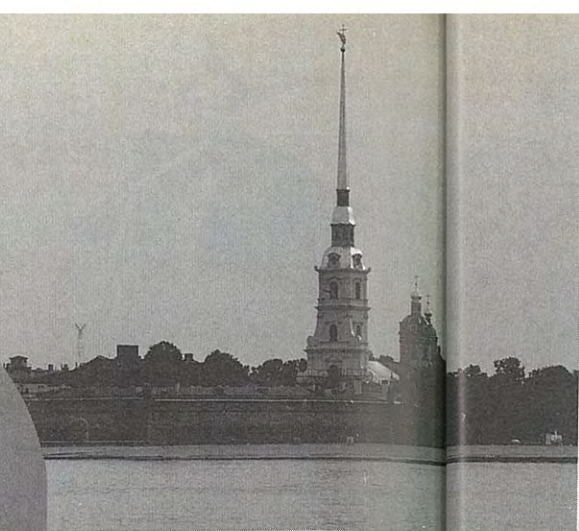
ホテルへ向かうことにしましょう(ソ連邦ではあらかじめ予約をしておかねばなりません)。駅の申し込みカウンターで行き先を告げお金(ドルでもルーブルでも可)を払って、紙片をもらい駅前の乗り場待ちます。しばらくするとリムジンバスが来ます。バスはまざりティヌイ橋を渡り、ネバ川に沿って西(下流)に向かいます。バスの正面から射し込む光がまぶしいほどです。右手にキーロフ橋を見ながらさらに下流へ。ペトロパブロフスク要塞が、中世の城壁のようにガンとして水の中に居座っています。左手には華麗なエルミターージュ美術館の長い建物群が続いています。(エルミターージュは明日見学しましょう。少し行くと右手に大ネバ川にかかる宮殿橋が見えます。これを渡ってワシリエフスキー島に入ります。

言い忘れましたが、ネバ川はラドガ湖からフィンランド湾へ注ぐ川。水量は豊富で川幅は五百メートルを超えた雄大な流れ。エルミターージュのある市の中央で小ネバ、大ネバの二つの流れとなってフィンランド湾に注いでいます。その二つの川と湾に囲まれたのがワシリエフスキー島というわけです。ここに、私たちのホテル、ブリバルチスカヤがあります。モスクワ・オリンピックの時に建てられた十六階建ての現代的なホテルです。チェック・インしたあと、すぐ裏の海岸に出て見ると九時をとおく過ぎたというのに、フィンランド湾に沈む夕陽はまだ高く、キラキラと水面に輝いています。旅先での夕陽はいつまでも印象に残ること受け合いです(午後十一時ごろまではフラッシュなしで十分写真が撮れます)。

エルミタージュ内でしばし足を止める



プーシキン広場からペトロパ
プロフスク要塞を見る



旧海軍省の金色の尖塔を望む
ネフスキー大通



ロシア博物館前に建つプーシ
キン像
朝のプーシキン広場を行くレ
ニングラード大の学生



この街を実感させる河畔の散策

早朝のネバ川の岸边を散歩してみませんか(前日にインツォリス
トに予約するとハイヤーがホテルの前に来てくれます)。
午前六時、朝の柔らかな日差しがマチ全体をやさしく包んでいる
ようです。プーシキン広場へ行きましょう。近くにレニングラード
大学があるためか、若者たちが大勢歩いています。昨日渡った宮殿
橋は交通の要衝らしく、ラッシュアワーという時間もあるバス・
トロリーバス、車、自転車に乗った人たちが忙しく行き来していま
す。プーシキン広場から宮殿橋を渡り振り返ると、レニングラード
大学の美しい建物が水面にその影を落としています。
ここからブラブラとデカブリスト広場へ。この河畔の散策は、ま
さにレニングラードにいることを実感させてくれる素晴らしいひと
ときとなるはずです。

目を奪うエルミタージュ美術館

朝の散策から一度ホテルへ引き返して朝食をすませたら、エルミ
タージュ美術館へ行きましょう。
パリのルーブル美術館と並んで世界最大のコレクションを誇るこ
のエルミタージュは、離れ家という意で、女帝エカテリーナII世
によって設立されました。現在収蔵美術品は二百万点。一日に八時
間を費して一点三十秒ずつ見てまわっても、六年はかかります。そ
の壮大さがおわかりいただけるでしょう。貴重な美術品もさること
ながら、館内の装飾も目を見はるものです。ルーブルもかつての王
宮だった建物ですが、これもツァーの、冬の宮、です。その華麗な
装飾は帝政ロシアの財力をまざまざと見せつけられる思いです。時
間の許す限りご覧になって下さい。でも、内の人混みも相当なもの
で、午前中の二時間の見学でもクタクタになってしまいそうです。

優雅な街並・ネフスキー大通り

午後からはネフスキー大通りを歩いてみましょう。ネフスキー大
通りは、宮殿広場横の旧海軍省の金色の尖塔前から南東へ、ネフス
キー修道院までの約四・五キロの幅の広い優雅な通り。この大通り
を抜きにしてはレニングラードの街並の美しさを語れないとさえい
われています。歴史は古く、ピョートルI世の時代にさかのぼるの
ですが、第二次大戦後、路面電車がとり払われ、道幅も広げられて
近代的な照明灯もつけられました。

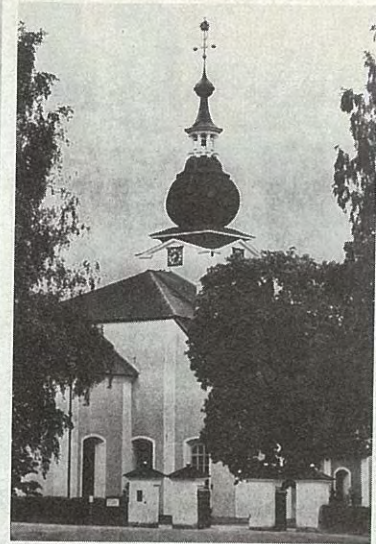
旧海軍省の前から道の左側の木道を歩き始めましょう。間もなく、
モイカ運河が、そしてグリボエドフ運河が現れます。この二つの運
河を渡るとグリーンカ・ホールが現れます。その先に左に入る小さな
道があり、正面に広場と大きな建物が見えるはずです。広場の名は
芸術広場、中央に詩聖といわれるプーシキンの銅像が立っていま
す。そして大きな古代建築を思わせる建物はロシア博物館。これも
時間があれば見学したいところです。

このネフスキー通りから直角に、芸術広場に達する道には、芸術
劇場やロシア民謡やバラライカの演奏などで人気のある「サトコ」、
ロビーが少し暗くて狭いけれど、落ち着いた雰囲気のエプロペイス
カヤホテルなどが並び、レニングラードの歓楽街といった趣です。
さらにネフスキー通りを先に進むと、小麦粉・豆類などの食料品
店、レストラン、デパートなどが並んでいます。レニングラードの
活気を一本の通りに凝縮したようなにぎわいです。

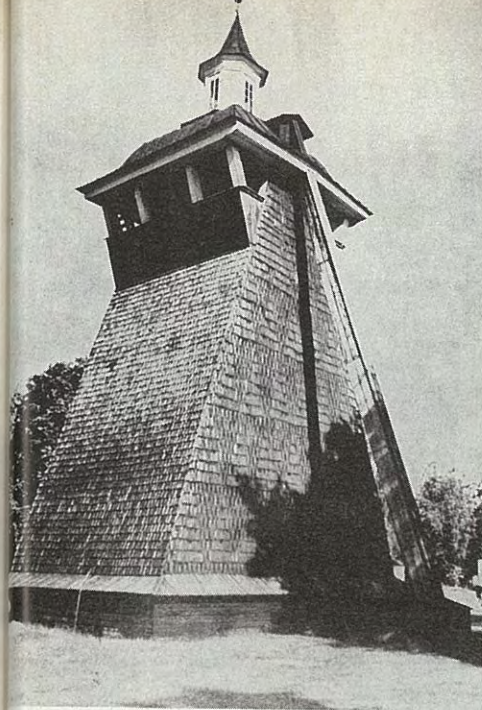
「北のベニス」と呼ばれ、芸術のマチとして、落ち着いた雰囲気
とともに、学生たちの若いエネルギーの感じられるプーシキン広場
そして市民の活気あふれたネフスキー大通りなど、ぜひ味わって
いただきたいと思えます。
誌面の都合で今回はここまでですが、次回はピョートル宮殿を訪
れ、夜行列車でモスクワに向かうことにしましょう。

過去と未来をつなぐ連帯の場

レクサンド教会へのいざない

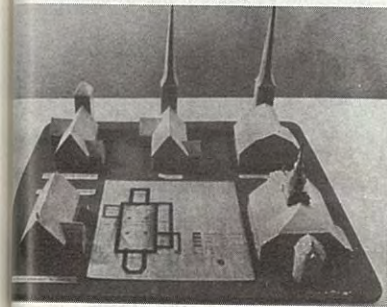


17世紀に建てられた鐘楼



古い文化と伝統に支えられる
レクサンド教会

スウェーデンの中央部に位置するダーラナ地方はスウェーデン文化の発祥地の一つとして有名です。ここで一番大きい湖・シリアン湖のほとりにあるレクサンドの町に、最初は恐らくバイキングの埋葬地の近くであったろう、といわれる古い教会があります。レクサンド教区牧師のレナート・ソーレンさんと、教区委員のクニス・カール・アロンションさんの教会についてのガイドは、スウェーデンの宗教建築の様式や、今も生活様式の中に生きる古い民族的な伝統をつぶさに伝えてくれます。



13世紀の教会の模型

レナート・ソーレン (レクサンド教区牧師)
クニス・カール・アロンション (同教区委員)

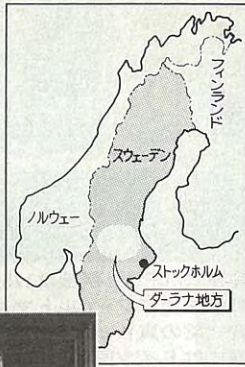
初期の歴史

バイキング

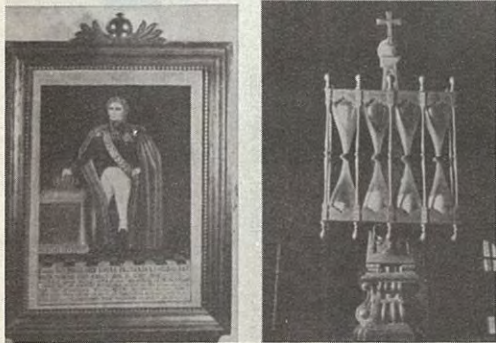
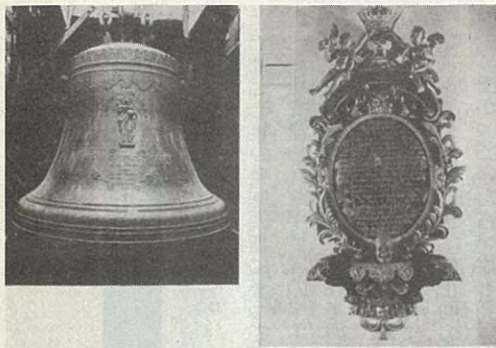
文化とともに

レクサンドの最初の教会は、恐らくはバイキングの埋葬地あるいはそのすぐそばに建てられたものでしょう。シリアン湖と川・エステルダレルベンとの間にある岬の上という位置は、埋葬や儀式の場所として絶好の所でした。一九七一年の発掘調査によって、教会入り口下の多くの墓が明らかにされたことでも、そのことが確認されています。

その後の考古学調査によって、この地域に関するバイキング時代後期



「ダーラナの女族長」として知られたマルガレータ・セプロエンシス (1657年没) (左) と、彼女の最初の配偶者でダーラナ北部の精神的・政治的指導者であったエラウス・テルセラス牧師 (1617年没) の肖像画



1704年鑄造のグレート・ベル (左上)、ラース・シルエストロームの記念額 (右上) カール14世の肖像画 (左下)、1734年に教会に寄進された砂時計 (右下)

及び中世紀初期ころの、非常に重要な情報が得られています。発掘されたのは有用な品物や装飾品、それにイギリス、ドイツ、ポヘミアの硬貨などです。極めて状態が良く、量も大変豊富で、多くの科学的関心を呼んでいます。最も古い硬貨はイギリスのもので、九九〇年の年号が記されています。また、極めて保存状態の良い布地は、当時の織物についての高度に発達した知識を示しています。

床下からは、長方形の建物の土台と考えられる遺物が発見されています。この土台から、建物全体は四隅に杭を打ち込み、その間を垂直の壁でつないだ木造建築物であったことが明らかにになりました。このような教会堂は後期異教徒時代に属するものです。

現在の教会

建設と破壊の

歴史に生きて

後期ローマ式建築で、十三世紀初めの中世石造建築様式がレクサンド教会の身軀を形造っています。

一四〇〇年ころ、西端に塔が建て

増しされました。これはダーラナで最初のものでしたが、十六世紀中に落雷で損傷を受けました。新しい尖塔が建設されましたが、それも一六二七年に教会とともに「塔、屋根、すべての木製品が落雷のために焼け落ち、また、アーチを交えていた壁の多くの部分が崩れ落ちて、鐘も全部灰と砂の中に溶け込んでしまい、私たちが多くの涙を流した」と伝えられるように破壊されました。再び「不敬けんな高さの」尖塔が建設されましたが、これもまた一七〇九年に同じ運命を辿ったのです。

十六、十七世紀の間に何度か増築が行われ、十八世紀初めに礼拝堂が増設されました。教会の屋根は二重勾配屋根に改造され、「タマネギ」状に幾層にも重なった屋根を持つ小塔が建設されました。

尖塔には金色の王冠と、カール十二世の組み合わせ文字のついた鉄製の十字架が据えつけられました。屋根には聖ペトロ、聖パウロ (中世の教会の守護聖人) の木像が取り付けられました。現在の礼拝堂は一七五五年の拡張以来のもので、一七九〇年代の改築で非対称的な「長方形の教会」は相称的でバランスのとれた形の教会に変わりました。

教会の内部

多彩な装飾品

一九七一年の発掘調査によって、白色塗料で覆われた中世風のアーチには、美しい絵画が掛けられていた証拠が発見されました。数点の小品が難を免れて残されていたのです。同様に「兵士のさじき」の正面の羽目板に掛かっていた古い絵も発見さ



1400年ころの凱旋十字架



祭壇と洗礼盤。祭壇は1750年代、彫刻家オロフ・ゲルトマンの作。洗礼盤の真ちゅう製のボールの底にはドイツ国籍の家紋がついている。

れました。これは十八世紀ころのデビ大王の物語からいくつかの場面を取って描かれたものと思われま

カール十一世は祭壇の後ろに置く棚を教会に寄進しましたが、王の円額肖像画は現在、北側のドアの内側に掛けられています。その時、中世風の三枚の絵と行列十字架像もエルブダーレン教会に贈られました。後にエベルツベリ礼拝堂に移されました。現在の祭壇はストックホルムの彫刻家、オロフ・ゲルトマンの作です。説教壇も彼の作で、一六二二年の古いものを基礎に十八世紀半ばに作られたものです。

洗礼盤は祭壇の輪縁の中に据えつけられており、真ちゅう製のボールの底にはドイツ国籍の家紋がついています。礼拝堂のアーチには教会が最も誇りとする凱旋十字架像が掛けられています。木製で、一四〇〇年ころスウェーデンで作られたようです。五十本の管を持つパイプオルガンはダーラナ地方最大のものです。

このほか教会には前任の牧師たちを記念する十七、八世紀の美しい額が数点収められています。

教会内陣の南側には、ダーラナ東部全域の地方参事だったエラウス・テルセラス（二一七一年没）の額も

あります。彼は農民と貴族が緊迫した関係にあった時期に、人々の信頼を得、とくに一五九八年のいわゆる「第一」暴動の間、「知恵と勇気をもつて多くの人々の命を救った、真の意味での唯一の人」でした。

もう一枚の額は一七〇九年の火事の後、教会と塔の修復と再建を行った教区牧師、ラース・シルエストロームを記念するものです。彼は東欧の戦役に従軍している間にカール十二世からレクサンドの聖職禄を与えられました。レクサンドのドームに東欧のドーム型の影響を与えたのは彼の知識だったかも知れません。

レクサンド教会は多数の中二階を持つことで有名ですが、これはこの地方の方言で「さじき」と呼ばれ、一六、七〇〇年ころから使われています。それぞれの中二階は、老婦人のさじき、老人のさじき、兵士のさじき、空際のさじき、オルガンのさじきという名前がついています。

このように多くのさじきがあることにより、教会は二千人もの人々を収容することが可能であり、教会暦年の主要な祭礼時には、いつも人があふれるばかりになります。中二階正面の壁には十六世紀のルター派の教区牧師の名前が書かれています。

鐘楼

三つの鐘の歴史

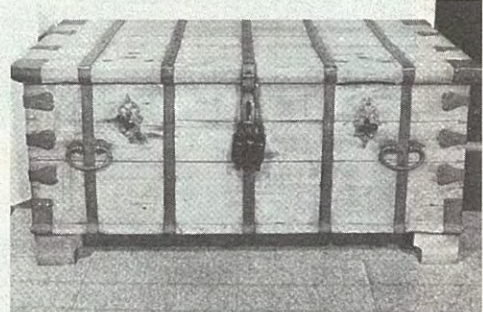
鐘楼は一六二八年に建設され、三つの鐘が据えつけられています。「鐘の反乱」（一五三〇年）の間に中型の鐘がグスタフ・バーサーによって持ち去られ、三つのうちで最も大きな鐘もダーラナで押収されました。三つの均整のとれた鐘のうち、現在の中型の鐘は一八四四年に鑄造されたものです。また、大型と小型の鐘はどちらも一七〇四年に、時計塔の鐘は一七四四年の鑄造です。

生きていく教会

敬愛と連帯に支えられて

シリアンの人々は、教会のすぐそばの芝生で教区、州、国にとって重要な多くの会議を開いてきました。女性の服装と教会暦年の関連が示すように、教会の伝統は今なお教区に生きています。

エラウス・テルセラスは教区民の教会に対する古くからの敬愛の念について次のように記述しています。



「グレート・ダーラ・ダンス」と呼ばれる教会金庫。反乱時に5000枚の銅貨が持ち去られたこともある。

「反乱の時、ダーラナの男たちを統制することはダレルベン川の流れを山側に後退するように変えるのと同じくらい不可能に近いものだ」

こうも書いています。

「教会で礼拝する素晴らしい精神、とくに賛美歌を歌い、祈るため一堂に集まって天使と共にある時に感じられる、その素晴らしい精神に感服せざるを得なかった」

このように書いてくると、まるで私たちの教会が博物館であるかのような印象を与えたことでしょう。実はレクサンド教会は、他の建物が皆そうでないと同様、博物館ではあ

りません。私たちよりも前の世代の人々は、その歴史を教会の建物や資産に書き付けてきました。それは博物館ではない神の家、つまりは教区民の精神的な家である教会に対する敬愛の念の証にほかなりません。

来る代も来る代もそこに生きた人々は、使徒法が最初のキリスト地域礼拝の中で記述しているのと同様の連帯感をもって礼拝のために集まってきました。互いの連帯感ではあつても、根本的には神のことは、祈り、聖餐式のパンとブドウ酒、そして賛美歌を介しての神及びイエス・キリストとの連帯感。教会堂の最も美しい装飾は、今なお私たちの教区を崇拜されるものになっています。

礼拝の間、私たちは時をさかのぼって過去の連帯感を体験することができます。未来永劫に続く連帯感をも体験することができます。こうすることで私たちは、安心感を持ち、喜びを感じるのです。

親愛なる皆さん、レクサンド教会へようこそ。祈りの中で私たちと連帯感を持つことをうれしく思います。

「神はあなたの祈りの歌声を聞かれ、あなたがそこにいることに祝福をお与えになるでしょう。」



可能性をパッケージングしたメディアボックス、それが私たち。今年もまた新しいデータが、ノウハウが、システムが仲間入ります。よろしくお願ひいたします。

- 出版 (定期刊行) さっぽろタウン情報(月刊/25日発売) スキー&宿(年刊/11月発売) LEAD(年刊/企業ガイドブック/5月発売) MESH(年刊/シティガイドマップ/2月発売) (単行本) みんなヒーローだった(発売中)
- 文字処理ソフト開発と出力サービス
- ニューメディアの番組企画プランニングと編集・データ提供
- 会社案内・営業案内等印刷物ツールの企画・制作
- ネオライト(発光POP)札幌地区取扱い代理店
- サクセスロード(月刊/繁盛店ルポ・ビデオテープ)札幌地区取扱い代理店

CRIPメディアサービス
岩橋印刷株式会社開発事業部
〒060 札幌市中央区南1条西7丁目 第2大京ビル1F
☎(011)261-6011 タウン281-1855 FAX261-6013

グルメも感激、200のメニュー。

和・洋・中、世界の味が200種類。室内も、ゆったり落ち着いた会話をお楽しみいただけるよう、気を配りました。ご家族、お友達と、心ゆくまでおいしい時間をお味わってください。

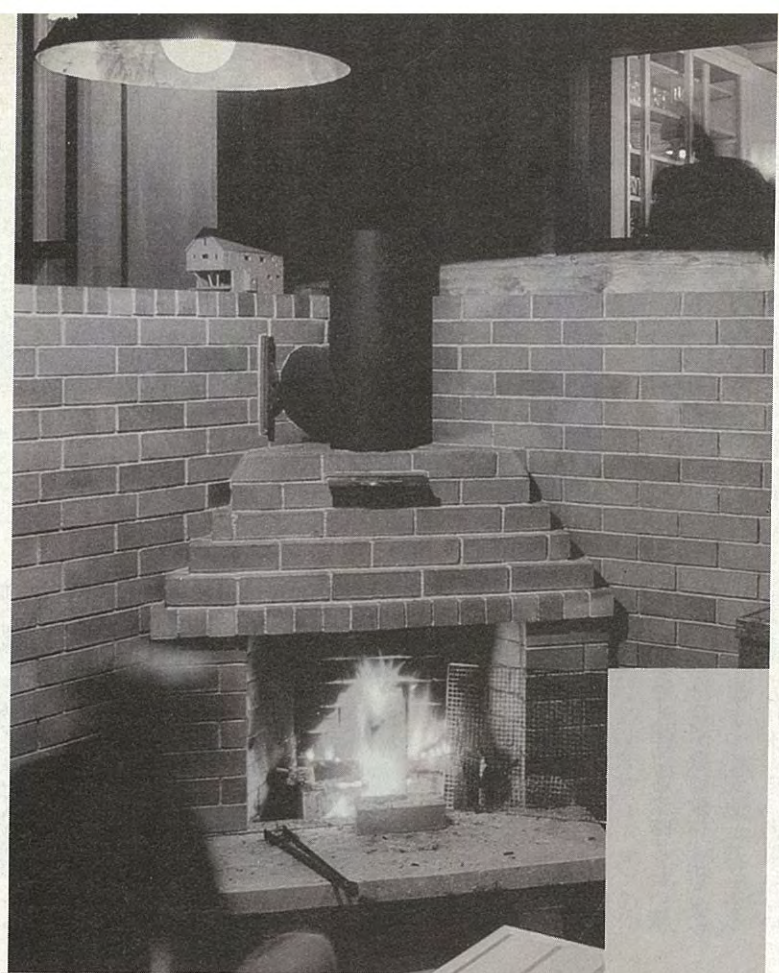


FOUR SEASONS
レストラン フォーシーズンズ
地下1階・営業時間 11:30-22:00

The New Otani
ホテル ニューオータニ札幌
札幌市中央区北2条西1丁目1番地 TEL.(011)222-1111

理想的な北国住宅

パートVII



暖房についての考え方とその方法



八〇年代北方圏住宅研究会

中村 剛

前号まで、健康的で快適な住まいづくりのための大切な条件の一つである建物主体（窓や玄関などの開口部も含め）の断熱性や気密性について説明しました。この号からは断熱や気密と同様に重要な条件である暖房や換気についてトータルシステムの立場から詳しく考えたいという説明をしよう。

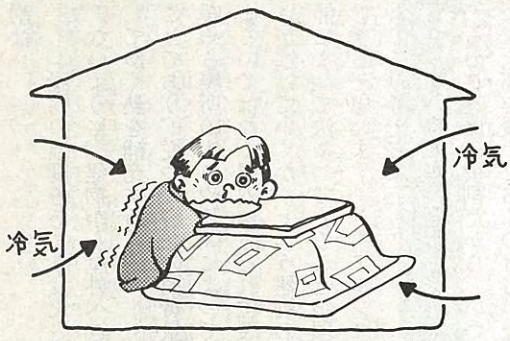
暖房の移り変わり

寒い冬に暖房が欠かせないのはいうまでもないことです。北海道ほどは寒さの厳しくない本州でも、昔から「こたつ」や「火鉢」、「いろり」などが冬の寒さ対策として使われてきました。北海道ではさすがにこうした方法位では間に合わず、薪ストーブや石炭ストーブが愛用され、北海道の冬を象徴するものとして人々の心に残り北海道の暖房に対する考え方・常識の基礎を形づくってきました。

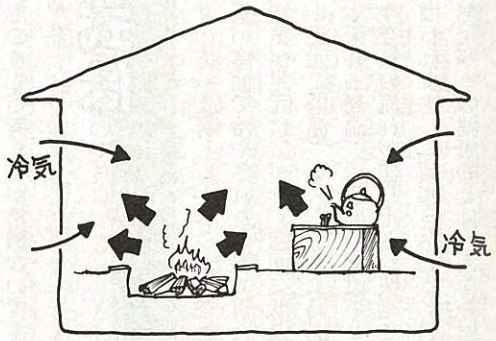
戦後は便利な石油ストーブが主流となり、最近では灯油以外にガスや電気、一部にはソーラーエネルギーなども使われ、また暖房方式もセントラルヒーティングや床暖房・ペチカなども利用されるようになりましたが赤々と燃える薪や石炭ストーブへの郷愁はまだ人々の間に根強く残されています。



本州での「いろり」は暖房と共に、接客や家族とのコミュニケーションをはかる中心的な役割を果たしてきた



「こたつ」の中だけはポカポカと暖かい



暖かいのは「いろり」や「火鉢」の周りだけ

4.0kg容量

ガス衣類乾燥機

乾太くん

KMA-804A 現金標準正価 81,000円
※配管・取付工事費別途

- 乾燥状態をセンサーで確認。「念入」標準「40分」の3コース運転。
- 取り出し忘れの衣類には「ふんわり」キープ機能つき。
- ドアの開き方向が左右交換可能です。寸法＝高さ670×幅630×奥行670mm

降っても、晴れても…。

雨の日のお洗たく、乾きが遅くて困りますね。そんな時、北ガスのガス衣類乾燥機「乾太くん」があれば、ふっくら、はやく経済乾燥。殺菌効果もおテントウさまに匹敵。降っても晴れても乾燥は北ガスの「乾太くん」におまかせください。

★ニット設置ですっきり収納。

本社＝札幌市中央区北4条東5丁目 ☎(011)231-9511
中央営業所＝札幌市中央区北4条東5丁目 ☎(011)231-9511
東営業所＝札幌市白石区大谷地434番地 ☎(011)892-5811
小樽営業所＝小樽市入船4丁目33番1号 ☎(0134)24-1511
函館支社＝函館市万代町8番1号 ☎(0138)41-3175

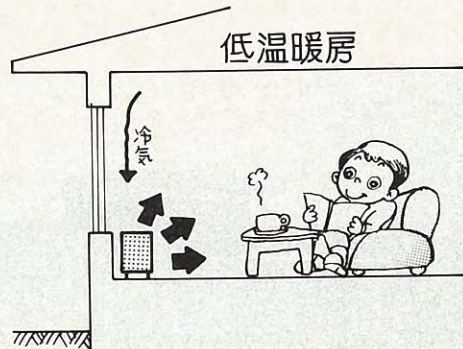
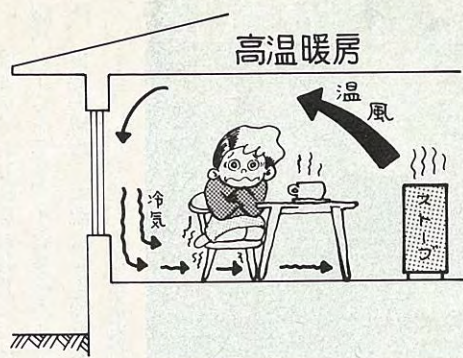
暖房の役割

建物の断熱や気密が十分でないとならば、暖房の熱はほとんど屋外へ逃げてしまいます。そこで寒さから身を守るため、ストーブをほとんど燃やすと共になるべく場所を狭く区切って閉め切り、その部分だけでも暖かくしておこうとするのは自然の成り行きでした。特にオイルショック後、灯油価格が急騰し、灯油代を節約することが家計をあずかる主婦の関心の点になると

「ストーブは寒い時に暖かさを得るためのものだから、広い場所を暖かくしておく燃料代がかさむし、使わない場所や使わない時に部屋を暖めておくのはもったいない」

「暖房が必要な時に、必要な所だけ使うのが一番経済的だ」というのが常識になってきたのも当然のことでした。

断熱や気密の不十分な住宅では、必要な時に必要な所だけ暖めるやり方をすれば確かに灯油代はそんなに多くなくて済みます。しかしこうし



建物性能が同じでも暖房方法によって居住環境は変わってきます

居住環境になってしまいます。

これは一カ所で一時に大量の熱を、そして高温の空気を発生させる個別暖房方式の宿命ともいえます。屋内居住環境をいつも健康的で快



温水セントラルヒーティングでは窓下に低温輻射型のパネルを設置するのが基本

た住まいでは、あちこちに寒い所があつて浴室やトイレが寒いとか、ストーブを燃やしても暖かくなるまでは寒さを我慢しなければならなかったり、結露やカビ・ダニなどの問題が起きたりして健康的でもなければ快適な暮らしも望まれません。

A～Bランクの健康的で快適な暮らしを望むなら、暖かさがなかなか屋外へ逃げていかずいつでもどこでもあまり温度が変わらないように十分な断熱性や気密性を実現しなければなりません。そうすると暖房の役

望ましい暖房方式は

暖房の役割が「建物から逃げ出す熱を補充することにある」と考えると今までの暖房方式はあまり上手な方法ではないことがわかります。

寒いから暖かくしようとしてストーブを燃やすとストーブの周りの空気は六〇度も七〇度も高温に暖められます。暖かい空気は軽いので天

割は

「屋内の温度をあまり変化させないように、建物から屋外へ逃げてゆく熱を補充する」

ことであり、従って灯油の消費量は暖める場所の広さや時間によって決まるのではなく屋内からどれ位暖かさが逃げていくか、という建物の性能によって決まってくるのが理解できると思います。トータルシステムでこの考え方は

「寒い時に寒い場所を暖かくするものが暖房の役割だから、いつも家全部を暖めておくのはもったいない」

という今までの暖房の常識とは全く違ったものですが、北欧や北米でもこうした考え方が常識なのです。

井の方へ上昇し、かわりに断熱性が低い窓面で冷やされた低温で重たい空気が足元に広がり、窓面(低温) ↓足元(低温) ↓ストーブ(高温) ↓天井(高温) ↓窓面(低温) という空気の流れが作り出され快適さが損われますし、「頭寒足熱ならぬ「頭熱足寒」の健康的とはいえない屋内

度で、熱の一番逃げやすく、従って一番温度の下がりやすい所で供給する方式が望ましいといえます。

例えば、二五～三〇度位(高くても四〇度以下)の比較的低温の温水セントラルヒーティングで、大きな窓の下部や玄関等数カ所に放熱型のパネルを設けたものなどはこの方式の一つといえます。

こうした方法ですと六〇度も七〇度も高温の空気はできませんし、窓面で冷やされたり玄関から流れ込んだ低温の空気はその場で室温位まで暖められますので、屋内をいつも適温に保つことができるのです。

具体的な暖房方法の例

健康的で快適な住まいを実現するためのトータルシステムの立場から具体的にどんな暖房方法がよいかいくつかの例を次に挙げて見ます。

- (1) 温水セントラルヒーティング (パネル方式)

小容量のボイラー(普通の三〇〜

五〇坪位の住宅ならば五〇〇〜キロワットの容量のものでよい)で大きな窓面の下、玄関などの出入り口部など数カ所に放熱型のパネルヒーターを設置。温水温度は二五～三〇度位(高くても四〇度位下)とし室温で運転をコントロール(オン・オフ制御)する。温水配管の保温は不要。また場所によっては配管むき出しでパネル無しとすることもできる。

プリント・コミュニケーションを促進する。



協和印刷株式会社

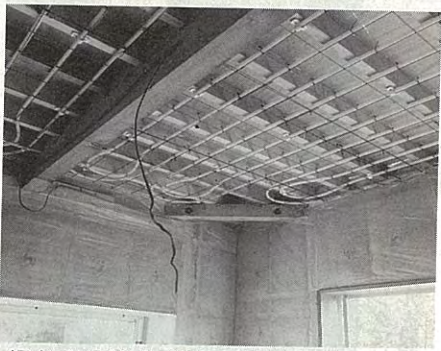
札幌市西区八軒6条西11丁目455番地1 ☎641-3535(代)

最高のくつろぎを
札幌で



ホテルアルファ・サツポロは世界をもてなすホテルオークラチェーンのひとつとして満ち足りた時をお約束します。ゆったりと広い客室、多彩なレストラン、スイミングクラブ、プレイボーイクラブ札幌など充実した施設と真心こめたおもてなしで、お迎えいたします。

ホテルオークラチェーン
A Alpha
ホテルアルファサツポロ
SEKIHYO GROUP
060 札幌市中央区南1条西5丁目
ご予約・お問い合わせ / TEL (011) 221-2333(代)



温水パイプを床（地下天井）に配管しただけの床暖房方式（シンダーや断熱の必要はない）

(2) 温水セントラルヒーティング (床暖房方式)

パネルの代わりに床に配管して床暖房とするもので、小容量のボイラー、低温の温水、室温による運転のコントロールなどはパネル式の場合

と同様である。床暖房の場合も配管は外壁回りを主体とし建物中心部はラフな配管でよく、床暖房のための特別な断熱やシンダー・コンクリート打ちなど特別な工事はしなくても差し支えありません。

(3) 温風セントラルヒーティング

温風ファーンエスで三〇度以下位（高くて四〇度以下）の低温の温風を窓下や玄関など出入り口の床面近く



セントラルヒーティング温風暖房の吹き出し口

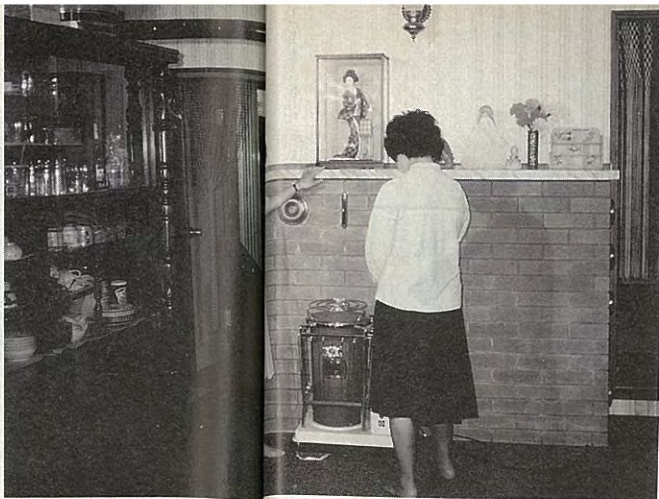
からゆっくり吹き出させる。この場合室内で空気の流れが感じられない位の低速で吹き出すことが重要で、配管をできるだけ大きくし、また吹き出し口もできるだけ大きくすることが必要で、温風の温度の調節や設置場所などに工夫すれば温風ファーンエスの代わりに石油ストーブや石油ストーブ煙突からの廃熱回収などを利用することも可能です。

この方法は換気と組み合わせ、暖房と換気を一つのシステムで行うこともできる優れた方式でわが国ではあまり実施されていませんがヨーロッパや北米・カナダなどでは広く普及しています。

(4) ペチカ

ペチカは蓄熱率が高く、低温・輻射型の放熱が行われるので優れた暖房方式ですが、通常屋内の中心近くに設けられることが多く、離れた場所や間仕切りで区切られた場所、あるいは窓の付近など外壁回りの温度が維持されにくい傾向があります。

比較的小さく、間取りが開放的で間仕切りなども特別の場合以外はある



ペチカは低輻射型の暖房方法で熱容量もあり、間取りなどをよく検討すれば優れた方式

け放して使うなど条件さえ整えば十分利用できますし、小さな電気ストーブなどの補助暖房と併用することも考えてうまく活用して下さい。

セントラルヒーティングは一般に高価で灯油代も高くつくと考えられて敬遠され勝ちです。しかし建物の

性能が良くなれば比較的安価に設備することができ、灯油代も決して多くならぬ上に良好な屋内居住環境を維持するには個別暖房よりはるかに有利ですので、健康的で快適な住まいづくりを考える、トータルシステムの立場からはこの方式の採用をおすすめいたします。

国旗は国家と国権、国威を象徴するものとされている。そうした意味では世界で初めて社会主義国家を建設したソ連の国旗はその典型的なものといえる。

世界の労働者の大同団結を願望し、訴えたものといわれる。国旗とは別に国章、これは中央上部に星、中央の地球上に鎌とハンマーをおき、周囲にムギの穂をあしらったものだが、これには下部に、万国のプロレタリアよ、団結せよ、(プロ

赤地は自由と闘争

ソビエト

星は究極の社会主義を

赤い地は自由とそれへのあくなき闘争、人民革命、黄(金色)は人民、繁栄、鎌は農民階級、ハンマーは労働階級を示し、その交差は農民と工業労働者の協調と団結、主権の存在位置を示すとされている。

また、金色の外縁を持つ赤い五稜星は究極の社会においてマルクス主義による完全

国旗

④



レタリイ・セフ・ストラン・サエジニヤチエシ)と銘記されている。しかし、国旗への金色使用は珍しい。

一九二二年制定、一九三六年憲法二七〇条によって正式採用されたが、一九一七年の革命後しばらくは赤い星の部分が連邦加盟国の頭文字だったとされている。

また、白ロシア共和国の国旗は左六分の一の赤地に白抜きで白ロシア特産のカベットの模様を描き、連邦旗の下三分の一が豊かな森林資源、盛んな農業、国土の美しさ、繁栄を表わす緑となつている。

なお、参考までに革命前の国旗は東神聖ローマ帝国の紋章を継ぐ勇壮な姿の双頭の鷲だった。



株式会社 電通

私たちは創ります、「コミュニケーション・エクセレンス」の電通

今、そしてこれから、電通はどう変わるべきか。5,771人の決意は、「Communications Excellence=卓越したコミュニケーション活動を」。スローガンと社名を一体化したコーポレート・シンボルのもと、私たちは「トータル・コミュニケーション・サービス」を活動領域に、「知的資産の創造」をめざします。固い決意と柔らかない質が創る、新しい電通です。

5,771人の決意。



のんびり、湯ったり。心も体もリフレッシュ。忙しい毎日だから、心も体もホッとさせるひとときを大切に。温泉につかってヘルシーに。温泉といえば登別、ごっつい風呂のたきもとです。

日本の湯どころ——のほりべつ
政府登録国際観光旅館
第一温泉本館
●登別温泉 ☎4-2111 ●札幌営業所 ☎621-3301

アイスランドに見た

ひとびとの暮らし



国名の拝借が縁で

紋別市はオホーツク海に面した人口約三万二千余の漁業のまちである。冬の海は一面に流水が覆い、自然の厳しさはこの地に住んだ経験のある者でなければ理解できないと思う。その紋別市が過疎化を防ぐ手段と、このまちのイメージアップを図るために、冬期間の観光に力を注ぎ、各

種のイベントが企画された。そんな中で『あいすらんど共和国』は誕生した。冬の厳しさを逆に利用し、流水の海の上で、本物の流水に乗ってノさわわってノ飛び躍ねようノを建国のスローガンとして、北国の冬の美しさを認識し、恵まれた自然の中で有意義なひと時を、そ



⑥楽しさいっぱい。紋別「あいすらんど共和国」の祭壇でスエイン・オ Larson 夫妻の結婚式。二人の後ろは媒酌人の藤田大統領夫妻

して、この共和国を訪れるすべての人たちがみな友人となり、自由で楽しい時を過ごしてもらえようというイベントを創造しようと立ちあがったのである。私自身、この紋別に生まれ、育ち、現在は高校で教師をしている関係もあって、卒業生の一人でも多くが、この活動に参加してくれることを願いながら、この愛する紋別の発展を将来の夢にかけてみようと思っている。

さて、その『あいすらんど共和国』も今年で四年目。紋別の発展のためにもメンバーの体験学習が必要と痛感し、建国以来、友好を深めているアイスランド共和国に旅することを計画した。

豊富な地熱、家庭に温泉

アイスランドは九世紀の後半、ノルウェーの北部からヴァイキングたちが入植したが、この一団に先だって入植を試みて失敗したノルウェー人が、海水にうずまったフィヨルドを山から一見して、この島をアイス

前を貸して下さい」とお願いの手紙を出したところ「私たちの国のことを知っている方々がいて光栄です」との返事を頂戴し、しかも国旗を送って下さり、加えて特産品のバージンウールの販売ができるように援助して下さったのが縁となった。


一昨年の十一月には、北方圏センターの講演会に講師として来道されたアイスランド共和国大使ペトゥール・トルステインソン御夫妻を、紋別市の助役さんや関係者四名、あいすらんど共和国の閣僚五名が表敬する機会が設けられた(私も同行)。大使との会話の中で「ぜひともアイスランドへ行ってみよう」とお話ししたら、「もし来るのなら、いろいろ協力しましょう」との温かく好意的な言葉。その言葉に甘えて、計画が実行に発展したのであった。

ランドと名付けたといわれている。この祖先たちと、プリテン諸島から渡来した若干のケルト人の血が混じり合って、今日のアイスランド人の生活が始まった。言葉は北欧系のアイスランド語で、十世紀以降、外国



紋別南高等学校教諭
加藤 洋子

企画・編集から出版まで
あなたのイメージをかたちにします。

北海道のペン集団  株式会社 北方編集プロ

札幌市中央区北1条西5丁目・赤十字会館 ☎011(231)3181(代)

レイキャビクの教会



教会前で「ベトゥール・トルステインソン大使夫人（中央）と紋別「あいすらんど共和国」のメンバー



バスから見た風景



アイスランドの溶岩

全人口の半数以上が首都圏に

アイスランドについての長い前置きはこのくらいにして、私たちの旅「アイスランド友好の旅は、一月二日いよいよ出発となった。十一日間の行程で、参加者は一般市民十名、『あいすらんど共和国』関係十名の計二十名である。

成田からアンカレッジ経由でパリ、そしてロンドンで一泊してアイスランド航空機でいよいよアイスランドへ。首都レイキャビクのケフラヴィク空港へ到着したのは一月四日午後三時十五分のことであった。空港には全国の旅の橋渡しや、私たちの滞在中の通訳とガイド役を担当して下さったヨナス・ハルグリムソンさん（日本留学の経験があり貿易商を営む）と、紋別の『あいすらんど共和国』の祭壇で一昨年結婚式を挙げたスエイン・オーラソンさん（室蘭工業大学留学生で、現在はアイスランド国立研究所勤務）が出迎えてくれ、一行は旅の緊張の糸がほぐれ、思わず笑顔になった。

空港ビルの外に出ると午後三時半だというのにもう薄暗く、辺りに家

乳製品。そのままでもよいがハチミツ加えて加えることもおいしい。消化も良く、デザートに用いられている。飲み物はワイン、ジュース、炭酸飲料類が多く、ビールは販売禁止となっている。

一方生活面では、豊富な地熱が利用されており、各家庭でも温泉が引かれ、常に体の温まる生活で、しかも健康管理も行い届いている。教育に対してはとも熱心で、一九四六年に制定された教育令によって義務教育は八年（七〜十五歳）。辺地の農村には政府の派遣する教師が教育に当たっており文盲率はゼロ。子供たちに対する温かな配慮が感ぜられる。大学は一九一一年に創立された国立アイスランド大学（六学部）など二校。教育施設は非常に整備されていた。

社会保障制度も十分に整備され、老齢年金、健康保険、労災保険、家族手当などが国民に適用されており、貧富の差も極めて少ないのを知った。そして、十三世紀以来「エツダ（英雄叙事詩）」の伝統を保持しているこの国の人々の生活は、高い文化的水準と豊かな人間性がにじみ出ているようであった。

は一軒もない。ただ赤茶けた溶岩が一面に広がっており、火と氷の国アイスランドであることを痛感した。

ヨナスさんの案内でマイクロボスに乗りレイキャビクに向った。この国の交通機関は鉄道がないので自家用車の利用とバス路線が全国に張り巡らされているので不便はないようである。海岸沿いをバスに揺られて約二十分、ようやく民家が少しずつ見えてきた。空港を離れる時は無気味に思えた夕焼けが、その時はとてもロマンチックに思えた。首都レイキャビクに近づいてくると、家の壁は白く、周囲はよく整備され、それぞれの家の窓から色とりどりの電光裝飾が施された様子を見てみると、その美しさに自分がおとぎの国の中にいるような錯覚さえするようだった。ヨナスさんの説明によると、十二月十二日から一月六日までがクリスマス期間で、そのための飾り付けであるとのことだった。

この国には十三人のサンタクロースがいて、最初のサンタが十二月十二日に、その後一人ずつ次々に来て

D.Mの取扱いは、すべてSMS札幌メールサービスにおまかせ下さい。

あらゆるニーズに迅速にお応えいたします！

■ダイレクトメールの発送処理

- 宛名筆耕、宛名印刷
- ラベリングマシンによる宛名テーター貼付
- 封入、封印 ●帯封掛
- 郵便料金減額作業
- 市内特別郵便の処理、各局発送
- リストカード作成
- 顧客カードの管理、保管
- その他、DM作業全般

■商品管理、梱包、発送

■サンプリング及び宅配

■リスト

■プレミアムキャンペーンの応募

■郵便物の整理、集計及び発送

■街頭配布

■その他、セールスプロモーションのあらゆる作業をいたします。

ダイレクトメール総合代理店

SMS札幌メールサービス

〒065 札幌市東区北22条東1丁目
☎(011)704-2111(代)

ナイスコミュニケーション！トツパン



人&人、人&企業、企業&企業との結びつきや、理解を生むうえで大切な役割を果たすコミュニケーション。トツパンの活動の原点はコミュニケーションの出発点であるこの「&」にあります。私たちは、高度な知識と技術を提供することで、マルチプルタイプのコミュニケーション・インダストリーをめざしています。「業際企業トツパン」はいっそう「&」をおし拡げます。

コミュニケーション・インダストリー

TOPPAN

凸版印刷株式会社

本社 〒110 東京都台東区台東1-5-1

北海道事業部

〒063 札幌市西区二十四軒4条1丁目1番30号
☎011(641)3511



夏のレイキャビク～海の色がすばらしい



地熱利用の温泉



いたるところで地熱の噴出がみられる



私たちが行った有料プールの夏の様子(レイキャビク)



冬のハフナルフィヨルス港

火と氷の国の夏と冬



ヨナス宅の夕食



冬のレイキャビク

十三人全員がそろろうのがイブの日。そして来た順に一人ずつ帰って行き、最後に残ったサンタが帰る日、それが一月六日。このサンタたちはいたずらサンタで、ソーセイジやロソクを盗んだり、窓をゆすったりしてプレゼントは何もくれない。それでも市民はサンタを慕っているという。アイスランドの気候はメキシコ湾暖流の影響で、他の北極圏に位置する地方に比べると冬でも温和で、そして、極地特有の緑色の羽毛のように揺らめくオーロラが現われる。このアイスランド訪問については、五月から八月にかけての白夜の季節にも魅力はあったが、このオーロラの魅力と北方圏の冬の生活を实地に体験するという目的で、この時期を選んだのだ。

家々の窓辺にこぼれるイルミネーションの美しさに見とれているうちに、約四十分程でレイキャビクのほぼ中央、宿泊所である四階建てのユースホテルに着いた。このマチは人口九万一千。周辺を入れた首都圏は十三万五千人とのことで、アイスランド全人口の半数以上が住んでおり、公共の建物はすべてレイキャビク港とイェルニン湖に挟まれた旧市街にある。

バスから降りようとした時、期待していた天の川のように流れ輝くオーロラを見ることができ、全員が感動した。その感動と興奮のおさまらないままに、ヨナスさんのお宅に招かれ夕食をご馳走になった。心づくしのメニューは日本料理(お米のご飯やエビの刺身)とラム料理とサラダの数々、そしてデザート(クレイプや果実)。日本に留学していただけに私たちの好みを十分に心得ており、ここでまた感動。

このお料理を作って下さったのはヨナス夫人と近くにお住まいの岩手県出身のミヤコ・ポルダグソンさん(アイスランドの方と結婚、ご主人は銀行マン)、そしてスエイン・オーラソン夫人。ヨナスさんのお宅にはとても可愛い一人娘のララちゃんがいる、そのララちゃんをご両親のアシスタント役を務めてくれた。家庭的な雰囲気、日本風の部屋の飾りつけ、愛情のこもったもてなし、そしてヨナスさん宅から見る夜景の美しさ。この私たちの訪問が実現するようにと、一所懸命陰で支えて下さったヨナスご夫妻の温かさや心の広さに、感謝の気持ちが一杯になり、ただただ頭の下がる思いだった。(つづく)

ふだん何気なく手にしている書籍や雑誌。どの製本でしょう。

- | | |
|--------------|--|
| 本製本
(上製本) | 丸背 厚表紙 学術書、文学書、美術書、
百科事典などの単行本、全集類
角背 薄表紙 辞書、ハンドブック類 |
| 仮製本
(並製本) | 糸綴じ 文庫、新書類
針金綴じ 平綴じ 月刊雑誌類
中綴じ 週刊雑誌類
無線綴じ 文庫、新書の一部、電話
番号簿など |
| 本製と仮
製の中間 | 南京製本 英語教科書など
フランス装製本 フランス文学書など |



いい本、いい仕上げ——
白石製本株式会社

札幌市西区手稲宮の沢1南1丁目18番地 ☎(011)661-8620

手にしている
「北方圏」の製本は
無線綴じです。

製本には、書籍、雑誌などの出版物を製本する「出版製本」と、便箋、ノート、帳簿、アルバムなどを製本する「事務用品製本」とがあります。これらの場合、同一材料・同一工程で多量に製本するので「数物製本」と呼ばれますが、この他に「諸製本」と呼ばれ、手作業で雑誌の合本、仮製本の改装、本の修理などを行う製本もあります。



ミニオリンピック開催!!
(ストックホルム)

裏小路の“王子”たち



ブルーージュの少女(ベルギー)

I'm Not Dog!
(ストックホルム)



手をたずさえてともに歩まん(ストックホルム)



街のつむじ風(アムステルダム)

笑顔は“国際語”

北欧スナップ

街を歩いて目につくもの。意匠を凝らした建物、ウインドーの中の品々、男性であれば女性の後ろ姿、女性であれば同性の装い、そして目の前を切り裂くようにかけ抜けて行く子どもの姿。

北欧を旅して、名もない通りや路地をいくつも歩いた。さっき聞いた名所の名を胸にたたみながら、見え隠れする寺院の尖塔を目当てに歩いていると、どこからともなく子どもたちの叫び声が聞こえてくる。つりこまれるように角を曲がると、ひとかたまりの子どもたちが輪になって遊んでいる。ちよっと排他的な目でこちらを見ている。カメラを向けると、思わず顔がほころぶ。そうやって大通りへ出るまで追いかけて来た子どもたちの顔が忘れられない。

大人は子どもだったころのことを忘れてしまっていると言ったのは、「星の王子さま」だったか。しかし、どうだ、この子どもたちの笑顔を見ると、子どもだったころ、そして子どもたちのことを忘れられないじゃないか。

写真・文・平野健司(北方圏センター)



赤のコーディネイトが
きまつてる?(ヘルシンキ)

道草でポーズ(ヘルシンキ)



かしましく遊びましょ(ストックホルム)



子どもは赤ん坊に対して
大人になる(ヘルシンキ)





文字盤の直径が6.12 mもある大時計

クレムリンの大時計「スパスカヤ塔」

モスクワのクレムリンで最も荘厳な塔、スパスカヤ塔。ソ連の一日は、ここの大時計のチャイムで始まるといってもよいでしょう。

スパスカヤ塔は、一四九二年にイタリアの建築家ピエトロ・アントニオ・ソラリによって建設され、十七世紀前半にイギリ

ス人のクリストファ・ハロウエイとロシア人の弟子バジエン・オグルツォフによって改築されました。一六二五年に塔に据付

ルック 北方



けられた最初の大時計を作ったのはこのハロウエイでした。時計は文字盤自体が回転し、日の出から日没まで、太陽光線が時を読み取り、夜間は動かない仕掛けになっていました。その後、時計は何度か変わり、現在のもの

たのです。

時計は塔の七階から十階にまたがっています。重さ一六〇キログラムから二二四キログラムまでの振子が三つ作動し、天井の下にあるチャイムは十五分おきに鳴る三二〇キログラムの鐘九個と、一時間ごとに鳴る二、一六〇キログラムの鐘からできています。時計の総重量は、約二五トンで、文字盤は塔の各面(四面)にあり、直径は六・一二メートル、長針三・二八メートル、短針二・九七メートルとなっています。これらの鐘はキリル・サモイロフ、セミヨン・モジジュヒンをはじめ、各種の鑄造師たちが作り上げた十七〜十八世紀でも最も興味深い鐘といえることができます。

今は、クレムリンの大時計はモスクワのシンボルであるだけでなく、時刻の基準でもあります。スパスカヤ塔は特別な地下ケーブルで国立天文学研究所の標準時計とつながっているのです。時刻の正確さは保障つきなのです。

(APN)



北の自然

カラフトルリシジミ

樺太瑠璃シジミ——と書く。これはオスでメスの翅の表面は対照的な暗褐色をしているが、裏はどちらも淡いグレーにゴマを並べたような模様がある。シジミチヨウは日本に六十二種類住んでいる。シジミ貝の場合と同じく、小さい蝶の意味だが、カラフトルリシジミはシジミチヨウの中で、日本で一番北方系のチヨウだと言える。国外では樺太(サハリン)、千島、朝鮮半島の北部山地からヨーロッパにかけての寒冷地に広く分布しているが、国内では北海道の大雪、日高山系などに住んでいる高山蝶。食草もガンコウラン、クロマメノキなどの高山植物である。

高山は厳しく、天気の変り変わりの激しい世界。日がかげり、ガスがかかっていると次々にハイマツの陰などに姿を隠し、晴れてくると一斉にお花畑に乱舞を始める。その姿はまるで小さな妖精たちが群れ踊っているかのようだ。

(写真提供・桜井正俊氏)

ヨーロッパを 歩きながら考えた

明治の若者は山道を登りながら考えた。……
 智に働けば角がたつ。情に棹させば流される。
 意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は……
 そして、昭和の御代も六十余年を数えた今日の
 青年は、成田からコペンハーゲン行きの日
 エット機の中で、エコノミークラスのシート
 の狭さと居心地の悪さ、そしてまるで「モダ
 ンタイムス」に出てくる昼食シーンのエサの
 ような調子で供させる機内食を呪いながら、
 この旅はセンチメンタルジャーニーではない
 し、気のおけない仲間との小旅行でもない、
 北方圏の住宅視察というテクニカルビジット
 ではあるけれど、それは頭の隅におくとして、
 知らない街を訪れるということは、このわず
 かな自分の全人生を鏡に映し出すようなもの
 になるだろうという予感を持っていた。



パリ、セーヌ河畔で

「比較文化論」道中記

■北方圏センター調査研究部 主任

平野 健司

月 日

スパイクタイヤの粉塵に、私たちはいつこ
 ろから悩み始めたか。ヘルシンキの大聖堂の
 前に立つ時、この可愛げのない灰色の塵ど
 もは、何もかもぶち壊してしまう。

大聖堂の長い階段を登りきって、結氷した
 フィンランド湾を望む。建物が視界をさえぎ
 らないので、この手ごろな大きさの街の広が
 りがよくわかる。空がどんより曇っている。
 白夜の反対の季節だから日照時間も短い。こ
 の時期は太陽を見ることもないようだ。街全
 体がくすんで見えるのはそのせいだろう。そ
 れだけにいつそう、夏の素晴らしさが推量さ
 れる。

外国へ、ガイコクへ来たのだ。この開放感。
 胸一杯に異国の空気を吸おう。これが人間ら
 しさというものだ。……と、突然のあくび。
 目をこすると指に灰色の塵。おお、大聖堂よ、
 見守りてもあれ、この人間どもの終末を。

月 日

「4が好きだなあ」彼女はのんびりと言っ
 た。
 「うへ。2が来たら死に目だ」

「でも4だなあ」

以来、ギャンブルは4と決めている。
 ストックホルムのホテルのカジノで、私は
 さつきからR・レッドフォードに似た中年紳
 士がルーレットに興じている様子をながめて



サンラザール駅付近

いる。手元に山とあったチップが、今はもう
 汐が引くように数枚残っているだけだ。かの
 トルストイがこれにのめり込んで、その腹い
 せに「賭博者」を書いた気持ちもよくわかる。
 紳士が肩間にしわを寄せて去った後、デイ
 ラーが若い女性に代わった。美人だ。目が
 青い。その目が客の張り方の間違いを、きび
 しくたしなめる。か細い指先がハンドルを回
 すと、勢いよく回転板が回る。白い指が白い
 玉をつまんで、回転に同調させる。
 少々のチップを買って、私も輪に加わる。
 「4っ！」そのたびごとに、一心に念じる。
 「25」と素気ない彼女の声。（これは英語で）
 さらに一回。
 「4っ！」
 「17」
 もう一回。
 「4っ！」
 「4」
 青い目が確かに私に微笑んだ。

ヨーロッパを

歩きながら考えた

「比較文化論」道中記

不良少年を見ると、あれは家庭が悪いからだと言ったものだ。家族同士のいがみ合い、思いやりのなさ、信頼の薄さというものが、ちよつとルールを踏みはずす少女をつくりあげてしまうというのが、当時（というのは不良という言葉が最近あまりきかない）世間一般の通り相場であった。

家庭は憩いの場だとふだん考えたことはないけれども、時と場合をわきまえず、げつぷを吐いたり、放屁できるのが家族の前だけであることを思うと、やはり家族が一緒に住まう家庭というのは、心安げる場なのだろう。一方、他人の家を訪問して、客がそこに憩いを見い出せないのは、住んでいる家族の色合いが違うからで、そこには何かしら他人を排除するような（無意識に）約束事が潜んでいるように思う。

シモン氏はストックホルム郊外に住む弁護士さんで、私たち個人住宅視察のため、その家を開放してくれた。

四十人の人間がぞろぞろと家の中を見回った（物色に等しいのだが）。サウナがある、書斎の横の遊戯室（？）には玉突き台、キッチンには食器洗い機を含めオール電化、その横に乾燥室、寝室は落ち着いた色で統一され、起こされるまで眠ってしまいうさだ。T氏が「どうもね」と首を傾けたまま押し黙っている。その、どうもねを説明すると、そもそも社会

考えない。家族のことを考えない。仕事のことを考えない。来し方行く末を考えない。希望と落胆を考えない。……。

旅行社の適切な配慮で、ちよつどよい時期に和食が出た。ツキ出し、刺身、煮物、焼物、揚物、とりあえずのフルコース。パンに飽きたわけではないが、こうして一揃え出されると、やつぱりうきうきしてくる。誰もが笑顔になり、酒のはかも行き、テーブル全体が揺れているようでもことに雰囲気はよろしい。おりおり周囲の会話が耳に入る。旅行の印象もさることながら、互いの家族のことを話題にしてもいる。

例のかきつばたの歌をすいふんと技巧のこんだ歌で修飾が過ぎると思つたものだが、それでも東下りの男たちが遠い都に残した女たちを思うというストーリーには胸動かされるものがあった。あわれ、今まさに和食を前にした四十人の男たちは、杯の底に沈む鶴の絵柄を都鳥に見立てて、ある者は恋人を、ある者は家族を、そしてある者はうんざりするくらいにたまっているだろう仕事への執着に胸詰まらせたのではないか。

その夜、何人かは勢いに乗じてカラオケバーに繰り出した。私はホテルに戻って洗濯をした。



美しいグランプラス

資本の違いでね、だから住むことにこだわらなくつろぐということをし、根本から考えているから良いものができる、学ばなきゃならんのだが、どこから手をつけていいもんやら、ということになるらしい。

家全体に暖かみを感じられるのは、白熱灯のせいだと気付いた。この暗きなのかな。さらけ出すよりかくしてしまう、それを推し量ろうとして会話をし、あるいはほのぼのと明るい所に家族みんなが集まる、家全体が暗いのでいつそう灯りが引き立つ。昔、日本人は陰翳をことのほか上手にとり入れたはずだがなあ。

グランプラス。ビクトルユゴーが世界で一番美しい広場と言ったそうだ。

旅慣れない者に外国は疲れる。まして知己のない団体旅行はなおさらだ。就寝までの間ブリュッセルの中心を一人で歩いた。ワインドーショッピングをしたり、イタリアン食堂の窓に貼られたメニューをながめたりして、引き込まれるようにその小路に入ったのだ。

目の前に四面をゴシック建築で取り囲んだ広場があった。しばし茫然。そして首を垂れた。誰がこんなものを造つたのだ。

私はカフェの丸テーブルに坐って、酸味のあるビールを呑みながら、グランプラスの白眉、市庁舎のどこまでも暗い空に伸びて行くような尖塔をぼんやりとながめていた。何も

ッふらんすへ行きたしと思へども／ふらんすはあまりに遠し／……。

だが、大詩人、今じゃ半日もあれがパリなんだ。（従つて感慨は薄いのである）

ともかく、パリ、ホテルに近いサンラザール駅周辺は、なんだか受験で上京した時の上野をほうふつとさせる。雑踏もそうだけれど、地方から大都会へ出たという印象も含めて。

パリは橋が美しい。おりからの暖冬でセーヌ川は異常増水、音たてて流れる河面を知らぬげに、どの橋もすつきりとした姿で架かっている。橋までパリ、パリしているとはね。

モンパルナス、カルチエラタン、モンマルトル、サンジェルマンデプレ等々。自称・元文学青年にとって、パリは垂涎の街だが、そのいづれも私は訪れることができなかった。

……どだい、視察旅行を目的に来た者が、パリを見てやろうというこじたいおこがましい。だから、人にはパリへ行つて来たなんて言わないことにしよう。馬脚があらわれるというものだ。エッフェル塔でも目に焼きつけてせいぜいパリの空気を胸一杯吸いこむことにしよう。ひよつとして今夜あたりミラポール橋で待ち呆けを喰わされる夢でも見れるかもしれない……。



建設進むパリ郊外の科学産業都市「ヴィレット」

重さ増す サハリン

2000年までの 生産力総合発展計画

(APN ニュースから)



ユジノサハリンスクの街角

岸のプリアート自治共和国とチタ州) 生産力総合発展計画では、サハリン州が重要な位置を占めている。

サハリンは現在、極東経済地区の工業生産の二〇%強を占め、この地域の原油生産の一〇%、パルプ生産の大部分、漁獲量の二二・五%、石炭生産の二二・四%、木材生産の一〇・五%を占める。

前述の総合発展計画の二〇〇〇年までの計画によれば、サハリン州の工業生産高は一・八倍に、採炭量は一・二倍に、産油量は二・七倍に、天然ガス産出量は十五倍に増える。社会的領域も発展する予定で、設備の整った住宅の建設面積は九百三十

万平方メートルで、これは一九七一年から八五年に建設された量の二倍。就学前児童施設の建設量はほぼ三倍に、学校の建設量は七・二倍に、病院の建設量は六・四倍に増える。

また、計画では州のエネルギー基地の一層の発展を見込んでいる。採炭量は一九九〇年の五百三十万トンから一九九五年には六百三十万トン、二〇〇〇年には六百五十万トンに増やすことを予定している。

食糧基盤の漁業に力

石油・ガス部門は、まず第一に大陸棚油田・ガス田の開発によって発展する。石油とガスコンデンセートの産出量は九〇年には二百七十万トン、九五年には四百五十万トン、天然ガスの産出量はそれぞれ二十五億立方メートル、六十億七千万立方メートルになる。

このために一九九二―一九九五年に八万トンにおよぶボーリング作業を行う海上設備基地が建設され、九五年には、オハとコムソモリスク・ナ・アムーレ市を結ぶガスパイプラインの第二期工事が、一九九五―二〇〇〇年にはオハ―コムソモリスク・ナ・アムーレ―ハバロフスクの幹線ガスパイプラインが敷設される。

林業部門では二〇〇〇年までの木材伐出量は三百四十万立方メートルにとどまるが、パルプの生産高は二五・四%増、板紙生産高は三八・九%増となる。

農工コンプレクス部門も飛躍し、各農産物の生産高も二〇〇〇年までに大きく増える。ジャガイモは十八万五千トン、野菜は七万トンに、家畜(生体重量)は五万八千トンに、卵は二億五千万個に増やす予定だ。このために残された時間で、六千五百畝の灌漑工事と四万九千畝の排水工事を完了し、一万四千畝に土質改良作業がほどこされる。

食糧基盤の発展に重要な役割を果たす漁業部門では、魚と海産物の水揚げ量を九〇年には百八万八千トン、二〇〇〇年には百七十万トンに増やす予定。

目標達成に現実性

こうしたサハリン州の長期計画目標は十分現実性をもっている。というのも同州が昨年度計画を着実に遂行しているからである。昨年一月―十月期の工業生産高の伸び率は、計画では二・八%だったのが四・四%、労働生産性の伸び率も計画の三・五%を大きく上回る八・五%を記録し

工業生産高を1.8倍に

一九八七年六月に採択された極東・ザバイカリエ地方(バイカル湖東

た。

農工コンプレクス部門の成績も悪くない。天候に恵まれなかったものの、四万トンのジャガイモが調達され、家畜、家禽、牛乳の国家への引き渡し計画も達成された。昨年は初めて牛一頭当たりの搾乳量が四千キログラムを超えた。

サハリン州の本年度計画を見ると、

石炭産出量は五百十五万トン、産油量は二百四十万トン、天然ガス産出量は二十二億立方メートルとなっている。工業生産高の伸び率は四・五%、農業生産高の伸び率は五・六%が予定され、農工コンプレクスの課題は大きい。

社会的領域では住宅建設投資額は今年度の一五・七%増の二億四千五百万ルーブルが計上されている。あらゆる

余り飛ぶのは得手でなく、森林内での地上生活が多い鳥。このため北へ帰りそこねたのだろうが、飛ぶ時も逃げる場合が多く、それもせいぜい高さ一〇〇メートル



エシライチョウ

氷河時代北から本道へ

本州中部高山地帯のライチョウとは属も種も全く別。体も一回り小さく、冬になっても羽毛が白化しないのが違い。日本では北海道だけの鳥で少し奥まった山地でなら普通に見られる。しかし、かなりなコスモポリタンで、ユーラシア大陸北部に広く生息する。北海道のは大陸のもの垂種のようなだ。

氷河時代北から北海道までやって来たが、津軽海峡があつて南下出来ず、同時代が終わった時は宗谷海峡が出来ていて北へも帰れず、ヒグマ、エゾテンなどとともに取り残されたらしい。本道では単にヤマドリとも呼ばれる。

キジ目ライチョウ科に属し、体長三五センチ、体重は四〇〇グラム前後。雄は頭の上が灰褐色、背以下は灰色で黒褐色と赤褐色のまだらで、喉は黒く、目の上に赤斑がある。雌も同じ色合いだが、喉の下に黒斑がない。

離も六、七〇とされている。従って森林も隠れ場所の多いかん木林を交えた混交林を棲み家にしてしている。英語ではヘイゼレンあるいはヘイゼル・グラウ

財源を使って三十七万九千九百平方メートルの住宅が建設され、七千世帯余りの住宅条件が改善される。この結果、来年末にはサハリン州の住民一人当たりの居住面積は一四・五平方メートルに達する。

以上の計画が達成されれば、二十世紀のサハリンは大きく変わり、その社会、経済力も著しく伸びるだろう。

ス。ハシバミなどの藪も好きなのだろうか。地上性で北国の鳥だけに冬には足に白い羽毛が生え、雪にぬからなくなる。

食餌は昆虫やその幼虫、クモ類、草・木の葉、漿果など。冬は枯枝、枯草に残る植物の種、ハンノキ、シラカバ、ヤナギの芽を食べている。

春(三―五月) マツの下枝の垂れた葉陰、倒木の下のかげみなどに枯草で簡単な産座を造り、産卵、抱卵する。以下ソ連の資料になるが、産卵数は八一―一〇個で最高一五個、茶褐色をし、大小の赤っぽい斑点がついている。雌が巣につき、抱卵期間は約三週間、ひなはニンジン色がかつた茶褐色をし、背以下は黒くくすんだ縞模様がある。このひなはなかなかの忍者らしく、釧路時代鉄砲撃ちから危険が迫ると枯葉に潜り、ひっくり返って足で枯葉を支え、姿を隠すと聞いたことがあるが、本当かどうか。

あなたの足跡をしるすく自分史づくり。 自費出版 お手伝いいたします。

自分の生涯の記録、親たちの記録をまとめた〈自分史〉を作りませんか？



自叙伝、詩集、写真集、随筆集、記念誌、論文集、その他印刷のことならなんでもお気軽にご相談ください。トータルな知識でお応えいたします。

sando printing
山藤印刷

札幌市西区手稲宮の沢93 063
☎(011)661-7161 FAX 661-7173



カードとトラベラーズ・チェックで

海外旅行の 「安心」は



欧米では現金よりカードが主流



ビジネスであれ観光であれ、海外旅行に出かける人は年々増加の一途をたどっている。法務省入国管理局が今年三月二十日付で発表した出入国者統計によると、六十二年度中に海外に出かけた日本人は六百八十三万人と史上最高を記録。トップはアメリカ(ハワイ、グアムを含む)で、以下はアジア各国となっているが、円高の恩恵を受けて、今後さらに増えることは確実だ。

ところで、海外旅行で便利なのがクレジットカード。複数の国を旅する場合でも通貨の両替に手数料がか

からず、不意の盗難でも直ちに再発行してくれるメリットもある。また、ホテルに宿泊する、レンタカーを借りるといった際の身分証明書の代わりにもなる。本人であることが確認されると、ホテルでは保証金は一切かからず、サービス面でも優遇される。

クレジットカードにはまた、海外どこで使用しても支払いが円建ての後払いという手軽さもある。カードを使用した時点で受け取るレシートとは別に、その写しが利用明細書とともに同封されてくるので、いつでも、何回カードを使ったかを確認できるため、毎月のカード利用状況を把握することも可能だ。

海外旅行には携帯して便利なものがもう一つ、それはトラベラーズ・チェック。本人自筆のあらかじめのサインと使用時のサインの二段がまえになっているため、例えば紛失してもサインにより所有者が証明されるため、再発行が受けられる。もちろんサインはアルファベット、漢字どちらもOK。書き慣れた文字なら本人

以外は決してマネできないので安心である。

現在、世界中で使用できるクレジットカードの主なものには、ダイナース、アメリカン・エキスプレス、マスター、ビザ、などが挙げられる。いずれも世界百六十カ国、百五十万店以上で利用できる。

アメリカン・エキスプレスでは、世界中に千四百以上のトラベルサービスオフィスがあり、万が一、カードやトラベラーズ・チェックを紛失しても、連絡した時点から翌日の営業時間内に再発行が受けられるようになっている。また、アメリカ、カナダ全域をはじめ、ヨーロッパ、アジアなどの主要都市で日本語での相談にも応じてくれる。「安心」に対して万全のシステムをとっているといえそうだ。

日本では、まだ現金主義が根強い。特に欧米ではカードが幅を利かせている。海外旅行などは現金はむしろ予備費として使い、これにクレジットカード、トラベラーズ・チェックを効果的に組み合わせることが旅を一層楽しめるものにしてくれようだ。

(資料提供 アメリカン・エキスプレス・インターナショナル inc.)

ルック 北方

コペンハーゲンのレストラン



コペンハーゲンのレストラン『聖ゲアトルド・クロスター』(St. Gertruds Kloster)は中世の雰囲気を残す、コペンハーゲンの代表的なレストランのひとつ。

このレストランは女子修道院の跡地に建てられたものだが、聖ゲアトルド女子修道院がここに創立されたのは二二九七年、今からおよそ六百年も以前のこと。一八〇七年に英国海軍の急襲を受けてほとんどの部分が爆

破されてしまい、再建の希望もないまま無残な姿をとどめていたが、今から十年程前にみごとに改築され、旅人の守護神の役

割をにないながら憩いのレストランとして復活した。

このレストランの最大の特徴は電気照明や電気器・ガスオーブンを一切使用していないこと。照明はすべてロソクで行われており、約千二百本のロソクが使用されている。また料理はすべて樺の木を燃やして作られている。

レストランを訪れたらまず数千冊もの皮表紙の木が置かれてあるライブラリー・バーで食前

酒を飲みながらメニューを見て料理を注文。料理ができてきたらアーチ型の天井の、狭い石の回廊を通って食堂に案内される。食後はまた回廊を通って別の部屋でコーヒーや食後酒をゆっくり味わうことができる。

シェフが自信をもって推薦するメニューが約五十種。ワインリストにはおよそ二百種のワインがそろっている。

一般的なコース(前菜、メインコース、デザート、コーヒー、ワインなど)で料金は約八千円。座席数は五百二十席。毎晩五時から十一時三十分まで。

流れるバロック音楽に耳をかたむけながら、中世におもいをはせ、コペンハーゲンの夜を楽しんではいかがだろうか。

(デンマークだより)

聖ゲアトルド・クロスター

バロック音楽に中世の味わい

北海道と北方圏に「虹の橋」をかける



人気のカナダ・スクール

北海道 カナダ協会

盛況の「カナダ・スクール」

カナダへ行かれた方、カナダ好きの方、カナダに興味を持たれた方々が集まり、昭和五十四年に設立されました。北海道とカナダの相互理解、友好親善を進めるための民間団体ですが、翌年には本道とアルバータ州が姉妹提携し、友好ムードはますます高まっています。

主な事業は、「カナダ・スクール」の開催、会報「めいぶる」の発行、カーリングの普及、カナダとの各種交流の補助育成などです。

会長 森鼻武芳氏
 会員数 団体九八 個人三二七
 所在地 札幌市中央区大通西四丁目
 道銀ビル内
 ☎〇一一(二六)七二一一



特徴ある会館の外観

相互理解に大きく貢献

(財)日ソ友好 文化会館

事業を展開していく予定です。
 当協会にご関心のある方のご入会をお待ちしています。

札幌平岸の目をひくドームのある建物が北海道とソ連の友好交流を担って十一年になる日ソ友好文化会館。設立のきっかけは、現理事長、柴野安三郎氏が財界の第一線を退いた後、初めて訪れたソ連に印象を深め、日ソの友好と相互理解の重要性を痛感し私財を投じて建設しました。

ロシア文化セミナー、ロシア語講座・ロシア料理に親しむ会などを、定期的に開催し、二十二回に及ぶ展示会を開くなど、活発な活動を行い、それら行事に参加した日ソ両国関係者は延べ三十万人を突破し、全国的にも評価されています。

また、日本とソ連の姿をお互いに正しく理解していただくのが当会館の役割であり両国人の意識のギャップを埋めるように努力しています。

当会館、稚内日ソ友好会館、釧路日ソ友好貿易会館、羅臼町日ソ資料センター、猿払村日ソ友好記念館の五団体は昭和五十九年、「相互の連携を図ると共に、主体性を持った一層の活動を展開しよう」と「北海道日ソ友好会館連絡協議会」(連協)を結成。柴野理事長を名誉会長に選任、「日ソ極東、北海道友好交流会館」とも歩調を合わせ、巡回写真展を開くなど、日ソ友好ムードの醸成に努力しています。

平岸へおいでの節は、ぜひお立ち寄りください。

理事長 柴野安三郎氏
 会員数 財団法人のため維持会員で運営
 所在地 札幌市豊平区平岸二条一六丁目
 ☎〇一一(八二)八〇五一

●「北方圏交流」をしている団体の皆様からのお便りをお待ちしています。〈出版部〉

交流団体からの短信

北海道 スウェーデン協会

実績重ねる絵画交流

北海道スウェーデン協会は、文化、学術、スポーツ、経済等の交流を通じ、北海道とスウェーデンとの友好親善を促進し、生活、文化の向上、貿易の振興など相互の発展を図るため、昭和五十三年に設立されました。

主な事業に昭和五十九年から続いている日本スウェーデン小中学生絵画交流展示会があります。スウェーデンの三市から小中学生の作品が、札幌から市内の小中学生の作品を相互に送るもので、毎回数十点の絵を交換。札幌市内の地下街、小学校、銀行ロビー、区民セ



毎年開かれている絵画交流展

ンターなどに展示してきました。スウェーデンの子供たちの絵には接する機会が少ないだけに市民から好評です。

絵画交流の動機は、幼いころから国の壁の意識を取り払い、絵は言葉を介さずお互いが共感しあえるため、国際理解の第一歩として最適だという考えからです。

その他の事業として学術奨励金交付、講演会の開催があります。

奨励金の交付は昨年の場合「スウェーデンにおける自然保護に関する学術研究」に対し



スウェーデン交流センター

て行いましたが、一件十万円を限度に毎年交付されます。講演会は北大の先生を中心に毎年行っていますが、どちらも予算に限りがあるのが悩みです。

当協会の活動にご関心のある方はぜひ会員となつてご協力をお願いします。

会長 秋山喜代氏
 会員数 団体四十七 個人五十八
 所在地 札幌市東区北六条東三丁目
 (株) 秋山愛生館内
 ☎〇一一(七二)一一六一

(財)スウェーデン 交流センター

交流事業活動本格化

当別のスウェーデンヒルズを訪れた人は北歐住宅特有のベニガラに彩られた家並に異国情緒を覚えられるでしょう。そのほば中央にスウェーデン交流センターがあります。本道はもとより、全国的にもユニークな国際交流の施設としてその活動は内外の大きな注目を集めています。

当交流センターの発足は昭和五十八年。一昨年まで札幌の北海道経済センタービルに事務局が置かれていましたが「両国の経済的、文化的交流を積極的に進め、友好親善を促進

するとともに、わが国、特に北海道の産業・文化・生活等の開発振興に寄与しよう」というのが発足の目的です。

現在地にオープンしたのは昭和六十一年八月二十二日。落成式にはグンナール・ロネウス前駐日スウェーデン大使をはじめ、各界の方々をお招きし、今年で三年目。交流事業活動も本格化してきました。

施設は三棟。センターホールが全体を管理し、講演会、映画会のほか、工芸品などの物産展示も行います。木材工芸工房、ガラス工芸工房の二つのハンドクラフト工房は、それぞれの工芸技術者を育成するもので製作実技を公開しています。

木材工芸工房ではベーター・ヘルクビストさんがインストラクターとして製作と指導に携わり、また、この四月に任期を終えて帰国したガラス工芸のリチャード・ラッカムさん一家も当別につきり溶け込み、日瑞親善交流の橋わたしに努めました。

当交流センターへのお越しをお待ちしますとともに、賛助会員として、交流活動にご協力をお願いします。

理事長 手取貞夫氏
 会員数 法人一三〇 個人四五〇
 所在地 石狩郡当別町スウェーデンヒルズビル三丁目三番一号
 ☎〇一三三(六)二三六〇

北海道空港株式会社



国内で初めてJRと直結したターミナルビル

国際空港へ備え準備着々 総工費400億円の大プロジェクト

今年七月の新千歳空港開港に続き、昭和六十七年の新千歳空港ターミナルビル供用開始と、千歳空港はいま二十四時間体制の国際空港化、エアカーゴ基地化へ向けての動きが活発化している。

北海道空港(株)はターミナルビル・倉庫等の賃貸業務などを行っている。現在、最も力を入れて取り組んでいる事業は新千歳空港ターミナルビルの建設。四年後の完成を目指し、現在基本計画を策定中で、総工費は約四百億円という大プロジェクトである。

運輸省航空局の需要予測によると昭和七十年には国内線千四百万人、国際線八十万人の利用者が見込まれるだけに、その需要にこたえるべく、最終的には二棟の半円周型ターミナルビルを建設し、国際線も配置する予定である。幹線空港としての機能性、経済性を重視した設計は、一階を到着客、二階を出発客に分けており、従来の人と物のターミナルから、情報をアラスしたゾーン形成を心掛けるという。

北海道空港(株)の設立は昭和三十六年。事務所内に机ひとつと従業員一人だけのスタートであった。それから二年後、いよいよターミナル

ビルが完成。竣工式と祝賀パーティーは会社設立発起人、航空会社、政財界人、関係官庁、地方公共団体、報道関係者など五百人を集めて盛大に開かれた。

その後、航空機の利用が一般化するに従って、ターミナルビルの増築・施設の拡充を行った結果、現在の面積は四万八千平方メートル、開業当初の約十四倍に膨れ上がっている。昭和三十八年に五十六万人だった乗降客が、四十二年に百万人を突破、六十二年に遂に一千万人を超えたという事実がこれを裏付けている。

航空機の大衆化と高速大量輸送時代を迎え、幹線空港として発展してきた千歳空港。今後の国際空港化、エアカーゴ基地化へ向け、単なる北海道の玄関口としてだけではなく、北海道経済活性化の鍵を握っていると言えよう。北海道空港(株)のターミナルビル建設、運営は、世界に開かれた千歳空港の「顔」作りとして、今後も重要な役割を担い続けることが期待されている。

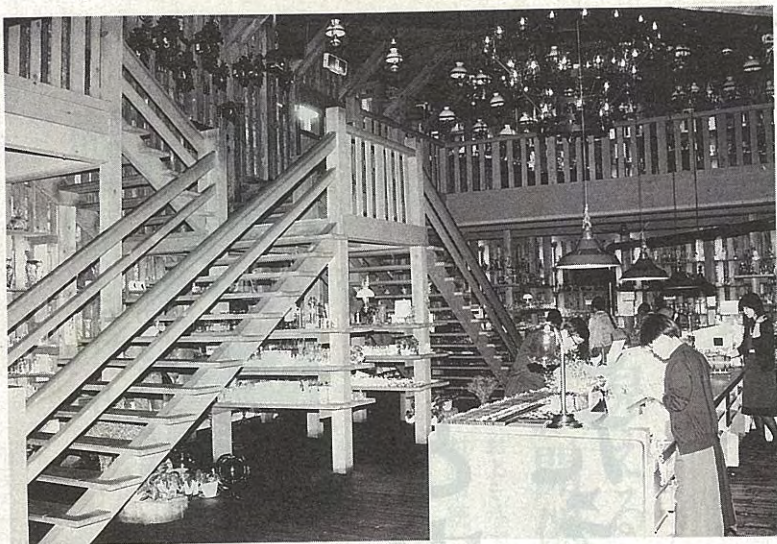
▼本社所在地 千歳市平和一三八
八一四

▼社長 三上顯一郎氏
(昭和五十二年度入会)

センター 企業 紹介

北方圏 会員 紹介

北一硝子の歴史は古い。創業は一九〇一年(明治三十四年)、浅原硝子にさかのぼる。石油ランプの製造に始まり、漁業用浮玉を手掛け、昭和十五年には浅原硝子グループとして全道各地、および樺太で製造・販売



独特の雰囲気漂う「北一硝子」3号館

小樽に「活性」の火を灯す 夢幻の雰囲気誘われ観光客65万人 株式会社北一硝子

を行っていた。しかし、昭和四十年代に入るとランプの需要がほとんどなくなり、浮玉もプラスチックに変わって代わられてしまった。

現社長浅原健蔵氏が社長を継いだ昭和四十六年は一つの転機の年であった。株式会社浅原硝子店を有限会社北一硝子に社名変更しての出発である。「北一」の命名はシンプルさと「左右対称でガラス戸の反対側からも正しく読めるだろうと思って」。

直営工場の火が消え、職人が全国に散り散りになっていった当時の会社の建て直しは、「創業時代の原点に戻ろう」ということで、再びランプの製造を開始、これが観光客に受けた。昭和五十三年には本店が現在地に移転落成。昭和五十六年に倉庫を改造した三号館がオープン。三号館には数多くのガラス食器や世界のランプが古びた倉庫の壁面に見事に映える。その一種独特な雰囲気、昨年約六十五万人の観光客を呼び込んだ。

「人と人とのふれあいをガラスを通して実現させたい。小樽のイメージを高めるためにガラスの文化性を前面に出し、生き生きとした町づくりのお手伝いができればいいと思っています」と浅原硝子常務は語る。今年十一月オープンを目指してい

る「ベネチア美術館」はまさに小樽文化を高めようとするもの。十七世紀のベネチア宮殿を再現し、イタリ・ア・ベネチア市のガラス製品を展示、世界最高レベルにある数万点の作品を順次入れ替えるという。

現在、北一硝子で販売しているガラス製品は国内で札幌から大阪までの八社、海外ではイタリア・ベネチアの四十数工場をはじめ、ドイツ、イタリア、ブラジルなどの協賛工場で作られている。全店舗を合わせる数万件に及ぶ作品のすべてはハンドメイドであり、三号館にはベネチアンガラスをはじめ、北欧のスウェーデン、フィンランドの食器やワイングラスなどが美を競い合っている。

北一硝子の企業理念は「職業を通じて、世界人類の豊かな暮らしを求め、国際文化の発展に努める」というグローバルなもの。「お客様に夢を買っていただく」という姿勢も大切にしている。ガラスの持つイメージで小樽の文化をPRしてきた北一硝子は今後とも小樽の街に灯を点し続ける。

▼本社所在地 小樽市花園一丁目
六番十号

▼社長 浅原健蔵氏
(昭和五十八年度入会)

読んでますか？
身近な情報いっぱい、魅力あふれる道民の新聞

北海タイムス

グリーンと内容一新！ 読みごたえあるタイムスを。



しま！熱し
共田やねんし指わ！
札幌市中央区南1条西10丁目
旭川市6条13丁目
東京都中央区銀座5丁目10番2号
大阪市西区江戸堀北通1丁目
小樽市小樽1丁目
苫小牧市小樽1丁目
函館市小樽1丁目
岩見沢市小樽1丁目
倶知安市小樽1丁目
滝川市小樽1丁目
帯広市小樽1丁目
深川市小樽1丁目
北見市小樽1丁目
江別市小樽1丁目
石狩市小樽1丁目
余市市小樽1丁目
岩内市小樽1丁目
千歳市小樽1丁目
静内市小樽1丁目
浦河市小樽1丁目
根室市小樽1丁目
士別市小樽1丁目
名寄市小樽1丁目
稚内市小樽1丁目
紋別市小樽1丁目
富良野市小樽1丁目
留萌市小樽1丁目

北海タイムス社

- 札幌本社：札幌市中央区南1条西10丁目 ☎代231-0131
- 旭川本社：旭川市6条13丁目 ☎代23-4171
- 東京支社：東京都中央区銀座5丁目10番2号銀座中央ビル7階 ☎代572-1101
- 大阪支社：大阪市西区江戸堀北通1丁目岡田ビル4階 ☎代443-4221
- 道内支社：小樽、苫小牧、函館、岩見沢、倶知安、滝川、帯広、深川、北見
- 道内支局：江別、石狩、余市、岩内、千歳、静内、浦河、根室、士別、名寄、稚内、紋別、富良野、留萌



ウォーターフロント・シンポ

「歴史と港の見える街」 おたる再生」開催される

ウォーターフロントの再開発による都市の活性化は、すでに東京、横浜の例を引くまでもなく、道内でも小樽、函館、釧路を中心に、各自自治体の長期計画の主要テーマになっていると同時に、民間においても「水辺」を見直そうという気運が盛り上がっている。

こうした動きを受け、三月十二日、北方圏センターでは、小樽市との共催により、「歴史と港の見える街・おたる再生」をテーマにシンポジウムを開催した。

およそ八十名が集まり、終始熱心な討論が続いた。基調講演に立った新谷小樽市長は、「市長就任一年目の修了論文」と前置きして、運河を中心とした連続性のある「水辺」づくり構想を語り、市民とともに手をたずさえてこれに当たりたいと締めくくった。

また、小林英嗣北大助教授をコーディネーターとしたパネルディスカッションでは、各パネリストから欧米の先進事例、なかでもポートランドやボルチモアの街づくりにかける市民の意欲と関心の強さが紹介され、参加者の共感を呼んだ。



7月から 道開拓記念館で開催



「スカンジナビア・ツデー」のシンボルマーク、靴を縫うサーミの女性

なお、北方圏センターでは今夏、函館においてウォーターフロント・

シンポジウム第二弾を開催する予定である。

昨年から北欧五カ国が日本の各地で文化キャンペーン「スカンジナビア・ツデー」(SCANDINAVIA TODAY)を開催しているが、その催しのひとつとして、スカンジナビア半島北部の少数民族サーミ族の文化を紹介する「北歐・トナカイ遊牧民の工芸展」が、北方圏センター、北海道開拓記念館、北欧関係評議会の主催で、七月九日から北海道開拓記念館で開催される。

この「スカンジナビア・ツデー」は、美術、工芸、デザインをはじめとする様々な展示会や、映画、文学、音楽等の多岐にわたるイベントを通して、スカンジナビアの文化の現況を紹介、あわせて日本とスカンジナビア五カ国との相互理解の深まりと新たな文化の絆を結ぼうと、北欧五カ国の関係評議会が中心となって企画されたもの。

近しているだけでなく、伝統、歴史、社会構造において数多くの共通点がある半面、それぞれに独自の文化を育てている。「北歐五カ国の文化的背

景とそれぞれの国柄の違いの両方をぜひ見て欲しい」と、北歐の大使館では話している。会期は九月十八日まで。

NRC10周年を記念して 『新・北方圏時代』を出版



インパクトを与える北方圏構想は、胎動期の北方圏調査会時代を経て北方圏センターに引き継がれたが、この十年間において、道内各地でさらに大きく縦横な展開と深まりをみせている。この構想を取り巻く環境の急速な進展と拡大について、道内各地での多くの事例をあげて、新たな段階に入った北方圏交流の現況の報告と将来の展望をするために発刊されたのが、本書『新・北方圏時代』。(北方圏構想の意義と歩みについては『北方圏時代』(昭55・10)があるが、その姉妹編である。)

本年は北方圏センターが発足して十周年にあたるが、これを記念して『新・北方圏時代』写真Ⅱ(北方圏センター企画、「北方圏時代」刊行会編集・発行)が出版された。北海道自立と地域活性化に大きな

現在、販売の予約を受付中です。『北方圏時代』刊行会(〒000札幌市中央区北4条西6丁目毎日新聞北海道支社札幌本部内、011・21・3551)か、北方圏センター出版部(〒000札幌市中央区北3条西7丁目

北方圏センターへ届いたお便りから

北方圏センター
会長 東条猛猪様

私たちは楽しい経験と素晴らしい印象に満ちた日本と、カナダの長い旅を終えて、今キルナに戻りました。このたびの日本訪問は、とりわけきめ細やかな計画がなされ、私たちにとても極めて貴重なものでした。

私たちが日本へ招待していただき、その滞在がこのような忘れ得ぬものになるよう演出して下さいました。ノーレックス、北方圏センター、中空知地区の市町村の皆様に対し、心から感謝の意を表します。特に、長谷部専務理事、佐藤事務局長には大変なおもてなしをいただき、また、個人的に温かく迎えていただけて、とてもくつろいだ気持ちになることができたことを感謝しております。

企業、研究所、学校、美術館、展示会などの見学は大変興味深く貴重なものでした。また行く先々で友好と広い心をもって迎えていただきました。

訪問の折の写真をアルバムにし

てお送りいただきありがとうございます。それは北海道での楽しい記憶を呼び起こしてくれることでしょう。

「キルナの再生」についての国際シンポジウムは、綿密に企画されており、実りある議論と経済の交換を行う多くの機会を与えてくれるものでした。キルナ市において種々の貿易や産業を興す努力をしてきた私たちの経験が、このシンポジウムに参加された方々にとって興味深いものであり、また有益なものであったことを願ってやみません。

今一度、私たちの北海道滞在中にいただいたご親切に對しまして、心からお礼を申し上げさせていだきたく存じます。非常に楽しく、感謝をもって思い返すであらう心に残るこの度の訪問でした。

スウェーデン・キルナ

市長ラルス・エスリング

コンピューターソフト会社

社長スペン・イバン・メラ

観光会社

社長イングベ・ベルグピスト

各種写真展の 資料を お貸しいたします



北方圏センターの展示室では、北方圏諸国の紹介や日常生活の楽しさを紹介した各種写真展(スウェーデンの暮らしと住まい)『北方圏のフェスティバル』『北方圏の子供たち』等々)を開催し、好評をいただいております。

それらの資料(写真パネル、ポスター)を、ご希望の団体・当センター法人会員に貸し出したします。北方圏諸地域の生活を知り、北国にふさわしい生活を考えるためにお役に立てればと思います。ご連絡いただければ展示品、リスト申し込み書等をお送りいたします。

道庁別館 011・221・7840へ、はがきか電話でお申し込み下さい。なお『新・北方圏時代』は、A5

判、三五〇ページ、定価一、八〇〇円、送料三〇〇円です。

新企画

「トーク・サロン」盛況

外国人のゲストの話聞きながら、生きた英語に接し、視野を広げてみませんか。気楽に集まり、ゲストと語り合ってみませんか」との趣旨で、北方圏センターでは本年一月

から、新企画「トーク・サロン」を開催している。

第一回は、一月十三日。ゲストはカナダ人で札幌大学非常勤講師、北方圏センター語学研修講座講師のジ

ームス・アリソン氏。題は「訪ねた中国、チベット、シルクロード近辺」。

第二回は二月二十二日。ゲストはオーストラリア人で当センター会員のグレッグ・ダフィ氏。題は「見て



にぎわうトーク・サロン

きた国々アメリカ、韓国そして日本」。

お二人の日本人の感覚とは違ったアングルで撮られたスライドを映写しながらの話は、参加した四十名を十分に満足させた様子。

第三回は四月九日に開催。ゲストは東日本学園大学助教授ハワード・ターノフ氏。題は「英語を楽しく学

北方圏交流基金では、広く皆さまからのご寄付をお願いしております。お電話いただければ、資料をお送り申し上げます。

財団法人 北方圏交流基金

札幌市中央区北3条西7丁目 (道庁別館12階 北方圏センター内) ☎(011)221-7840

北方圏交流基金では、北方圏諸地域との交流事業等に対する助成希望を公募(83年度事業締切)しております。

ぶために」。前「回とは趣を変え、ターノ氏の指導のもと、参加者全員、会話を中心のパフォーマンス(?)の楽しいひとときを過ごした。この「トーク・サロン」の今後の

日程は次のとおり。
 ◎6月10日(金) 午後6時~8時
 ◎8月10日(水) 同 6時~8時
 ◎10月8日(土) 同1時半~3時半
 ◎12月10日(土) 同1時半~3時半



北方圏センター出版の「グラフ北方圏」シリーズは、見る「北方圏」誌として好評をいただいているが、六十二年度は第七集として「北方圏の公園」II写真IIを製作した。

イバル「北方圏の子供たち」北方圏のお国ぶり(いずれもカラー刷、B5判、六十頁)と数えて第七集目。近く会員、関係機関に配布する。「北方圏の公園」では、北方圏各国に共通する北の自然や風土の中で、人々がどのように公園を利用し、その空間を楽しんでいるかを取りあげ、それぞれのお国ぶりの表れた公園の

クロスワード当選者

本誌の第62号(88新巻)の北方圏クロスワードパズル「ならびに愛読者アンケート」には、多くの方々のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

クロスワードの解答は「ホップウケン」でした。応募いただきました方々の年齢、職業は多岐にわたり、道外からも数通お寄せいただきました。アンケートにお書きいただいた皆様のご意見は、今後の編集に役立

NRC会員へのサービス

北方圏センターの会員(法人、個人)が、北方圏国際交流に協賛する宿泊施設を利用する場合には、規定のルーム・チャージ(宿泊室料)の10%割引の特典が設けられている。協賛施設は別表のとおりだが、利用の際は直接希望施設へ申し込み、必ず「北方圏センター会員証」の提示を。

北方圏センター会員北方圏国際交流協賛ホテル

会員ホテル名	所在地	☎
京王プラザホテル札幌	札幌市中央区北5条西7丁目	(011)271-0111
ホテルアルファ・サッポロ	札幌市中央区南1条西5丁目	(011)221-2333
札幌グランドホテル	札幌市中央区北1条西4丁目	(011)261-3311
札幌東急ホテル	札幌市中央区北4条西4丁目	(011)231-5611
フジヤサンタスホテル	札幌市中央区北3条西7丁目	(011)271-3344
ホテル日航千歳	千歳市本町4丁目	(0123)22-1121
丸駒温泉旅館	千歳市幌美内番外地	(0123)25-2341
網走湖荘	網走市字呼人78	(01524)8-2311
ホテル大平原	音更町十勝川温泉	(0155)46-2121
第一ホテル	音更町十勝川温泉	(0155)46-2231
トーヤ・サンシャイン	洞爺村字洞爺町	(01428)7-2331
セント		(011)231-2317

NRC「資料ライブラリー」の利用をお待ちしています



北方圏センターの図書、資料室は、北方圏諸地域についての情報を資料を幅広く収蔵している内外唯一の専門ライブラリーです。備えている内容は、図書、定期刊行物、視聴覚資料、パンフレット

ト、写真などで、それぞれ国別(一〇)、分野別(二〇)に分類、カード化されています。「閲覧票」で申し込みれば、どなたでも自由に閲覧できます(二枚三〇円でコピーも可)が、北方圏センターの会員には、簡単な手続きで持ち出しも認めています。また、会員には、パンフレットなどの贈呈もしていますし、調査研究報告書の特価頒布もしています。たくさんの方のご利用をお待ちしています。

「資料提供のお願い」

なお、これら北方圏関係資料の収集にご協力が得られれば幸いです。ご寄贈の場合は、カードにご芳名を永久記録いたします。

説明文は和・英両文とし、広く北方圏各国にも配布することとしている。

さて、抽選の結果、次の方々が当選と決まりました。記念品をお贈りいたします。

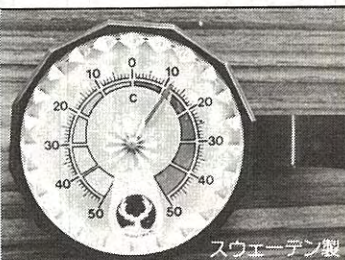
- デジタル置時計(二名)
佐藤トミ子様(札幌市西区) 近堂 祐弘様
- クリスタル置時計(三名)
道見 隆幸様(留萌市) 窪 隆晃様(札幌市東区) 赤松 勲様(網走市)

●NRCネーム入りネクタイピン(五名)

- 吉田 端志様(札幌市中央区)
- 村田 玲子様(紋別市)
- 石川 治見様(旭川市)
- 澤田 晃様(広島市)
- 田形 郁夫様(京極町)
- 同プロピン(五名)
山崎 信治様(栗山町) 佐藤 孝様(恵庭市) 神谷 亮様(横浜市) 竹谷 謙様(弟子屈町) 枅内 信子様(札幌市中央区)
- 同ボールペン(クロス)(五名)
武田 和夫様(釧路市) 小林 俊一様(紋別市) 空井 猛寿様(陸別町) 佐藤 裕成様(兵庫県山南町) 根羽 祐子様(北村)

北方圏文化! 屋外寒暖計

北方圏の寒い国々では、屋外寒暖計が生活用具の一部になっています。屋内からいつでも見られる「屋外寒暖計」を備え、外気に応じて着替えるのは、寒さの中の保健の知恵であり、本当の意味の生活文化ではないでしょうか。私たちは、この北方圏文化「屋外寒暖計」が北海道にも普及することを願っています。



スウェーデン製

Northern Regions Center (NRC)

社団法人 北方圏センター

札幌市中央区北3条西7丁目(道庁別館12階)
 (郵便振替)小機8-24211 ☎(011)221-7840

西ドイツ製 600円(送料120円)
 スウェーデン製 700円(送料170円)

道内主要デパートでも販売中(五番館(札幌) 丸井今井(札幌)、丸三鶴屋(釧路)、藤丸(帯広)、旭川西武(旭川)、いとう(北見))

◇寒く厳しい冬も、北国ならではの楽しい工夫やアイデアにあふれたスポーツ大会、イベントが開催され、道内の各地で熱い歓声があがっていた。全日本カーリング選手権には道内のほか東京などからも選手が参加しているし、歩くスキーの大会には外国人選手を含め道内外から一万人を超す大会や、百という世界有数の距離を持つ大会が誕生するなど、新しい冬のスポーツは、着実に生活に浸透した。また、各地の雪まつり、氷まつりには、北国・北海道で工夫された防寒衣料を着た人たちが、思いつき戸外での楽しみを満喫している姿でいっぱいであった。北国の冬のイメージは十年前とは一変しているのを感じる。

そして今、『水仙や寒き都のここかしこ』無村の季節。雪まつりでにぎわった札幌大通り公園の花壇では、スイセンのつぼみがふくらんで北国の遅い春の到来を告げている。◇この春はまた、北方圏センターが「国際的視野に立つて北国意識で新しい北海道づくりを旨とする北方圏構想」の民間推進団体・北方圏調査会を引き継いで新発足してから満十周年を迎える春でもある。

◇北方圏調査会で創刊された季刊誌『北方圏』は、北国の生活・文化・産業のあり方を考え、北方圏の話題を満載した唯一の専門誌として歩み続けたが、北方圏センターの発行になつてからも誌齢を重ね、その間、北方圏交流の推進役としての使命を果たしてきた。

今日まで、本誌が取り上げてきたものは、北方圏交流という他の府県に例を見ない国際交流を通して、北方圏諸国の文化や生活の共通性と違いを知り、北海道に住む人々の意識を、北に住む意識に変えたものであった。そして、それこそが地域の国際化に通じるものだったと考えている。

◇これからの北方圏交流や北海道の国際化へ向けてのあり方を考えるとき、そのあり方は、外国の方々と、人間的な誠実さとフランクさをもつてつき合い、日本という硬い同質社会をゆるめていき、外国の人の入り込める隙間や穴を多く作っていくことである。そのような変化の中から、やがては外国人と共生するルールや制度が整っていくのに違いない。それにしても、国際化の道は遙かなり、の感をぬぐい切れないのは私だけであろうか。(佐藤)

HBCネットワークで北海道がグーンと身近に!

で出番

半径100m以内有名人。

ニュースにみえない
ニュースにありませぬ
村の、町の、無名の有名人もぞろぞろ登場。思いつきローカルに、
アンビシャスに過激でシニカルな生番組。



野宮範子
新キャスター
島森則夫

ほとんどのHOKKAIDO

毎週火曜よる7時生放送

制作 ■ 北海道放送

もっと素敵に



第63号

定価500円(送料200円)
会員無料配布

昭和六十三年四月二十八日発行(年間四回季刊)
発行所 札幌市中央区北三西七(道庁別館)
北方圏センター ☎21-七八四〇
編集・発行人 佐藤直一
制作 (株)電通北海道支社
印刷 山藤印刷株式会社
購読御希望の方は郵便振替で。
一年二、〇〇〇円(別途送料八〇〇円)
郵便振替口座 小樽九七四九〇

会員募集

お知り合いの向き
入会をお誘い下さい

北方圏センター(会長・東条猛猪)は、北国にふさわしい北海道の生活、文化、産業を育てあげるべく、会員の会費で運営されています。

- 法人及び団体の年会費 1口1万円
 - 個人 人の年会費 1口5千円
- できるだけ2口以上

ご連絡いただければ、申込書用紙等をお送りいたします。ご入会は、電話でもお受けいたします。

北方圏センターとは……

(目的)
北海道と北方圏諸国との産業、生活、文化等の交流を積極的に推進し、北海道の繁栄をはかるとともに、日本の発展に寄与する。

- (事業)
- 1 北方圏に関する調査研究
 - 2 北方圏に関する講習会、研究会、展示会等の開催
 - 3 北方圏に関する資料の作成、収集、提供
 - 4 北方圏に関する図書、資料の刊行
 - 5 北方圏に関する意見の具申
 - 6 北方圏に関するコンサルタント
 - 7 北方圏諸国との視察団等の交流
 - 8 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

北方圏センターへの入会は……

北方圏センターの趣旨や活動に賛同される方は、どなたでも会員になれます。

(会員の特典)

シンボルマークの会員証とバッジ、季刊「北方圏」誌(新しい情報)、年刊「グラフ北方圏」誌、会員名簿、年報、資料冊子等の無料配布。北方圏案内パンフレット類の贈呈。外国事情、図書資料の利用。ラウンジの利用。調査報告書等出版物の特価頒布。法人会員の施設利用料減額。語学研修講座、懇談会、セミナー、外国人との交流、視察旅行等参加ご案内、道内ホテルの宿泊割引、視察訪問先等の情報提供などがあります。

しかし、何よりも、北国の暮らしや産業を豊かにする活動に参加し、ともに育てあげていこうというお気持ちでのご入会をお待ちしています。

社団法人 北方圏センター 札幌市中央区北3条西7丁目(道庁別館) ☎060 (011) 221-7840

今年はお会い！ 北海道へ一直線

陸続きになりました。もりだくさんになりました。
年中楽しい北海道に、空から陸から一直線。

WORLD FOOD FESTIVAL



世界・食の祭典

JUNO'S JAPAN '88

昭和63年6月3日⇒10月30日



十勝海洋博覧会

昭和63年7月2日⇒9月4日



新たな交流と発展——北の飛躍をめざして

函館EXPO'88

青函博

昭和63年7月9日⇒9月18日



昭和64年

君よ今、北の大地の風となれ

はまなす国体

冬季大会	〔スケート競技会〕 昭和64年1月28日(土)～31日(火)
	〔スキー競技会〕 昭和64年2月19日(日)～22日(水)
夏季大会	昭和64年9月3日(日)～6日(水)
秋季大会	昭和64年9月17日(日)～22日(金)

北海道